

平成21年度
宜野湾市墓地需要に関する研究

平成22年3月

沖縄県宜野湾市
財団法人地方自治研究機構

はじめに

近年、急速な少子高齢化など社会経済環境の構造的変化が一層進行していくなかで、変化に対応した地域づくりを地方公共団体が自主的・主体的に進めていくことが極めて重要となってきた。しかし、地域経済の停滞、雇用情勢の悪化、地域コミュニティの弱体化、社会的格差の拡大等、地方公共団体が直面する課題も複雑化・多様化してきている。

このため、当機構では、地方公共団体が直面している諸課題を多角的・総合的に解決するため、地方公共団体と共同して課題を取り上げ、全国的な視点と個々の地方公共団体の地域の実情に即した視点の双方から問題を分析し、その解決方策の研究を実施している。

本年度は5つのテーマを具体的に設定しており、本報告書は、このうちの一つの成果を取りまとめたものである。

近年、沖縄県においては、無秩序、無計画な墓地の散在化が進んでいる。このため、都市計画・土地利用上の支障や、違法墓地の建立、周辺住民とのトラブル、適正管理されない無縁墓地等の問題が起こっている。また、今回の調査対象地である沖縄県宜野湾市においても、これらの問題に対応するとともに、墓地行政の基本的な方向を示す「市町村墓地基本計画」の策定が急務となっている。

本調査研究は、宜野湾市内の墓地の現況調査や住民の意向調査及びその分析等により、環境保全上の課題整理、有効な土地利活用に向けた方策等を検討し、平成22年度以降に策定予定の宜野湾市墓地基本計画の基礎資料となる、墓地施策の方向、将来の墓地需要、墓地整備の方針、墓地区域及び誘導地域、公営墓地整備等のあり方を提言することを目的として実施した。

本研究の企画及び実施にあたっては、研究委員会の委員長及び委員をはじめ、関係者の方々から多くのご指導とご協力をいただいた。

また、本研究は、競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて、宜野湾市と当機構が共同で行ったものである。ここに謝意を表する次第である。

本報告書が広く地方公共団体及び国の施策展開の一助となれば幸いである。

平成22年3月

財団法人 地方自治研究機構
理事長 佐野 徹治

目 次

はじめに

序章 調査の背景と目的・調査の前提条件	01
第1章 宜野湾市の概況	05
第2章 墓地の実態把握	11
第3章 市民の墓地取得意向調査（アンケート結果）	18
第4章 将来の墓地需要の推計	46
第5章 先進自治体における公営墓地の事例研究	51
第6章 墓地に関する行政課題の抽出	61
第7章 望ましい墓地施策のあり方の提言	65
＜参考資料＞	
1. アンケート調査の実施概要、アンケート調査票	69
2. 墓地台帳（抜粋）	91

序章 調査の背景と目的・調査の前提条件

1. 調査の背景と目的

宜野湾市を含む沖縄県では共同墓地（門中墓）の伝統が崩壊しつつあり、無秩序、無計画な墓地の散在化が進んでいる。このため、都市計画・土地利用上の支障や、違法墓地の建立、周辺住民とのトラブル、適正管理されない無縁墓地等の問題が起こっている。

また、宜野湾市には、中央に市域の1/3を占める普天間飛行場があり、それを取り囲むように住宅と墓地が混在しているため、有効利用できる土地が少なく、公営墓地等の整備も遅れている。

このような状況の中、宜野湾市においても墓地行政の基本的な方向を示す「市町村墓地基本計画」の策定が急務となっている。

そこで、本調査研究は、市内の墓地の現況調査や住民の意向調査及びその分析等により、環境保全上の課題整理、有効な土地利用に向けた方策等を検討し、平成22年度以降に策定予定の宜野湾市墓地基本計画の基礎資料となる、墓地施策の方向、将来の墓地需要、墓地整備の方針、墓地区域及び誘導地域、公営墓地整備等のあり方を提言することを目的として実施する。

2. 調査の視点

○宜野湾市の墓地の現況と土地利用上の問題点を抽出する

- ・墓地の集積状況・管理状況についての現地調査
- ・管理台帳などの資料の収集と体系化
- ・関連機関ヒアリングに基づく、墓地管理状況の現状・課題の抽出

○今後の墓地需要を推計するために市民の墓地取得需要を把握する

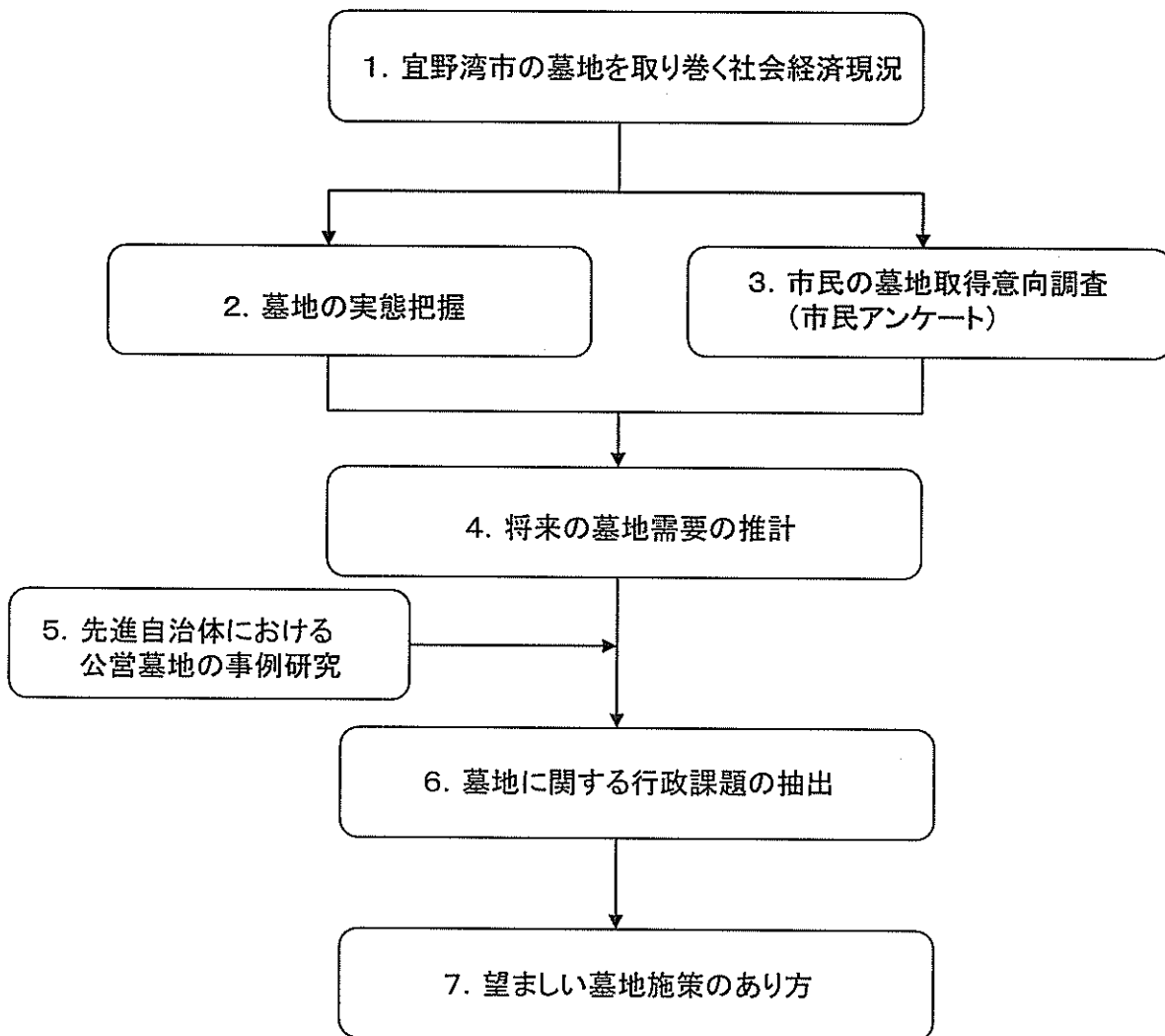
- ・市民の墓地取得に対するアンケート調査の実施
- ・市民の墓地保有の現況の把握および、今後の取得意向（墓地の形態、居住地域との関係など）についての分析

○市として対応すべき行政課題を踏まえ、今後の取組方向を検討する。

- ・他都市事例を踏まえた市レベルにおける墓地関連行政についての業務の抽出
- ・他都市事例を踏まえた墓地整備、墓地区域設定などの方針の検討
- ・墓地基本計画策定に向けた施策のあり方、および関連主体（特に県）との連携のあり方の検討

3. 調査項目及び調査内容

〈調査フロー〉



〈調査内容〉

(1) 宜野湾市の墓地を取り巻く社会経済現況 (調査の前提条件)

- ・ 沖縄における墓地の地域的特徴
- ・ 宜野湾市の概況 (人口・世帯、土地利用、市営霊園の現状等)
- ・ 行政課題としての「墓地」の位置づけ・論点

(2) 墓地の実態把握

- ・ 基礎的データの収集・分析
- ・ 関連機関へのヒアリングに基づく市内の墓地集積の現況・課題

(3) 市民の墓地取得意向調査 (市民アンケート)

- ・今後の墓地需要・設置意向を把握するためのアンケートを実施

(4) 将来の墓地需要の推計

- ・アンケート調査結果としての墓地需要、および将来の人口・世帯のあり方をもとに、将来の墓地需要を推計

(5) 先進自治体における公営墓地の事例研究

- ・国内先進事例調査
- ・今後の墓地行政として市に対応が求められる業務（中核市などを事例として）

(6) 墓地に関する行政課題の抽出

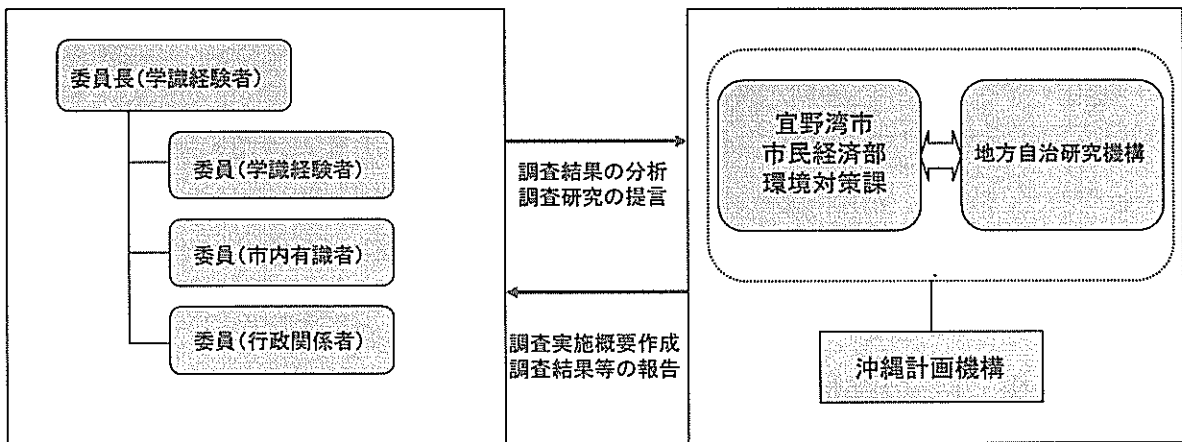
- ・現況調査、アンケート、推計に基づく課題の抽出・検討

(7) 望ましい墓地施策のあり方

- ・市のレベルで求められる取組方向、県をはじめとする関連機関との連携
- ・検討の視点としては人口・世帯の動向などからみた墓地需要の見通しと対応のあり方、生活環境の形成など土地利用のあり方、墓地の管理のあり方など。
- ・墓地基本計画に盛り込むべき方針

4. 調査体制

- ・学識者、行政関係者等で組織する「調査研究委員会」を設置し、調査結果の分析及び調査研究結果の提案を検討する。
- ・調査研究委員会の委員は、学識経験者、市内有識者、行政関係者等で構成し、3回の開催を予定する。
- ・宜野湾市（市民経済部環境対策課）、地方自治研究機構（調査研究部）で構成する事務局を設置し、委員会での審議に必要な資料収集、調査研究の具体的な方法について検討する。
- ・調査研究の一部を基礎調査機関に委託する。



5. 調査の概要

1. 宜野湾市の概況

(1) 人口世帯の動向

平成20年の人口は90,589人、世帯数は36,838世帯で昭和45年と比べ人口2.3倍増、世帯数3.9倍と世帯が人口を上回る伸びを示している。

15歳未満の子供数は、平成2年に18,296人(24.1%)、平成17年は17,331人(19.3%：県平均18.7%)、65歳以上の高齢者の数は平成2年に5,122人(6.7%)平成17年は11,589人(12.9%：県平均16.1%)と県平均と比べ緩やかであるが少子高齢化が進行している。

(2) 土地利用の状況

平成19年の民有地の土地利用は、宅地が650.7ha(45.8%)、その他636.1ha(44.7%)、畑77.2ha(5.4%)、原野29.4ha(2.1%)、田28.8ha(2.0%)となり、大半が宅地とその他(軍用地を含む)となっている。

2. 墓地の実態

墓地実態調査では3,529基の墳墓が確認された。墓地の立地場所は、市街地内及び隣接するお墓が相当数見られる。また、斜面地に立地するお墓も多く見られ、亀甲墓など景観的にも優れたお墓も存在する。

平成8年度の県調査では、2,404基の墳墓が確認されている。今回の3,529基と比べ1,125基増加したことになるが、平成8年～21年間の墓地の許可申請件数は287件であり、838基の差がある。これらは、無許可による墓地と考えられる。



5. 墓地の課題

(1) 宜野湾市の概況に伴う課題

家族墓志向から世帯の増加とともに家族墓が急増している。また、少子高齢化に伴い主に家族墓を中心に継承者不在となる無縁墓の増加が予測され、管理されないお墓の増加による環境問題が懸念される。土地利用では、大半が宅地と軍用地で占められ飽和状態にあることから、今後市内における墓地用地の確保が課題となる。

(2) 墓地の実態に伴う課題

墓地と住宅が混在し住環境への影響が懸念される。また、道路等の基盤が不足する場所に立地する墓地も多く清明祭の交通問題等も発生している。一方、斜面緑地と一体となり、景観的にも優れた良好なお墓は地域資源として保全が求められる。更に、無許可の墓地も多く見られ、これらへの対策が求められる。

(3) アンケート結果からみた課題

①お墓に対する市民意識への対応

お墓に対しては、伝統的なお墓の継承と新たなお墓を求める方それぞれの意向があることから、これに対処できる墓地の施策が求められる。

②墓地の維持管理

年2～3回の清掃では、お墓が雑草に覆われる時期も見られる。お墓と住宅が混在する本市において、沖縄の伝統的な葬送文化や墳墓形態を継承するには、地域と共存するお墓のあり方が問われる。

③今後の墓地対策

住民は墓地の集約を望んでおり、墓地を集約する場所として、「墓地返還後の跡地」が32.8%と最も高いことから跡地利用との調整が今後の課題となる。

④墓地需要への対応

将来(20年間)の墓地需要3,303基は、管理主体別に墳墓形態が異なるなど、これらの意向を踏まえた墓地供給の方策が求められる。

6. 墓地施策の提言

<基本スタンス>

伝統的な葬送文化の継承や新たな葬送を望む方も見られる、このような需要に対処するとともに、既存墓地対策や今後の墓地需要への適切な対応が求められる。

(1) 既存墓地の保全・維持管理の強化

斜面緑地の保全や景観的にも良好なお墓については、墓地管理者に対して既存墓(共同墓制度)の維持を促すための啓発活動が求められる。また、既に無縁化しているお墓などの対応策も重要となる。更に、無縁墓などのお墓が存在する地域においては地域による管理についての検討も必要とされる。

(2) 増加する墓地への対応

人口や世帯の増加、家族墓志向により今後お墓の急増が予想され、これら用地の確保は困難である。このため、今後造られるお墓については小規模で多くのお骨を収納できる共同墓の利用を促すなどの啓発活動が求められる。また、市民の墓地需要に応えるため、墓地用地の確保に向けた検討が求められる。

(3) 無縁墓の抑制

今後、家族墓の急増が予測されるが、少子化の影響から継承者のいない家族墓が増え、無縁墓の増加が懸念される。管理されない無縁墓は周辺環境を著しく悪化させる。無縁墓をなくすため、共同墓の利用を促すと共に、家族墓を望む方に対しては永代供養をしてくれる施設の利用を促す必要がある。

(4) 無許可墓地の抑制

平成8年～21年の13年間に約800基の無許可墓地が立地したと思われる、このようなお墓の無秩序な立地が、周辺地域の環境悪化の要因となることから、無許可の墓地対策として、市民への墓地埋葬法の普及啓発を徹底するとともに、民間の墓地開発の誘導が重要となる。

(5) 墓地区域、墓地禁止区域の検討

平成8年～21年間に1,125基のお墓が増加している。本市は、今後墓地が造られる場所は少ないと考えられるが、小規模な墓地(1基当たり1～3㎡)は、地域の至る所に立地する可能性がある。このような、墓地の乱立を防ぎ市街地の住環境を保全するため墓地立地の規制・誘導が必要とされ、墓地の立地を許容する墓地区域と墓地の立地を制限する墓地禁止区域の設定が考えられる。なお、これら区域は住民との協議を行い合意のもとに指定を行う必要がある。さらに、区域の実効性を担保する条例の制定が求められる。

(6) 墓地需要への対応

今後20年間の市民の墓地需要は、個人での取得を望む方が1,538基、公営墓地が1,522基、法人墓地が137基となっている。限られた市域の中でこれら需要全てに応えることは困難と考えられるが、それぞれの需要に対して以下のような対応が求められる。

1) 個人による墓地取得の誘導

民間開発業者を介した個人による墓地の取得が、今日のような墓地問題を引き起こしていることから、これら個人の墓地取得の規制を行うことが重要となる。具体的には墓地区域や墓地禁止区域の設定を行い、個人で取得できる墓地の場所を限定し墓地の乱立を防ぐことが効果的と考えられる。

2) 公営墓地の検討

公営墓地は、家族墓の需要も多いが施設型共同墓の需要も多い、このような墓地需要を踏まえた公営墓地の整備が求められる。公営墓地の整備は公共の福祉の観点が必要で、限られた用地で多くの方のお骨を収納できる施設が必要とされる。また多くのお骨を収容できるよう施設の運用(合葬式の採用)についても検討が必要とされる。

3) 法人霊園への対応

市内において法人による開発申請が発生した場合は、市の将来の街づくりや土地利用に配慮し、適切な場所へ誘導することが求められる。また、法人霊園の立地にあたっては、地域貢献の為の条件を付すと同時に、永代供養を行う施設としての管理運営が求められる。

3. アンケート結果

(1) お墓に対する市民の意識への対応

お墓は、生活環境を阻害する要因としてあげられているが、一方で「見慣れた景色の一部で、特に何も感じない」43.9%、「緑地と一帯となり緑の保全に貢献している、景観的にも良好である」5.6%など、積極的に評価する意見も僅かながら見られる。

また、お墓や葬送のあり方に対しては「伝統的な沖縄のお墓の形態や葬送を継承したい」が42.1%と高いが、「お墓の継承者がいなくても安心できる永代供養をしてくれる施設型共同墓を利用したい」36.6%、「自然葬など新たな葬送を考えたい」12.8%も見られ、新たな葬儀・葬送を求める方も同程度存在する。

(2) 墓地の維持・管理

個人や家族・親族で管理しているお墓の清掃は、「年2回」が66.0%と多く、次いで「3回」19.7%、「1回」12.9%となっている。本県は、植物の成長が早く年2、3回の清掃では、お墓が雑草に覆われる状態も見られる。市民意識でも、「生活環境や衛生・防犯などの面で良くない」と答えた人が34.2%見られる。

(3) 今後の墓地のあり方に対する意向

今後造られるお墓や既存のお墓に対する住民意向は、「新に造られる墓地は決められた場所に集約する」50.5%、「既存の墓地でも場合によっては移転して集約すべき」27.9%と、お墓を集約させるとの意見が78.4%を占める。一方、「これまで通り、個人が所有する土地に墓を造らせるべき」は7.6%、「わからない」8.8%となっている。

4. 墓地需要

管理者別墓地需要数

	墓地需要 世帯割合	年平均墓地需要数				平成31年 10年累計	平成41年 20年累計
		H22 ~26	H27 ~31	H32 ~36	H37 ~41		
個人・家族・親族での墓地の取得	12.7%	66	73	81	88	693	1,538
公共が管理する霊園	12.5%	65	72	80	87	696	1,522
民間の霊園(お寺など含む)	1.1%	6	7	7	8	62	137
その他	0.5%	3	3	3	3	27	61
無回答	0.4%	2	2	2	3	21	46
墓地需要数合計	27.2%	141	157	173	189	1,499	3,303

第1章 宜野湾市の概況

1. 人口の推移

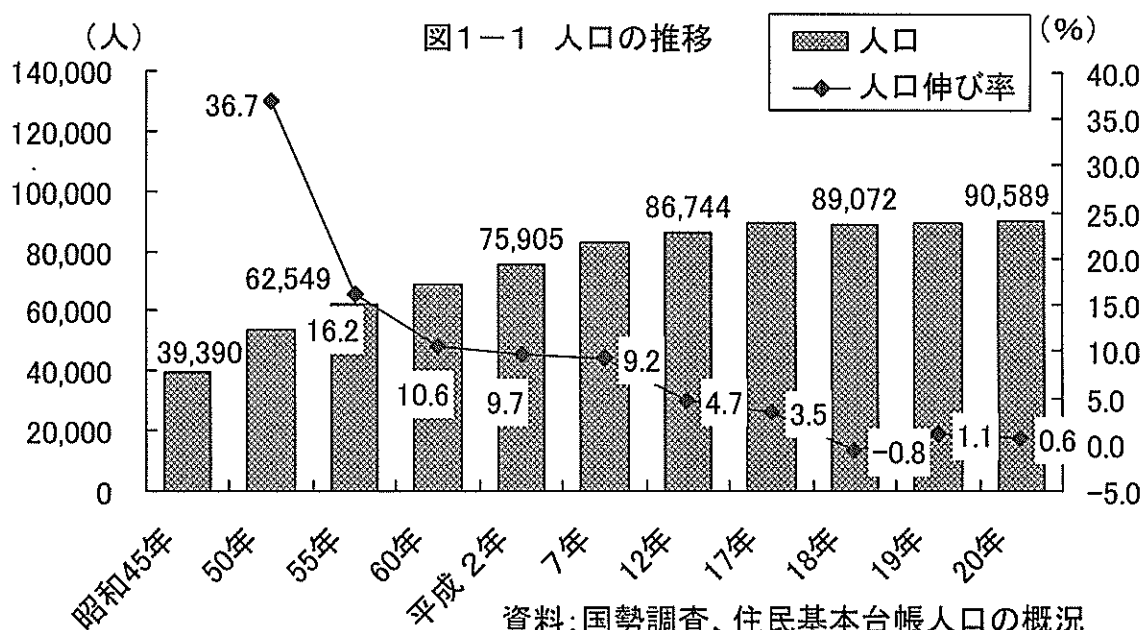
平成20年（住民基本台帳）における宜野湾市の人口は90,589人となっている。人口の推移（昭和45～平成17年国勢調査）をみると、昭和45年の39,390人から着実な右肩上がりの増加を示しており、平成17年には89,769人と35年間で人口は2倍以上（2.28倍）になっている。

人口の伸び率をみると、昭和45～50年にかけての36.7%から、それ以降の伸び率は低下し、平成7～12年及び平成12～17年においては5%以下となっており人口の伸びは鈍化している。

表1-1 人口及び世帯の状況 単位：人、世帯、%

	人口			世帯			
	総人口	対前年 伸び率	男性	女性	世帯数	対前年 伸び率	1世帯あ たり人員
昭和45年	39,390		18,869	20,521	9,341		4.22
50年	53,835	36.7%	26,472	27,363	13,967	49.5%	3.85
55年	62,549	16.2%	30,796	31,753	17,619	26.1%	3.55
60年	69,206	10.6%	34,455	34,751	20,929	18.8%	3.31
平成2年	75,905	9.7%	37,362	38,543	24,467	16.9%	3.10
7年	82,862	9.2%	40,782	42,080	28,109	14.9%	2.95
12年	86,744	4.7%	42,728	44,016	31,942	13.6%	2.72
17年	89,769	3.5%	43,879	45,890	34,738	8.8%	2.58
18年	89,072	-0.8%	43,663	45,409	35,753	2.9%	2.49
19年	90,018	1.1%	44,034	45,984	36,344	1.7%	2.48
20年	90,589	0.6%	44,272	46,317	36,838	1.4%	2.46

資料：国勢調査（昭和45～平成17年）、住民基本台帳人口の概況（平成18～20年）



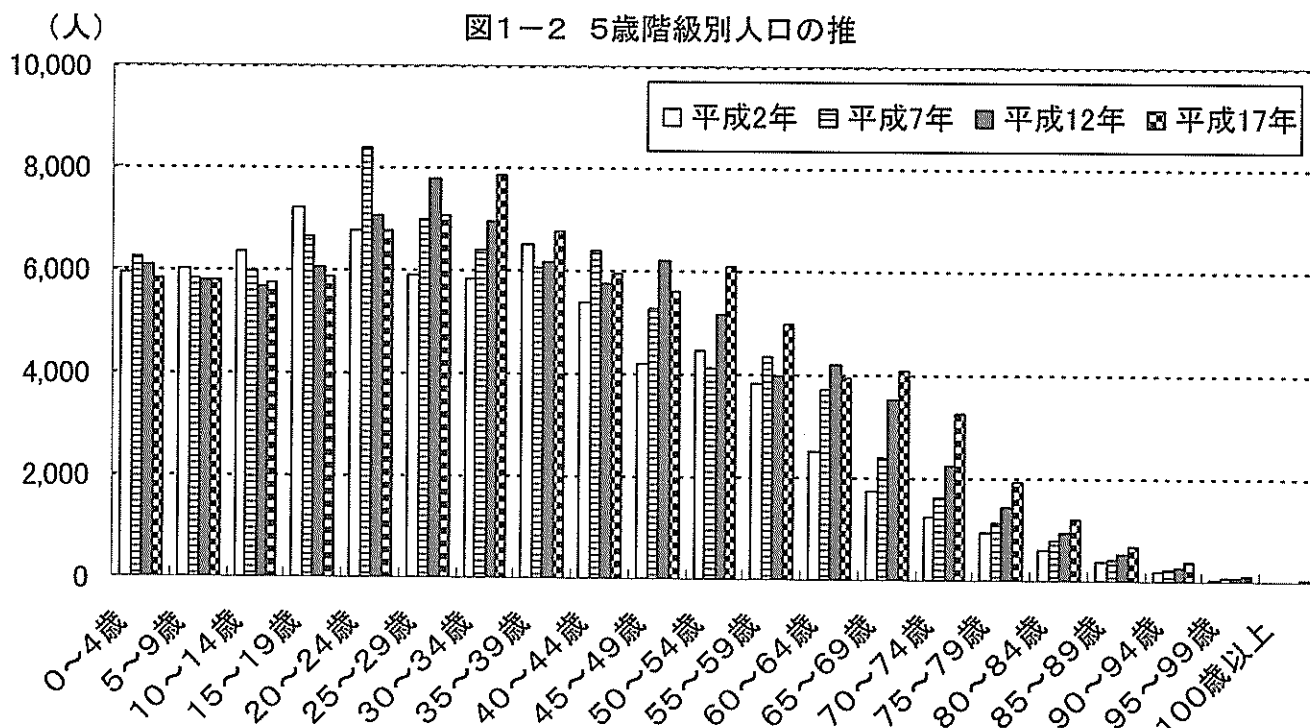
5歳階級別の人口の推移（平成2～平成17年）をみると、15歳以下の人口は経年的に減少傾向にある。これに対して65歳以上の人口は一貫した増加傾向を示し、平成2年からの15年間で倍以上となっているなど、少子高齢社会の進行が伺え、将来的に墓地の継承者が減少していくことが懸念される。

表1-2 5歳階級別人口の推移

単位：人、%

	平成2年		平成7年		平成12年		平成17年		県平均
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	
0～4歳	5,940	7.8%	6,257	7.6%	6,080	7.0%	5,814	6.5%	6.0%
5～9歳	6,017	7.9%	5,820	7.0%	5,786	6.7%	5,781	6.4%	6.2%
10～14歳	6,339	8.4%	5,960	7.2%	5,661	6.5%	5,736	6.4%	6.4%
小計	18,296	24.1%	18,037	21.8%	17,527	20.2%	17,331	19.3%	18.7%
15～19歳	7,202	9.5%	6,639	8.0%	6,052	7.0%	5,847	6.5%	6.6%
20～24歳	6,768	8.9%	8,386	10.1%	7,067	8.1%	6,785	7.6%	6.2%
25～29歳	5,900	7.8%	6,983	8.4%	7,789	9.0%	7,058	7.9%	6.8%
30～34歳	5,832	7.7%	6,393	7.7%	6,944	8.0%	7,875	8.8%	7.6%
35～39歳	6,504	8.6%	6,056	7.3%	6,176	7.1%	6,773	7.5%	6.7%
40～44歳	5,372	7.1%	6,409	7.7%	5,741	6.6%	5,933	6.6%	6.6%
45～49歳	4,180	5.5%	5,248	6.3%	6,199	7.1%	5,585	6.2%	6.8%
50～54歳	4,440	5.8%	4,108	5.0%	5,145	5.9%	6,087	6.8%	7.4%
55～59歳	3,794	5.0%	4,332	5.2%	3,945	4.5%	4,980	5.5%	6.0%
60～64歳	2,486	3.3%	3,671	4.4%	4,189	4.8%	3,912	4.4%	4.5%
小計	52,478	69.1%	58,225	70.3%	59,247	68.3%	60,835	67.8%	65.2%
65～69歳	1,729	2.3%	2,374	2.9%	3,494	4.0%	4,052	4.5%	4.8%
70～74歳	1,246	1.6%	1,609	1.9%	2,218	2.6%	3,248	3.6%	4.1%
75～79歳	923	1.2%	1,119	1.4%	1,423	1.6%	1,934	2.2%	3.0%
80～84歳	610	0.8%	783	0.9%	930	1.1%	1,191	1.3%	2.0%
85～89歳	389	0.5%	423	0.5%	532	0.6%	683	0.8%	1.2%
90～94歳	170	0.2%	226	0.3%	248	0.3%	366	0.4%	0.6%
95～99歳	52	0.1%	58	0.1%	80	0.1%	95	0.1%	0.2%
100歳以上	3	0.004%	8	0.01%	15	0.02%	20	0.02%	0.1%
小計	5,122	6.7%	6,600	8.0%	8,940	10.3%	11,589	12.9%	16.1%
年齢不詳	9	0.01%	0	0.0%	1,030	1.2%	14	0.0%	0.03%
合計	75,905	100.0%	82,862	100.0%	86,744	100.0%	89,769	100.0%	100.0%

資料：国勢調査



人口動態をみると、昭和 57 年度から平成 4 年度までは安定した自然増加（出生数が死亡者数を上回る）と社会増加（転入者数が転出者数を上回る）の両面による人口増加を示しているが、平成 9 年度以降における社会動態はマイナスに転じている。また、自然動態においても出生数は概ね安定しているものの死亡者数は経年的に増加し、平成 19 年度には昭和 57 年度の約 2 倍以上となっていることから、自然増加数も減少傾向を示している。

表1-3 人口動態

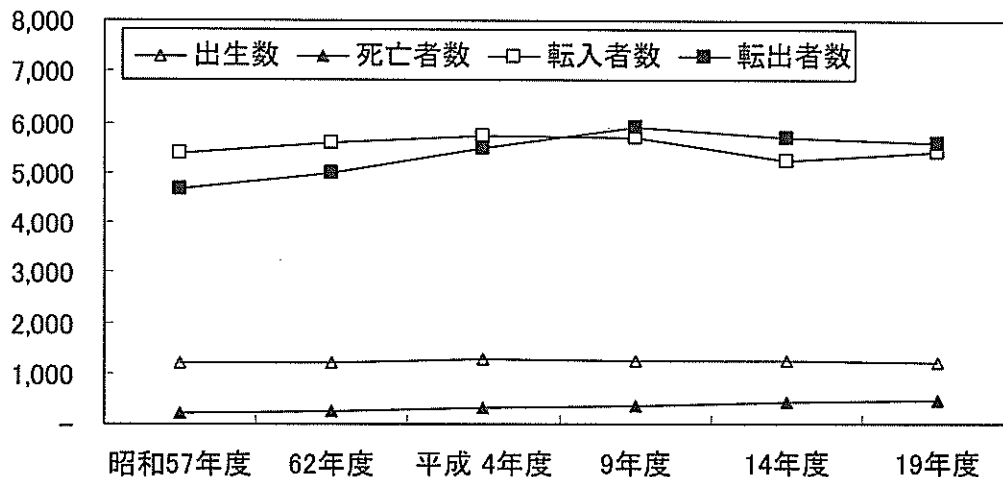
単位:人

	自然動態			社会動態		
	出生数	死亡者数	増減	転入者数	転出者数	増減
昭和57年度	1,205	223	982	5,375	4,678	697
62年度	1,202	248	954	5,608	4,988	620
平成 4年度	1,275	335	940	5,735	5,482	253
9年度	1,240	348	892	5,693	5,897	-204
14年度	1,230	410	820	5,235	5,689	-454
19年度	1,212	465	747	5,403	5,577	-174

資料:住民基本台帳人口の概況

(人)

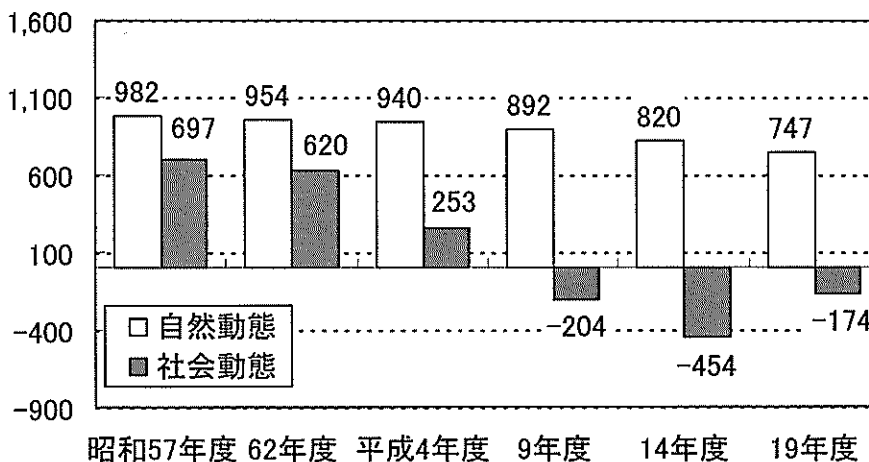
図1-3 出生数等の推移



資料:住民基本台帳人口の概況

(人)

図1-4 人口動態の推移



昭和57年度 62年度 平成4年度 9年度 14年度 19年度

資料:住民基本台帳人口の概況

2. 世帯の状況

世帯数の推移をみると、平成2年の24,467世帯から平成17年の34,738世帯まで一貫して増加しており、この15年間で約1万世帯以上（10,271世帯）の増加となっている。世帯数の増加に対し、一世帯あたりの人員は逆に平成2年の3.10人から平成17年の2.58人まで一貫して減少しており、沖縄県平均（H17：2.57人）とほぼ同程度である。

世帯構成では、核家族世帯と単独世帯の割合が平成2年の88.4%から平成17年には91.4%となり、世帯構成の約9割を占めている。また、総世帯数に占める高齢者世帯（高齢単身及び高齢夫婦世帯）の状況をみると、平成2年の1,117世帯（4.6%）から平成17年には3,564世帯（10.3%）と3倍以上も増加している。

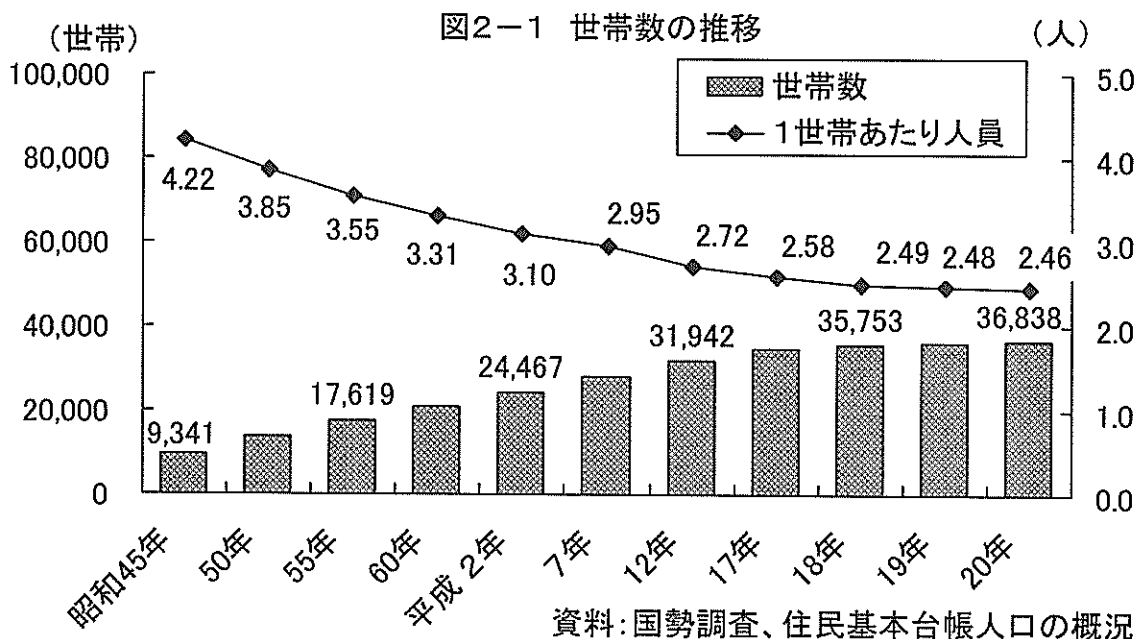
表2-1 世帯の状況

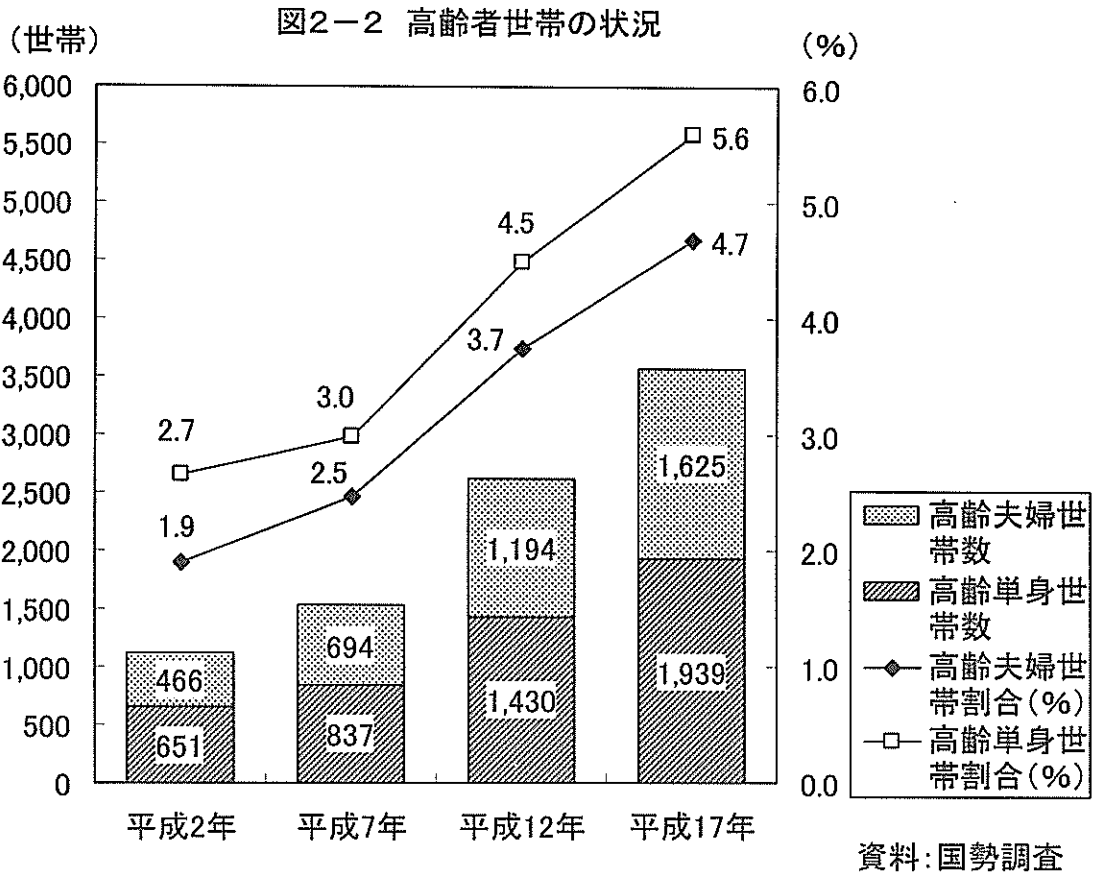
	平成2年		平成7年		平成12年		平成17年	
	世帯数	%	世帯数	%	世帯数	%	世帯数	%
総世帯数	24,467	100.0%	28,109	100.0%	31,942	100.0%	34,738	100.0%
核家族世帯	15,414	63.0%	17,411	61.9%	19,184	60.1%	20,223	58.2%
単独世帯	6,209	25.4%	7,653	27.2%	9,326	29.2%	11,517	33.2%
高齢者のみ世帯	1,117	4.6%	1,531	5.4%	2,624	8.2%	3,564	10.3%
高齢単身世帯	651	2.7%	837	3.0%	1,430	4.5%	1,939	5.6%
高齢夫婦世帯	466	1.9%	694	2.5%	1,194	3.7%	1,625	4.7%
1世帯あたり人員	3.10人		2.95人		2.72人		2.58人	

※ 高齢単身世帯とは65歳以上の単身世帯

高齢夫婦世帯とは男性65歳以上、女性60歳以上の夫婦世帯

資料：国勢調査





3. 土地利用の動向

平成19年の民有地面積は14,221,531㎡でその内、宅地が6,506,669㎡(45.8%)で最も大きな割合を占めており、次いでそのほか6,360,844㎡(44.7%)、畑771,925㎡(5.4%)、原野294,225㎡(2.1%)、田287,868㎡(2.0%)となっている。なお、その他には基地が含まれている。

昭和57年から平成19年の25年間で畑(7.3ポイント)や原野(1ポイント)、田(0.3ポイント)は減少しているのに対し、宅地(8.6ポイント)は上昇しており、宅地化の進行が伺える。

表3-1 地目別民有地面積

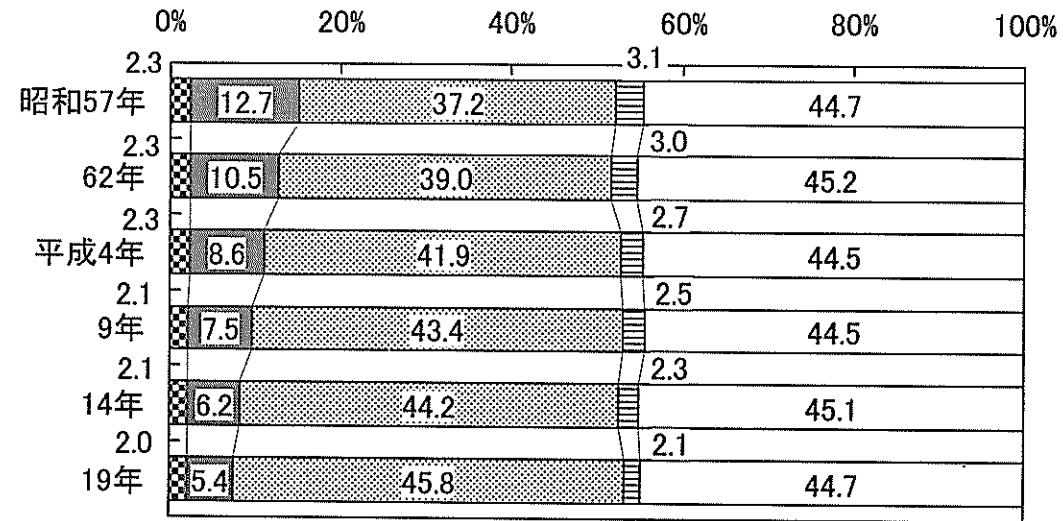
単位: ㎡

	合計	田	畑	宅地	山林	原野	その他
昭和57年	15,278,180	357,175	1,935,708	5,680,309	0	475,845	6,829,143
	100.0%	2.3%	12.7%	37.2%	0.0%	3.1%	44.7%
62年	15,008,476	343,636	1,571,566	5,846,815	0	456,628	6,789,831
	100.0%	2.3%	10.5%	39.0%	0.0%	3.0%	45.2%
平成4年	14,812,779	344,376	1,274,270	6,206,220	0	395,827	6,592,086
	100.0%	2.3%	8.6%	41.9%	0.0%	2.7%	44.5%
9年	14,444,430	307,366	1,079,232	6,273,102	0	363,762	6,420,968
	100.0%	2.1%	7.5%	43.4%	0.0%	2.5%	44.5%
14年	14,355,284	307,899	886,810	6,347,176	0	334,641	6,478,758
	100.0%	2.1%	6.2%	44.2%	0.0%	2.3%	45.1%
19年	14,221,531	287,868	771,925	6,506,669	0	294,225	6,360,844
構成比	100.0%	2.0%	5.4%	45.8%	0.0%	2.1%	44.7%

※「その他」とは、池沼、牧場、雑種地である

資料: 沖縄県企画部市町村課

図3-1 土地利用の動向



田 畑 宅地 原野 その他

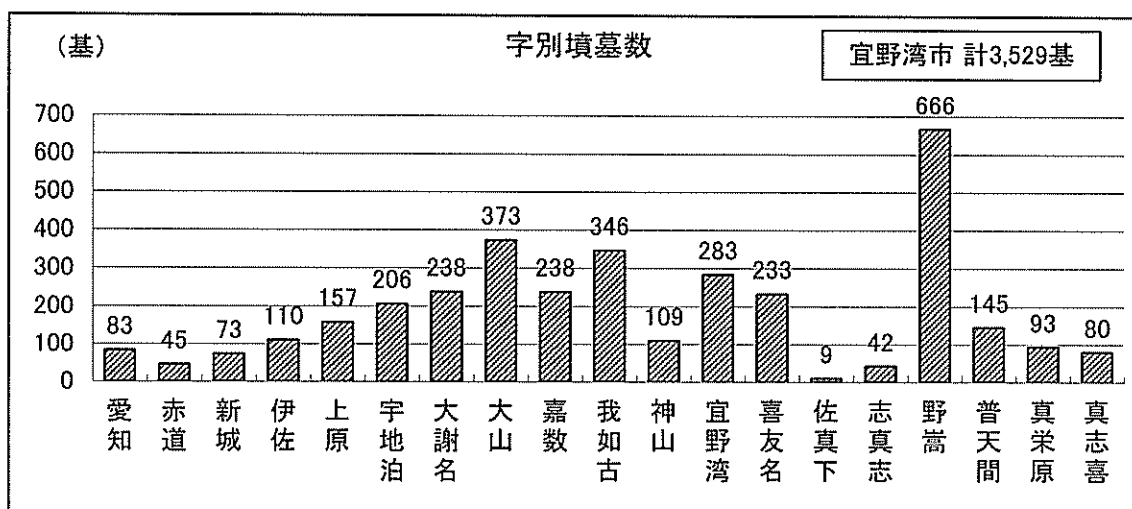
資料: 沖縄県企画部市町村課

第2章 墓地の実態把握

1. 墓地実態調査結果

(1) 墳墓数

平成20年度の墓地実態調査における宜野湾市の墳墓数は、計3,529基で字別の内訳を見ると、野嵩が666基(18.9%)と最も多い。次いで、大山373基(10.6%)、我如古346基(9.8%)、宜野湾283基(8.0%)、大謝名と嘉数が238基(6.7%)、喜友名233基(6.6%)、宇地泊206基(5.8%)、上原157基(4.4%)、普天間145基(4.1%)、伊佐110基(3.1%)となっている。

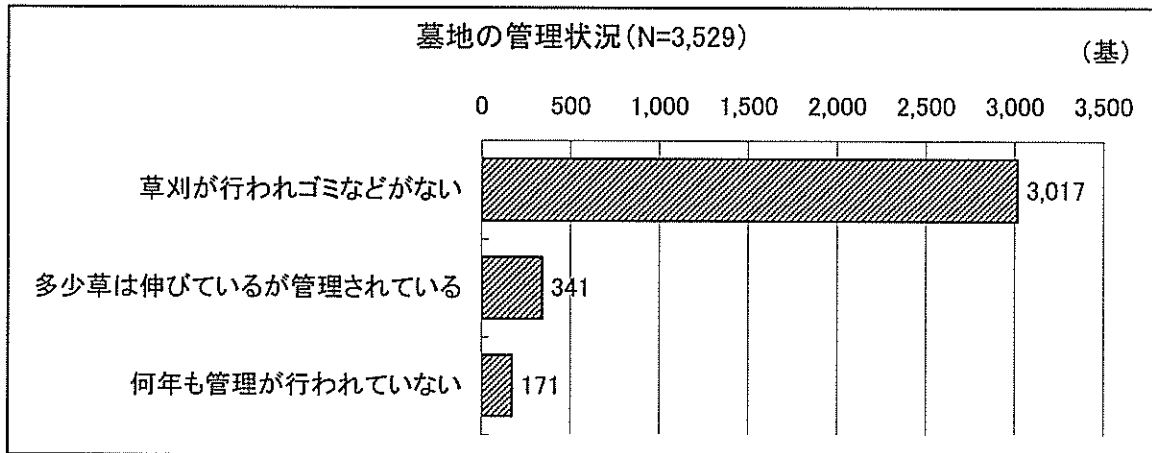


字名	墳墓数	割合	字名	墳墓数	割合
1 愛知	83	2.4%	11 神山	109	3.1%
2 赤道	45	1.3%	12 宜野湾	283	8.0%
3 新城	73	2.1%	13 喜友名	233	6.6%
4 伊佐	110	3.1%	14 佐真下	9	0.3%
5 上原	157	4.4%	15 志真志	42	1.2%
6 宇地泊	206	5.8%	16 野嵩	666	18.9%
7 大謝名	238	6.7%	17 普天間	145	4.1%
8 大山	373	10.6%	18 真栄原	93	2.6%
9 嘉数	238	6.7%	19 真志喜	80	2.3%
10 我如古	346	9.8%	宜野湾市計	3,529	100.0%

(2) 墓地の管理状況

墓地の管理状況は、「草刈が行われゴミなどが無い」が 3,017 基で全体の 85.5%を占める。「多少草は伸びているが管理されている」は 341 基 (9.7%)、「何年も管理が行われていない」は 171 基 (4.8%) の割合である。

字別で見ると「何年も管理が行われていない」お墓が多いのは、野嵩 36 基、我如古 22 基、喜友名 18 基、宜野湾 15 基の順である。

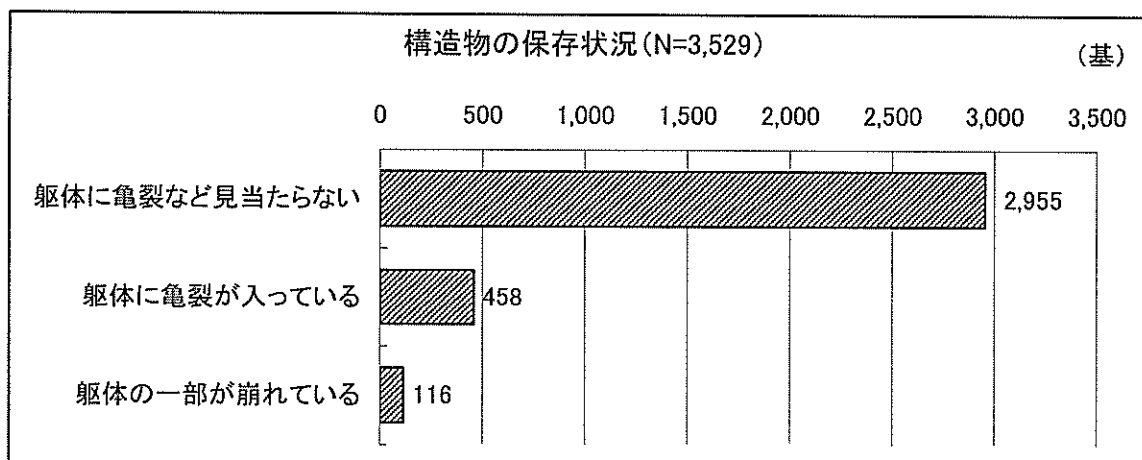


	宜野湾市	愛知	赤道	新城	伊佐	上原	宇地泊	大謝名	大山	嘉数
草刈が行われゴミなどが無い	3,017 85.5%	73 88.0%	45 100.0%	59 80.8%	93 84.5%	146 93.0%	196 95.1%	213 89.5%	294 78.8%	218 91.6%
多少草は伸びているが管理されている	341 9.7%	5 6.0%	0 0.0%	5 6.8%	7 6.4%	9 5.7%	9 4.4%	16 6.7%	65 17.4%	13 5.5%
何年も管理が行われていない	171 4.8%	5 6.0%	0 0.0%	9 12.3%	10 9.1%	2 1.3%	1 0.5%	9 3.8%	14 3.8%	7 2.9%
合計	3,529 100.0%	83 100.0%	45 100.0%	73 100.0%	110 100.0%	157 100.0%	206 100.0%	238 100.0%	373 100.0%	238 100.0%
	我如古	神山	宜野湾	喜友名	佐真下	志真志	野嵩	普天間	真栄原	真志喜
草刈が行われゴミなどが無い	288 83.2%	95 87.2%	218 77.0%	198 85.0%	5 55.6%	35 83.3%	583 87.5%	111 76.6%	83 89.2%	64 80.0%
多少草は伸びているが管理されている	36 10.4%	8 7.3%	50 17.7%	17 7.3%	4 44.4%	7 16.7%	47 7.1%	25 17.2%	9 9.7%	9 11.3%
何年も管理が行われていない	22 6.4%	6 5.5%	15 5.3%	18 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	36 5.4%	9 6.2%	1 1.1%	7 8.8%
合計	346 100.0%	109 100.0%	283 100.0%	233 100.0%	9 100.0%	42 100.0%	666 100.0%	145 100.0%	93 100.0%	80 100.0%

(3) 構造物の保存状況

構造物の保存状況について、「躯体に亀裂などが見当たらない」が2,955基で全体の83.7%を占める。「躯体に亀裂が入っている」は458基(13.0%)、「躯体の一部が崩れている」が116基(3.3%)の割合である。

字別で見ると「躯体の一部が崩れている」お墓が多いのは、愛知、喜友名、野嵩がともに11基、嘉数、我如古がそれぞれ10基である。

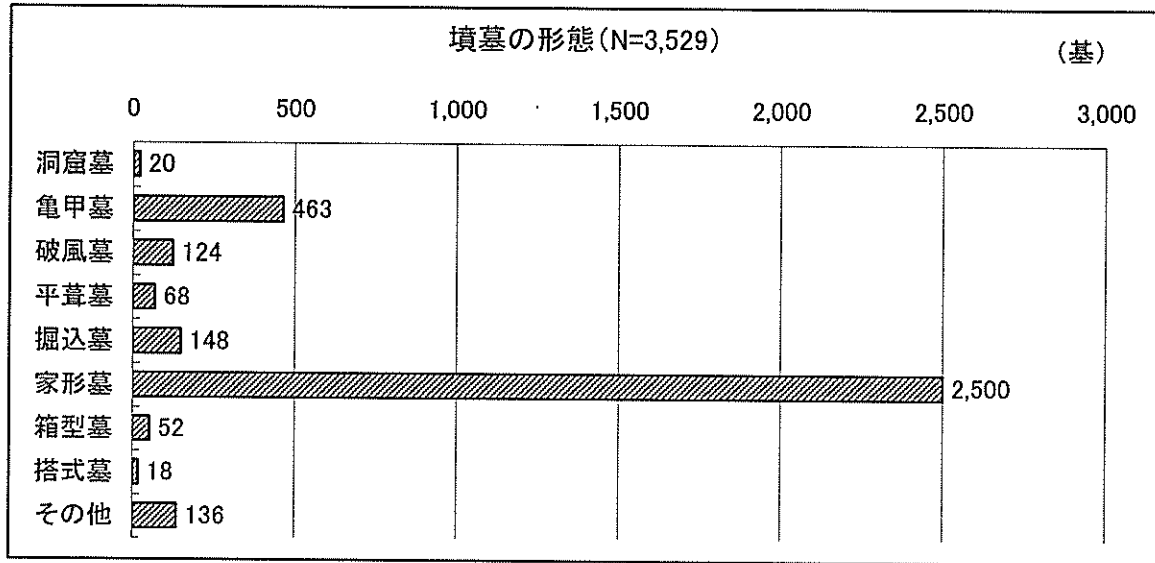


	宜野湾市	愛知	赤道	新城	伊佐	上原	宇地泊	大謝名	大山	嘉数
躯体に亀裂など見当たらない	2,955 83.7%	52 62.7%	32 71.1%	62 84.9%	93 84.5%	147 93.6%	196 95.1%	218 91.6%	288 77.2%	213 89.5%
躯体に亀裂が入っている	458 13.0%	20 24.1%	12 26.7%	3 4.1%	9 8.2%	9 5.7%	7 3.4%	17 7.1%	76 20.4%	15 6.3%
躯体の一部が崩れている	116 3.3%	11 13.3%	1 2.2%	8 11.0%	8 7.3%	1 0.6%	3 1.5%	3 1.3%	9 2.4%	10 4.2%
合計	3,529 100.0%	83 100.0%	45 100.0%	73 100.0%	110 100.0%	157 100.0%	206 100.0%	238 100.0%	373 100.0%	238 100.0%
	我如古	神山	宜野湾	喜友名	佐真下	志真志	野嵩	普天間	真栄原	真志喜
躯体に亀裂など見当たらない	274 79.2%	58 53.2%	264 93.3%	193 82.8%	8 88.9%	24 57.1%	565 84.8%	112 77.2%	79 84.9%	77 96.3%
躯体に亀裂が入っている	62 17.9%	45 41.3%	11 3.9%	29 12.4%	1 11.1%	14 33.3%	90 13.5%	24 16.6%	11 11.8%	3 3.8%
躯体の一部が崩れている	10 2.9%	6 5.5%	8 2.8%	11 4.7%	0 0.0%	4 9.5%	11 1.7%	9 6.2%	3 3.2%	0 0.0%
合計	346 100.0%	109 100.0%	283 100.0%	233 100.0%	9 100.0%	42 100.0%	666 100.0%	145 100.0%	93 100.0%	80 100.0%

(4) 墳墓の形態

墳墓の形態について、「家形墓」が2,500基で全体の70.8%を占める。次いで「亀甲墓」463基(13.1%)、「掘込墓」148基(4.2%)、「破風墓」124基(3.5%)、「平葺墓」68基(1.9%)の順である。

字別で見ると亀甲墓が多いのは、大山145基、大謝名50基、野嵩49基、嘉数46基、宇地泊40基となっており、これらは沖縄の伝統的なお墓が多く残されている地区である。

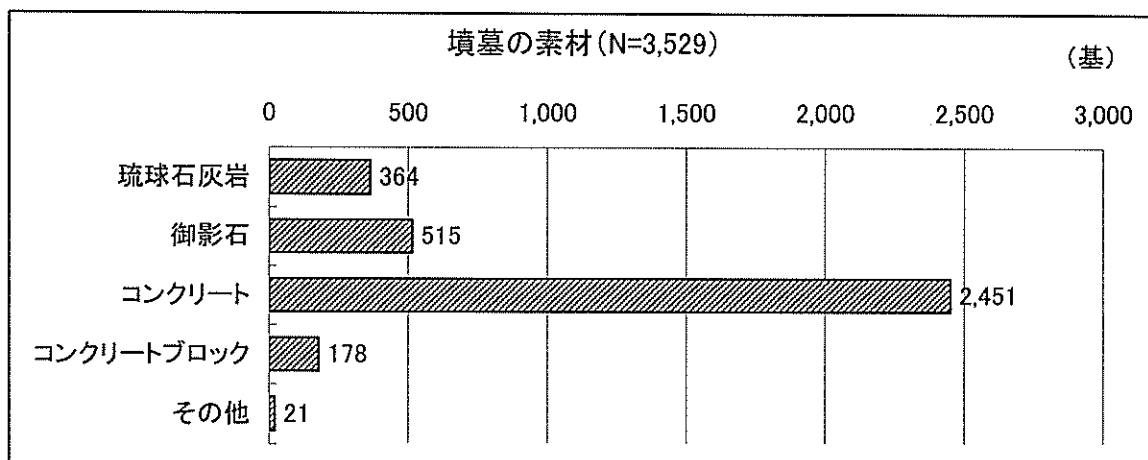


	宜野湾市	愛知	赤道	新城	伊佐	上原	宇地泊	大謝名	大山	嘉数
洞窟墓	20 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
亀甲墓	463 13.1%	1 1.2%	2 4.4%	7 9.6%	16 14.5%	9 5.7%	40 19.4%	50 21.0%	145 38.9%	46 19.3%
破風墓	124 3.5%	4 4.8%	2 4.4%	2 2.7%	11 10.0%	8 5.1%	4 1.9%	5 2.1%	14 3.8%	7 2.9%
平葺墓	68 1.9%	4 4.8%	5 11.1%	0 0.0%	2 1.8%	0 0.0%	1 0.5%	8 3.4%	17 4.6%	7 2.9%
掘込墓	148 4.2%	6 7.2%	0 0.0%	1 1.4%	9 8.2%	3 1.9%	3 1.5%	7 2.9%	29 7.8%	6 2.5%
家形墓	2,500 70.8%	67 80.7%	33 73.3%	57 78.1%	60 54.5%	134 85.4%	143 69.4%	147 61.8%	152 40.8%	168 70.6%
箱型墓	52 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	2 1.8%	3 1.9%	3 1.5%	4 1.7%	3 0.8%	2 0.8%
搭式墓	18 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	1 0.4%	1 0.3%	2 0.8%
その他	136 3.9%	1 1.2%	3 6.7%	5 6.8%	9 8.2%	0 0.0%	11 5.3%	16 6.7%	12 3.2%	0 0.0%
合計	3,529 100.0%	83 100.0%	45 100.0%	73 100.0%	110 100.0%	157 100.0%	206 100.0%	238 100.0%	373 100.0%	238 100.0%
	我如古	神山	宜野湾	喜友名	佐裏下	志真志	野嵩	普天間	真栄原	真志喜
洞窟墓	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	18 2.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
亀甲墓	23 6.6%	2 1.8%	5 1.8%	23 9.9%	1 11.1%	6 14.3%	49 7.4%	4 2.8%	4 4.3%	30 37.5%
破風墓	14 4.0%	7 6.4%	3 1.1%	8 3.4%	0 0.0%	1 2.4%	31 4.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.8%
平葺墓	5 1.4%	1 0.9%	1 0.4%	6 2.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.3%	0 0.0%	7 7.5%	2 2.5%
掘込墓	10 2.9%	2 1.8%	18 6.4%	7 3.0%	0 0.0%	1 2.4%	34 5.1%	1 0.7%	2 2.2%	9 11.3%
家形墓	284 82.1%	87 79.8%	232 82.0%	175 75.1%	8 88.9%	31 73.8%	497 74.6%	120 82.8%	73 78.5%	32 40.0%
箱型墓	2 0.6%	6 5.5%	4 1.4%	3 1.3%	0 0.0%	1 2.4%	10 1.5%	5 3.4%	3 3.2%	0 0.0%
搭式墓	3 0.9%	0 0.0%	1 0.4%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	4 0.6%	0 0.0%	4 4.3%	0 0.0%
その他	5 1.4%	4 3.7%	19 6.7%	9 3.9%	0 0.0%	2 4.8%	21 3.2%	15 10.3%	0 0.0%	4 5.0%
合計	346 100.0%	109 100.0%	283 100.0%	233 100.0%	9 100.0%	42 100.0%	666 100.0%	145 100.0%	93 100.0%	80 100.0%

(5) 墳墓の素材

墳墓の素材について、「コンクリート」が2,451基で全体の69.5%を占める。次いで「御影石」515基(14.6%)、「琉球石灰岩」364基(10.3%)、「コンクリートブロック」178基(5.0%)の順である。

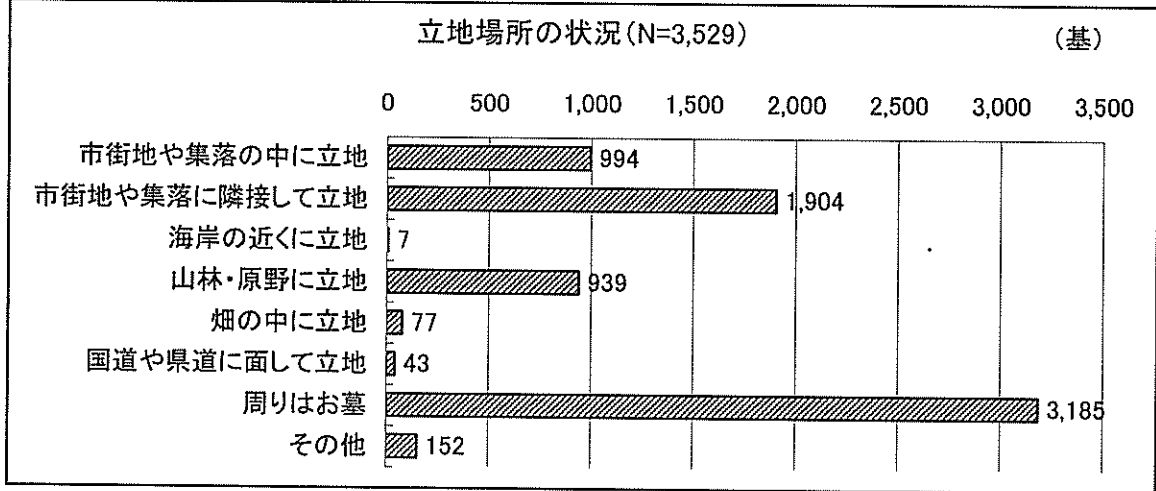
字別で見ると、御影石が多い地区は野嵩89基、嘉数85基、喜友名69基となっている。これらの地区は、近年建てられた墓が多い地区と思われる。



	宜野湾市	愛知	赤道	新城	伊佐	上原	宇地泊	大謝名	大山	嘉数
琉球石灰岩	364 10.3%	13 15.7%	13 28.9%	8 11.0%	23 20.9%	10 6.4%	10 4.9%	17 7.1%	50 13.4%	26 10.9%
御影石	515 14.6%	11 13.3%	1 2.2%	20 27.4%	10 9.1%	9 5.7%	22 10.7%	26 10.9%	40 10.7%	85 35.7%
コンクリート	2,451 69.5%	59 71.1%	30 66.7%	43 58.9%	73 66.4%	121 77.1%	167 81.1%	181 76.1%	276 74.0%	96 40.3%
コンクリートブロック	178 5.0%	0 0.0%	1 2.2%	2 2.7%	4 3.6%	17 10.8%	7 3.4%	14 5.9%	7 1.9%	31 13.0%
その他	21 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計	3,529 100.0%	83 100.0%	45 100.0%	73 100.0%	110 100.0%	157 100.0%	206 100.0%	238 100.0%	373 100.0%	238 100.0%
	我如古	神山	宜野湾	喜友名	佐真下	志真志	野嵩	普天間	真栄原	真志喜
琉球石灰岩	19 5.5%	8 7.3%	4 1.4%	29 12.4%	1 11.1%	8 19.0%	98 14.7%	9 6.2%	0 0.0%	18 22.5%
御影石	43 12.4%	18 16.5%	46 16.3%	69 29.6%	0 0.0%	1 2.4%	89 13.4%	16 11.0%	5 5.4%	4 5.0%
コンクリート	269 77.7%	73 67.0%	206 72.8%	133 57.1%	8 88.9%	28 66.7%	451 67.7%	118 81.4%	62 66.7%	57 71.3%
コンクリートブロック	13 3.8%	10 9.2%	8 2.8%	2 0.9%	0 0.0%	5 11.9%	28 4.2%	2 1.4%	26 28.0%	1 1.3%
その他	2 0.6%	0 0.0%	19 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計	346 100.0%	109 100.0%	283 100.0%	233 100.0%	9 100.0%	42 100.0%	666 100.0%	145 100.0%	93 100.0%	80 100.0%

(6) 立地場所の状況 (※複数回答)

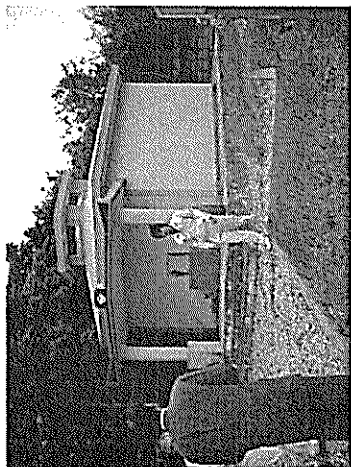
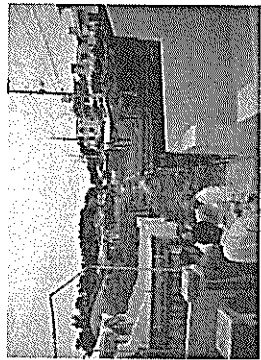


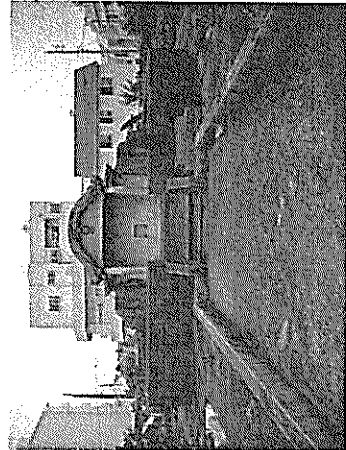


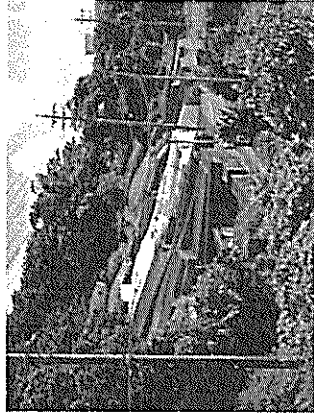

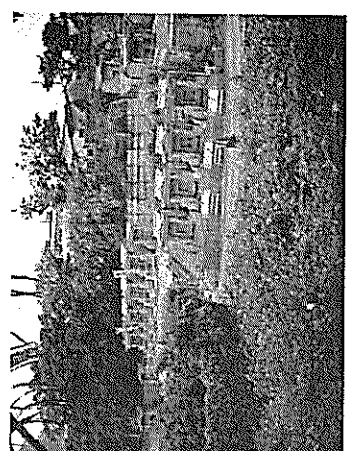
立地場所の状況について、「周りはお墓」が3,185基(43.6%)で最も多い。次いで、「市街地や集落に隣接して立地」が1,904基(26.1%)、「市街地や集落の中に立地」が994基(13.6%)である。



	宜野湾市	愛知	赤道	新城	伊佐	上原	宇地泊	大謝名	大山	嘉数
市街地や集落の中に立地	994 13.6%	83 49.7%	5 6.0%	42 56.0%	13 11.8%	2 0.6%	6 1.3%	136 21.8%	19 2.2%	141 28.7%
市街地や集落に隣接して立地	1,904 26.1%	2 1.2%	40 47.6%	31 41.3%	1 0.9%	155 49.7%	198 43.1%	101 16.2%	290 34.0%	97 19.7%
海岸の近くに立地	7 0.1%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
山林・原野に立地	939 12.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	46 10.0%	157 25.1%	166 19.5%	21 4.3%
畑の中に立地	77 1.1%	8 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 1.3%	2 0.4%	0 0.0%	6 0.7%	3 0.6%
国道や県道に面して立地	43 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.3%	3 0.4%	0 0.0%
周りはお墓	3,185 43.6%	73 43.7%	39 46.4%	2 2.7%	94 85.5%	151 48.4%	205 44.7%	229 36.6%	369 43.3%	230 46.7%
その他	152 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計	7,301 100.0%	167 100.0%	84 100.0%	75 100.0%	110 100.0%	312 100.0%	459 100.0%	625 100.0%	853 100.0%	492 100.0%
	我如古	神山	宜野湾	喜友名	佐真下	志真志	野嵩	普天間	真栄原	真志喜
市街地や集落の中に立地	30 4.4%	109 49.3%	0 0.0%	78 33.2%	6 37.5%	42 50.6%	175 9.5%	8 5.4%	88 46.8%	11 5.8%
市街地や集落に隣接して立地	293 42.6%	0 0.0%	199 38.6%	29 12.3%	3 18.8%	0 0.0%	376 20.4%	6 4.1%	5 2.7%	78 41.3%
海岸の近くに立地	0 0.0%	0 0.0%	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.1%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%
山林・原野に立地	23 3.3%	6 2.7%	9 1.7%	6 2.6%	0 0.0%	0 0.0%	472 25.6%	0 0.0%	8 4.3%	24 12.7%
畑の中に立地	3 0.4%	5 2.3%	3 0.6%	20 8.5%	0 0.0%	0 0.0%	23 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
国道や県道に面して立地	11 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	6 2.6%	0 0.0%	1 1.2%	20 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
周りはお墓	328 47.7%	101 45.7%	279 54.2%	96 40.9%	7 43.8%	40 48.2%	652 35.4%	127 86.4%	87 46.3%	76 40.2%
その他	0 0.0%	0 0.0%	24 4.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	122 6.6%	5 3.4%	0 0.0%	0 0.0%
合計	688 100.0%	221 100.0%	515 100.0%	235 100.0%	16 100.0%	83 100.0%	1,842 100.0%	147 100.0%	188 100.0%	189 100.0%

2. 宜野湾市内の主要な墓地の立地状況

本市は、野嵩地区、普天間地区、大山地区の斜面緑地に墓地の集積が見られる。これらの墳墓の形態は、亀甲墓が多く見られるものの、全体としてはコンクリートで作られた家族墓（5～6坪）が多い。
近年は、普天間中学校の裏や志真志小学校近くの川沿いなどに、新たな墓地の集積が見られる。これらの墳墓は大理石などを使用したものも多く見られる。

<p>③市無縁納骨堂</p> 	<p>①野嵩霊園（市管理）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面整備事業により墓を移転。 	<p>②野嵩三区墓地集積地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路を隔てて墓地と住宅地が隣接。 
<p>④仮墓群</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野嵩地区（共有地）の古い墓地、今は仮墓用地として使用。 	<p>⑤普天間地区の大規模墓地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区画整理地区の一街区が墓地。 	<p>⑥共同墓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新城地区共同墓。 
<p>⑦新墓地建設地帯（普天間中学背後地）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年墓地建設が進んでいる地区。 	<p>⑧亀甲墓群</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大山地区の斜面緑地帯にある亀甲墓。 	<p>⑨墓地内の墓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理の行き届いた墓地。年に一度清明の際に墓参りが可能。 
<p>⑩無許可墓群（志真志小学校付近）</p> 		

第3章 市民の墓地取得意向調査（アンケート結果）

1. 調査の実施方法、回収率

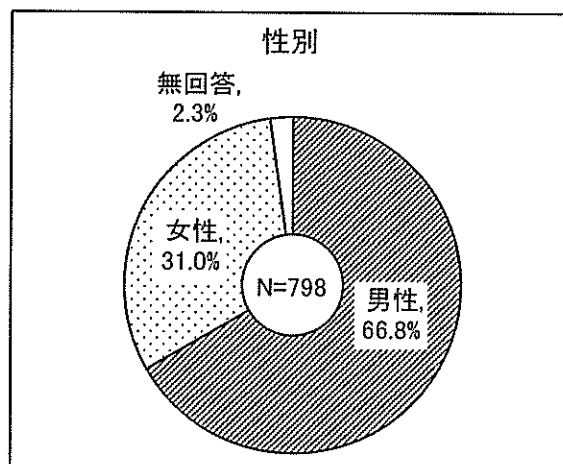
調査対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・調査対象 満30歳以上の世帯主 ・対象者数 3,000人 ・抽出方法 無作為抽出
調査方法	調査票をアンケート対象者に送付し、郵送で送り返してもらう郵便調査法で実施した
調査時期	平成21年8月
回収率	27% (3,000件発送、798件回収、あて先不明45件)

2. アンケート調査集計結果

(1) 属性

1) あなたの性別は？

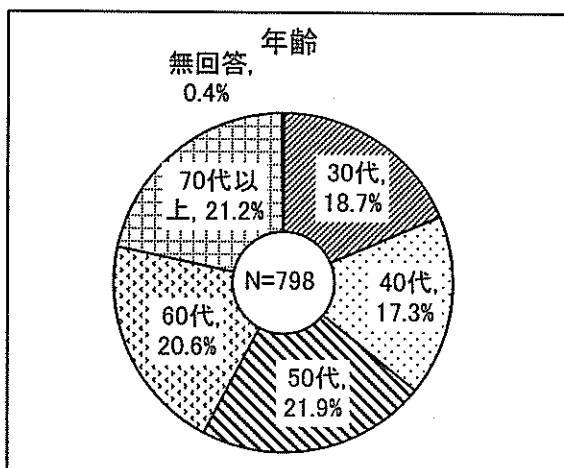
アンケート回答者798人のうち男性は533人（66.8%）、女性は247人（31.0%）である。



	回答数	割合
1 男性	533	66.8%
2 女性	247	31.0%
3 無回答	18	2.3%
合計	798	100.0%

2) あなたの年齢は？

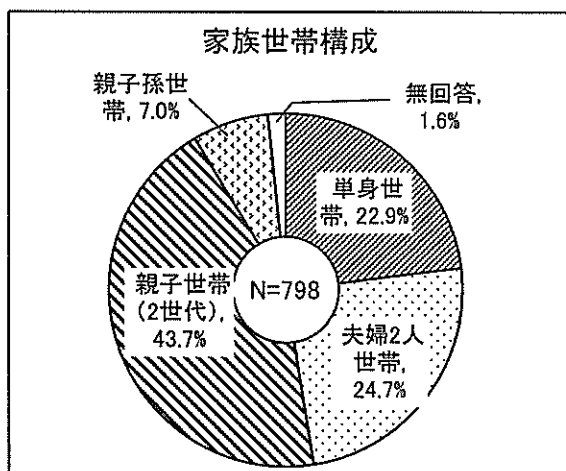
年齢別内訳を見ると、50代が21.9%で最も多く、次いで70代以上(21.2%)、60代(20.6%)、30代(18.7%)、40代(17.3%)の順である。各年代ともほぼ同割合で、世代の偏りが無い結果となった。



	回答数	割合
1 30代	149	18.7%
2 40代	138	17.3%
3 50代	175	21.9%
4 60代	164	20.6%
5 70代以上	169	21.2%
6 無回答	3	0.4%
合計	798	100.0%

3) あなたの家族世帯構成は？

家族世帯構成は、親子世帯(2世代)が43.7%で最も多く、次いで夫婦2人世帯(24.7%)、単身世帯(22.9%)、親子孫世帯/3世代(7.0%)の順である。

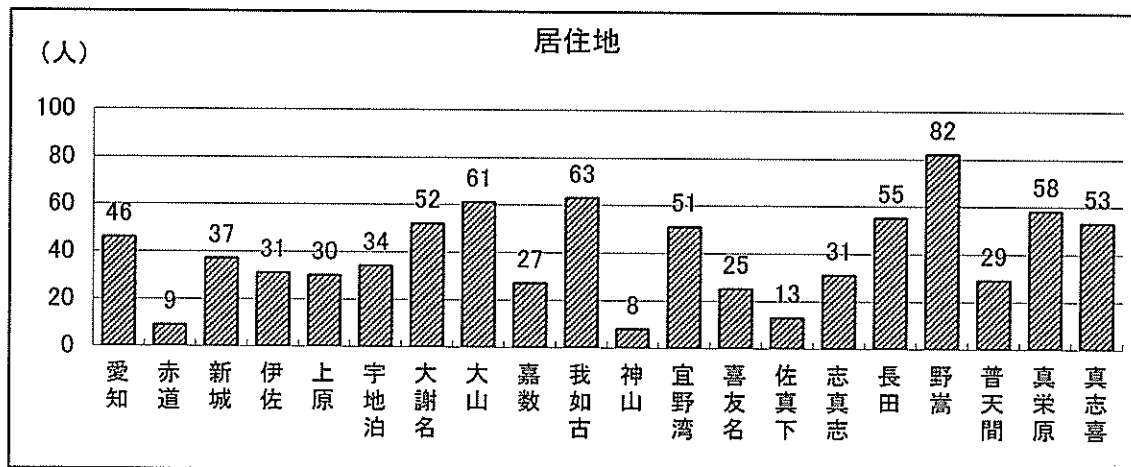


	回答数	割合
1 単身世帯	183	22.9%
2 夫婦2人世帯	197	24.7%
3 親子世帯(2世代)	349	43.7%
4 親子孫世帯(3世代)	56	7.0%
5 無回答	13	1.6%
合計	798	100.0%

4) あなたの居住地はどこですか？

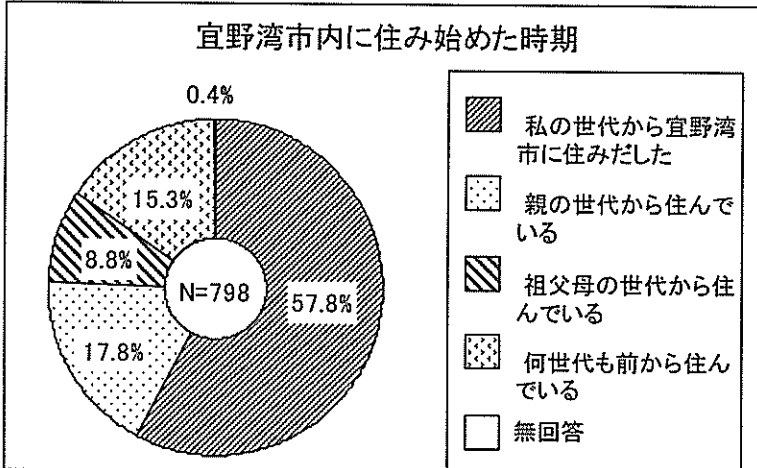
回答者の居住地は、野嵩が82人(10.3%)で最も多く、次いで我如古(63人)、大山(61人)、真栄原(58人)、長田(55人)の順である。

	回答数	割合		回答数	割合
1 愛知	46	5.8%	12 宜野湾	51	6.4%
2 赤道	9	1.1%	13 喜友名	25	3.1%
3 新城	37	4.6%	14 佐真下	13	1.6%
4 伊佐	31	3.9%	15 志真志	31	3.9%
5 上原	30	3.8%	16 長田	55	6.9%
6 宇地泊	34	4.3%	17 野嵩	82	10.3%
7 大謝名	52	6.5%	18 普天間	29	3.6%
8 大山	61	7.6%	19 真栄原	58	7.3%
9 嘉数	27	3.4%	20 真志喜	53	6.6%
10 我如古	63	7.9%	21 無回答	3	0.4%
11 神山	8	1.0%	合計	798	100.0%



5) あなたの家系はいつから宜野湾市に住み始めていますか？

家系について、「私の世代から宜野湾市に住みだした」が57.8%で最も多く、次いで「親の世代から住んでいる」(17.8%)、「何世代も前から住んでいる」(15.3%)、「祖父母の世代から住んでいる」(8.8%)の順である。

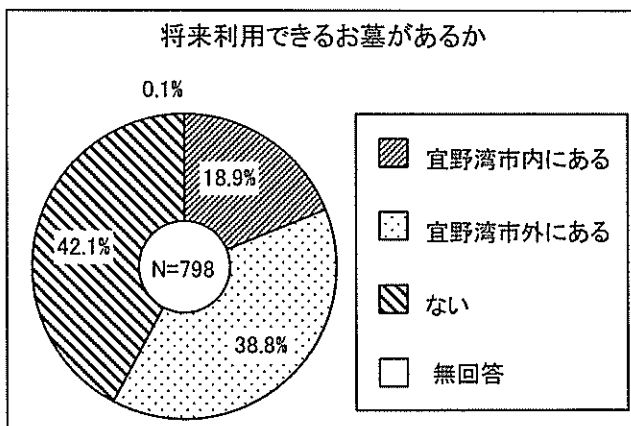


	回答数	割合
1 私の世代から宜野湾市に住みだした	461	57.8%
2 親の世代から住んでいる	142	17.8%
3 祖父母の世代から住んでいる	70	8.8%
4 何世代も前から住んでいる	122	15.3%
5 無回答	3	0.4%
合計	798	100.0%

(2) お墓の取得状況

問1 あなたは、将来利用できるお墓がありますか？1つ選んで○で囲んで下さい。

将来利用できるお墓について、「ない」と回答した人が42.1%で最も多く、次いで「宜野湾市外にある」(38.8%)、「宜野湾市内にある」(18.9%)の順である。

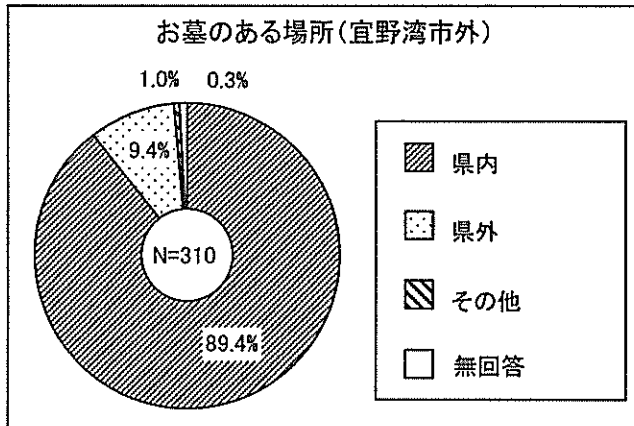


	回答数	割合
1 宜野湾市内にある	151	18.9%
2 宜野湾市外にある	310	38.8%
3 ない	336	42.1%
4 無回答	1	0.1%
合計	798	100.0%

問1-2 問1で「宜野湾市外にある」と回答された方。どこにありますか？

1つ選んで○で囲んで下さい。

将来利用できるお墓が「宜野湾市外にある」と回答した人のお墓の場所について、「県内」が89.4%で最も多く、県外は9.4%である。

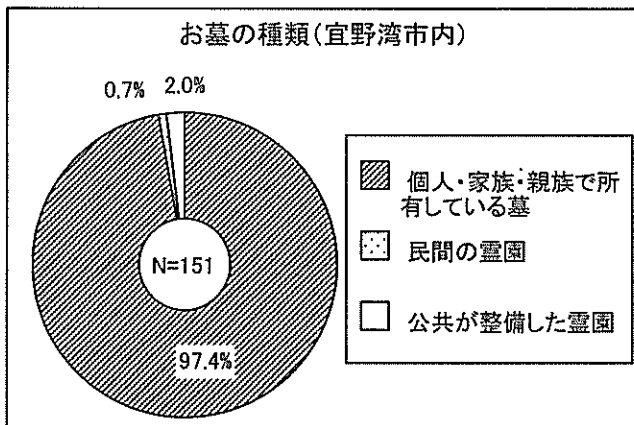


	回答数	割合
1 県内	277	89.4%
2 県外	29	9.4%
3 その他	1	0.3%
4 無回答	3	1.0%
合計	310	100.0%

問2 問1で「宜野湾市内にある」と回答された方。そのお墓は次のうちどれに該当しますか？

1つ選んで○で囲んで下さい。

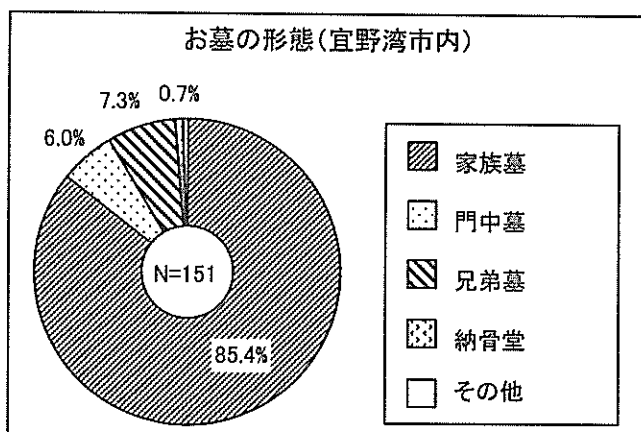
将来利用できる墓が「宜野湾市内にある」と回答した人のお墓の種類について、「個人・家族・親族で所有している墓」が97.4%で最も多く、「公共が整備した霊園」は2.0%、「民間の霊園」は0.7%である。



	回答数	割合
1 個人・家族・親族で所有している墓	147	97.4%
2 民間の霊園	1	0.7%
3 公共が整備した霊園	3	2.0%
合計	151	100.0%

問2-2 お墓が宜野湾市内にある方で、お墓は次のうちどのような形態ですか？
1つ選んで○で囲んで下さい。

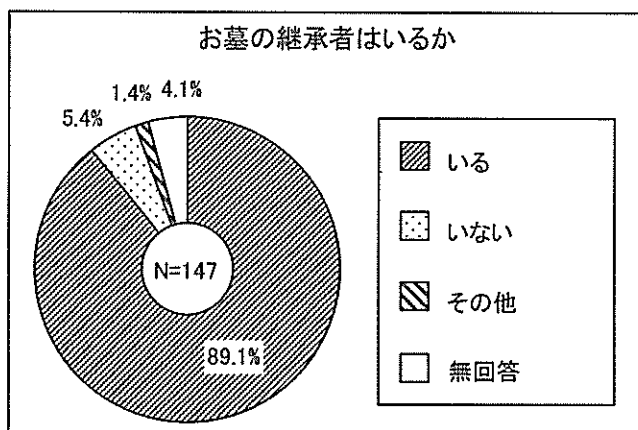
将来利用できるお墓が「宜野湾市内にある」と回答した人のお墓の形態について、「家族墓」が85.4%で最も多く、次いで「兄弟墓」(7.3%)、「門中墓」(6.0%)、「納骨堂」(0.7%)の順である。「摸合墓」及び「施設型共同墓」の回答は0である。



	回答数	割合
1 家族墓	129	85.4%
2 門中墓	9	6.0%
3 兄弟墓	11	7.3%
4 摸合墓	0	0.0%
5 施設型共同墓	0	0.0%
6 納骨堂	1	0.7%
7 その他	1	0.7%
合計	151	100.0%

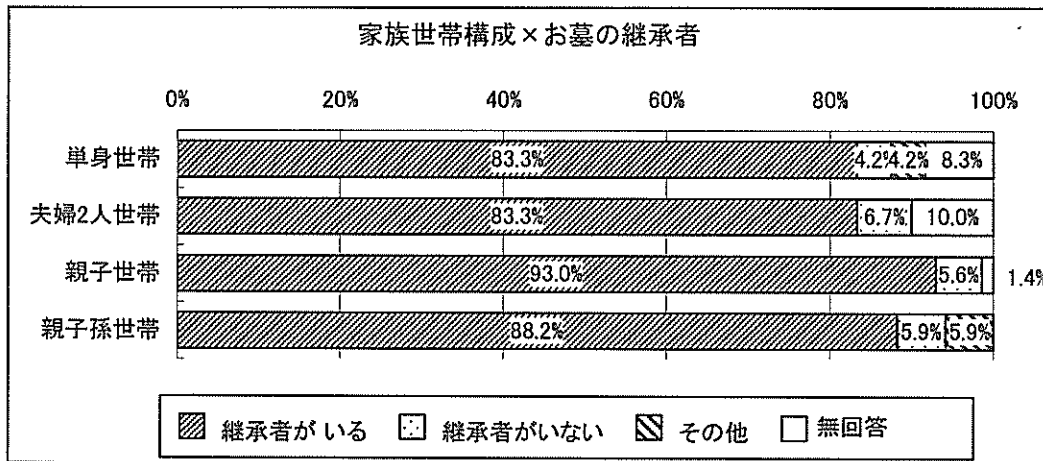
問2-3 問2で「個人・家族・親族で所有している墓」と回答された方で、お墓の継承者はいますか？1つ選んで○で囲んで下さい。

将来利用できるお墓が宜野湾市内にあり、お墓の種類が「個人・家族・親族で所有している墓」と回答した人のうち、お墓の継承者が「いる」と回答したのは89.1%、「いない」は5.4%である。



	回答数	割合
1 いる	131	89.1%
2 いない	8	5.4%
3 その他	2	1.4%
4 無回答	6	4.1%
合計	147	100.0%

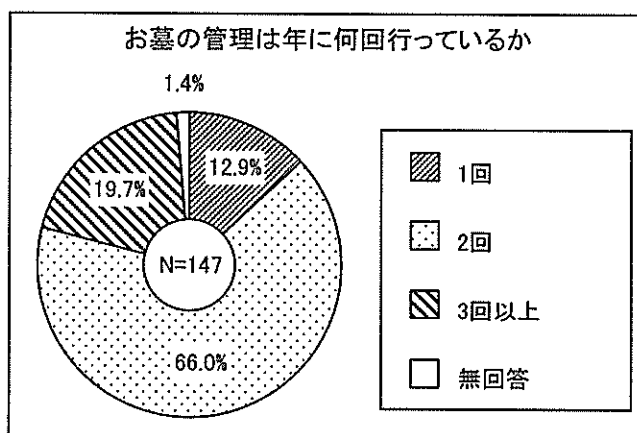
お墓の継承者の有無を家族世帯構成別で見ると、継承者がいる割合が最も多いのは「親子世帯」で93.0%、次いで「親子孫世帯」(88.2%)、「単身世帯」及び「夫婦2人世帯」(いずれも83.3%)の順である。



		単身世帯	夫婦2人世帯	親子世帯	親子孫世帯	無回答	合計
1	継承者がいる	20	25	66	15	5	131
		83.3%	83.3%	93.0%	88.2%	100.0%	89.1%
2	継承者がいない	1	2	4	1	0	8
		4.2%	6.7%	5.6%	5.9%	0.0%	5.4%
3	その他	1	0	0	1	0	2
		4.2%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	1.4%
4	無回答	2	3	1	0	0	6
		8.3%	10.0%	1.4%	0.0%	0.0%	4.1%
合計		24	30	71	17	5	147
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問2-4 問2で「個人・家族・親族で所有している墓」と回答された方で、管理（清掃等）は年に何回行っていますか？1つ選んで○で囲んで下さい。

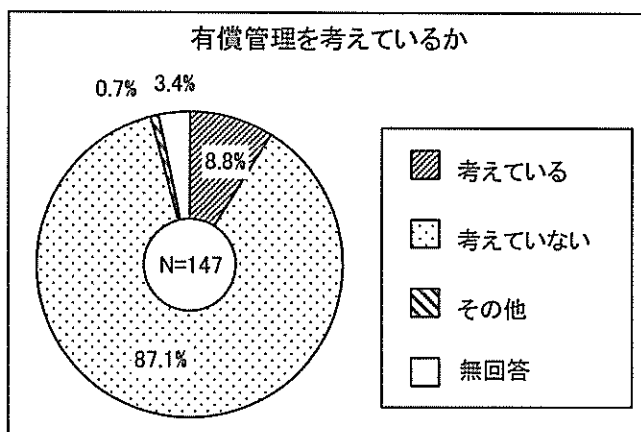
将来利用できる墓が宜野湾市内にあり、お墓の種類が「個人・家族・親族で所有している墓」と回答した人のうち、お墓の管理については「年に2回」が66.0%で最も多い。次いで「年に3回以上」(19.7%)、「年に1回」(12.9%)の順である。



	回答数	割合
1 1回	19	12.9%
2 2回	97	66.0%
3 3回以上	29	19.7%
4 2~3年に1回程度	0	0.0%
5 ほとんどない	0	0.0%
6 無回答	2	1.4%
合計	147	100.0%

問2-5 問2で「個人・家族・親族で所有している墓」と回答された方で、管理を有償で誰かにお願いしたいと考えていますか？1つ選んで○で囲んで下さい。

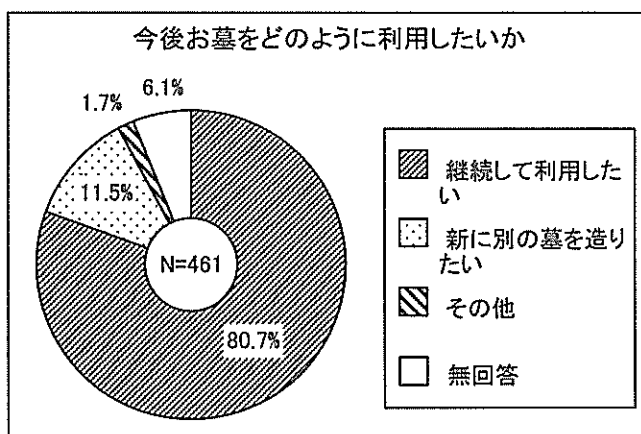
将来利用できるお墓が宜野湾市内にあり、お墓の種類が「個人・家族・親族で所有している墓」と回答した人のうち、有償管理については「考えていない」が87.1%、「考えている」が8.8%の割合である。



	回答数	割合
1 考えている	13	8.8%
2 考えていない	128	87.1%
3 その他	1	0.7%
4 無回答	5	3.4%
合計	147	100.0%

問2-6 お墓が宜野湾市内・市外にある方で、今のお墓を今後どのように利用したいとお考えですか？1つ選んで○で囲んで下さい。

将来利用できるお墓が宜野湾市内及び市外にある方で、「継続して利用したい」と回答した人は80.7%で最も多く、「新に別の墓を造りたい」は11.5%の割合である。



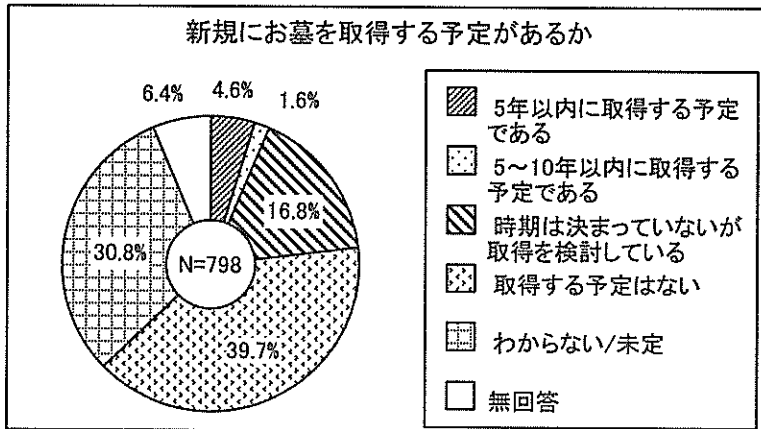
	回答数	割合
1 継続して利用したい	372	80.7%
2 新に別の墓を造りたい	53	11.5%
3 その他	8	1.7%
4 無回答	28	6.1%
合計	461	100.0%

(3) 今後のお墓の取得意向

問3 あなた、またはあなたの御親族は今後新規にお墓を取得する予定がありますか？

1つ選んで○で囲んで下さい。

お墓の取得意向について、「取得する予定はない」が39.7%で最も多く、次いで「わからない/未定」(30.8%)、「時期は決まっていないが取得を検討している」(16.8%)、「5年以内に取得する予定である」(4.6%)、「5～10年以内に取得する予定である」(1.6%)の順である。

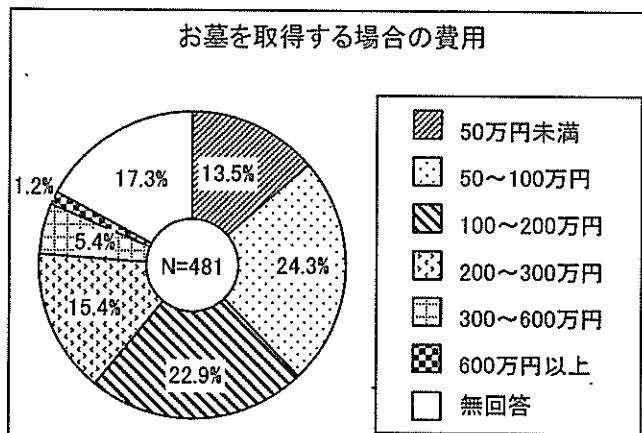


	回答数	割合
1 5年以内に取得する予定である	37	4.6%
2 5～10年以内に取得する予定である	13	1.6%
3 時期は決まっていないが取得を検討している	134	16.8%
4 取得する予定はない	317	39.7%
5 わからない/未定	246	30.8%
6 無回答	51	6.4%
合計	798	100.0%

問4 お墓を取得するとした場合、どの程度の費用が適当だと考えますか？

1つ選んで○で囲んで下さい。

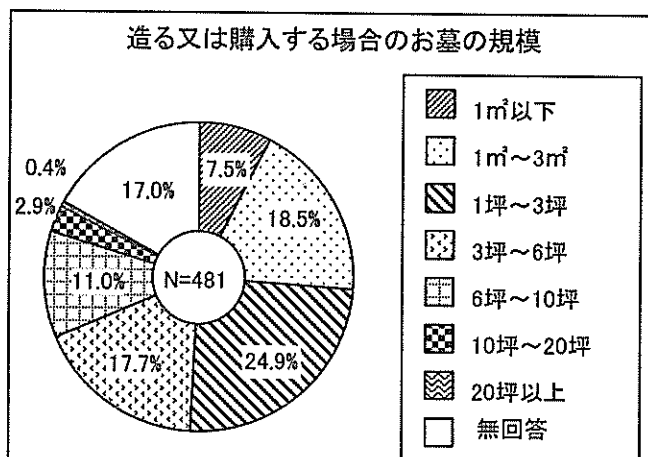
お墓を取得する場合の適当な費用について、「50～100万円」が24.3%で最も多く、次いで「100～200万円」(22.9%)、「200～300万円」(15.4%)、「50万円未満」(13.5%)、「300～600万円」(5.4%)、「600万円以上」(1.2%)の順である。



	回答数	割合
1 50万円未満	65	13.5%
2 50～100万円	117	24.3%
3 100～200万円	110	22.9%
4 200～300万円	74	15.4%
5 300～600万円	26	5.4%
6 600万円以上	6	1.2%
7 無回答	83	17.3%
合計	481	100.0%

問5 お墓を造る又は購入する場合、墓地はどの程度の規模がいいとお考えですか？
1つ選んで○で囲んで下さい。

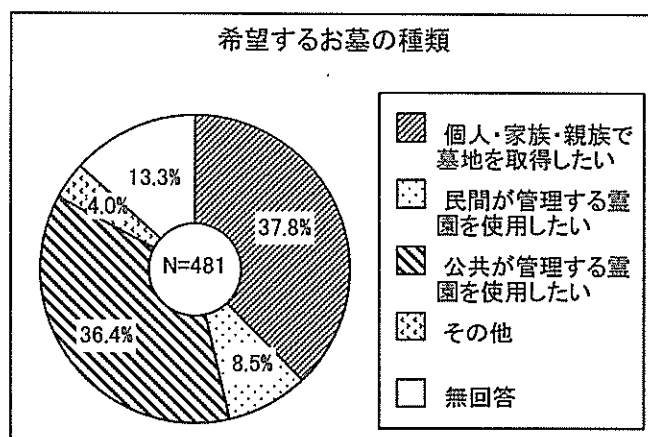
お墓を造る又は購入する場合の規模について、「1坪～3坪」が24.9%で最も多く、次いで「1㎡～3㎡」(18.5%)、「3坪～6坪」(17.7%)、「6坪～10坪」(11.0%)、「1㎡以下」(7.5%)、「10坪～20坪」(2.9%)、「20坪以上」(0.4%)の順である。



		回答数	割合
1	1㎡以下	36	7.5%
2	1㎡～3㎡	89	18.5%
3	1坪～3坪	120	24.9%
4	3坪～6坪	85	17.7%
5	6坪～10坪	53	11.0%
6	10坪～20坪	14	2.9%
7	20坪以上	2	0.4%
8	無回答	82	17.0%
合計		481	100.0%

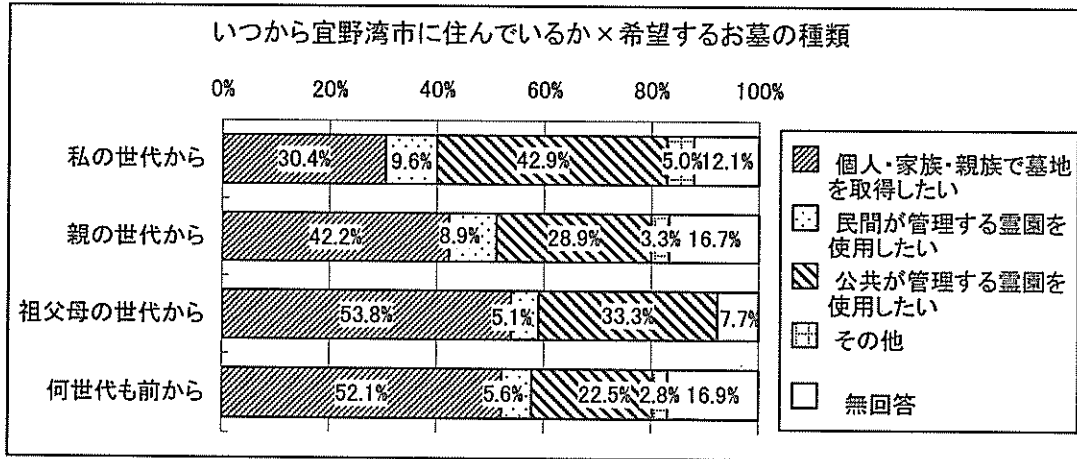
問6 次のうちどのようなお墓を希望されますか？1つ選んで○で囲んで下さい。

希望するお墓の種類について、「個人・家族・親族で墓地を取得したい」と回答した人が37.8%で最も多く、次いで「公共が管理する霊園を使用したい」(36.4%)、「民間が管理する霊園を使用したい」(8.5%)の順である。



		回答数	割合
1	個人・家族・親族で墓地を取得したい	182	37.8%
2	民間が管理する霊園を使用したい	41	8.5%
3	公共が管理する霊園を使用したい	175	36.4%
4	その他	19	4.0%
5	無回答	64	13.3%
合計		481	100.0%

希望するお墓の種類を宜野湾市に住み始めた時期別に見ると、親の世代以前から市内に住んでいる世帯では「個人・家族・親族で墓地を取得したい」と回答する人が多く、自身の世代から市内に住み始めた世帯は「公共が管理する霊園を使用したい」と回答する人が多い。

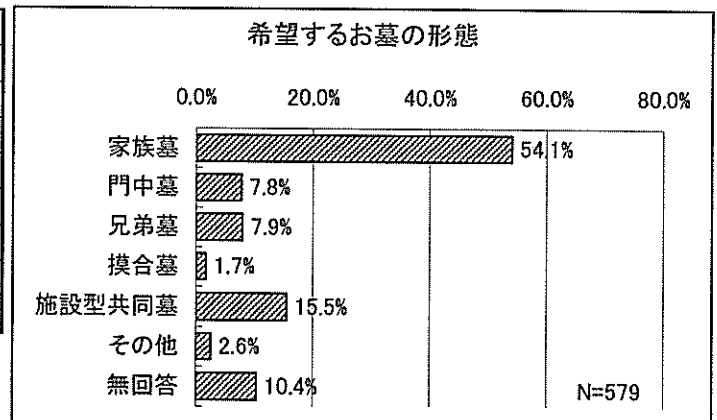


	私の世代から	親の世代から	祖父母の世代から	何世代も前から	無回答	合計
1 個人・家族・親族で墓地を取得したい	85	38	21	37	1	182
	30.4%	42.2%	53.8%	52.1%	100.0%	37.8%
2 民間が管理する霊園を使用したい	27	8	2	4	0	41
	9.6%	8.9%	5.1%	5.6%	0.0%	8.5%
3 公共が管理する霊園を使用したい	120	26	13	16	0	175
	42.9%	28.9%	33.3%	22.5%	0.0%	36.4%
4 その他	14	3	0	2	0	19
	5.0%	3.3%	0.0%	2.8%	0.0%	4.0%
5 無回答	34	15	3	12	0	64
	12.1%	16.7%	7.7%	16.9%	0.0%	13.3%
合計	280	90	39	71	1	481
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

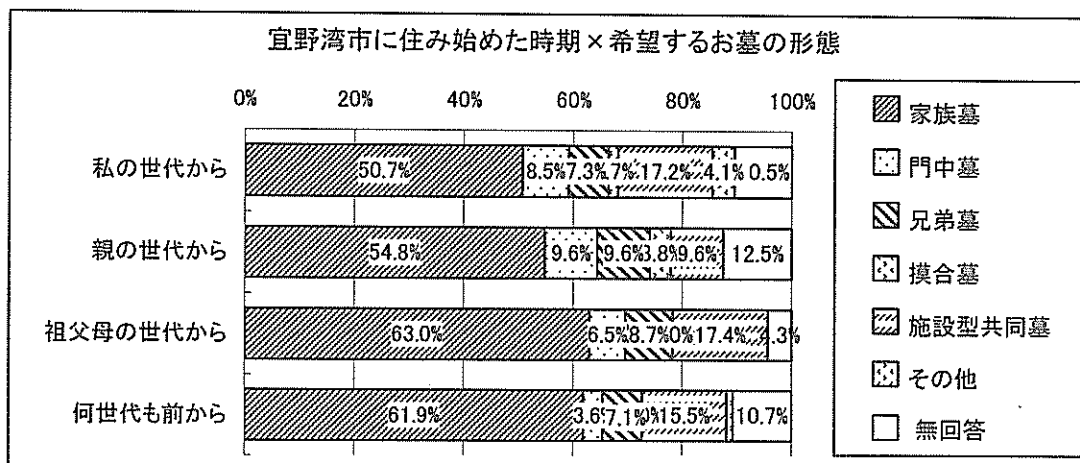
問6-2 お墓の形態はどのようなものを希望されますか？2つまで選んで○で囲んで下さい。

希望するお墓の形態について、「家族墓」が54.1%で最も多く、次いで「施設型共同墓」(15.5%)、「兄弟墓」(7.9%)、「門中墓」(7.8%)、「摸合墓」(1.7%)の順である。

	回答数	割合
1 家族墓	313	54.1%
2 門中墓	45	7.8%
3 兄弟墓	46	7.9%
4 摸合墓	10	1.7%
5 施設型共同墓	90	15.5%
6 その他	15	2.6%
7 無回答	60	10.4%
合計	579	100.0%

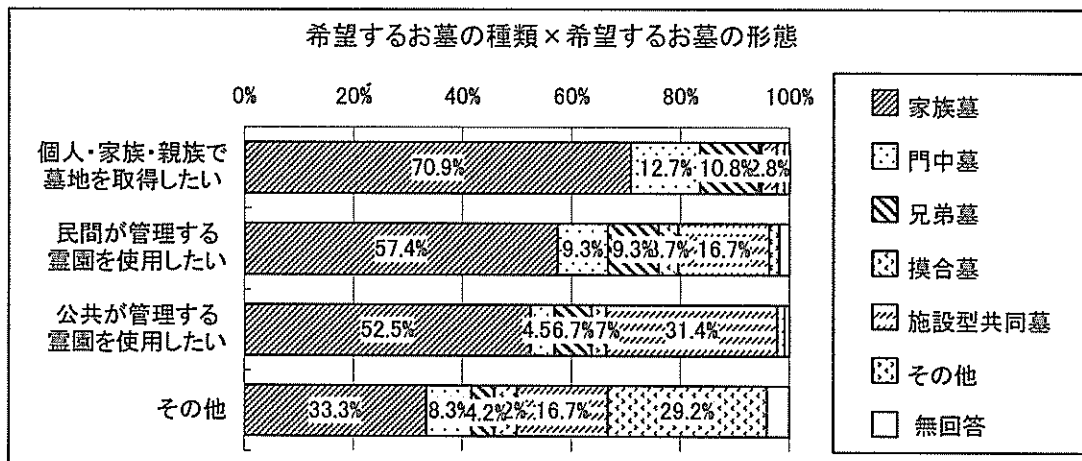


希望するお墓の形態を宜野湾市に住み始めた時期別に見ると、いずれの世代も半数以上は「家族墓」と回答している。「施設型共同墓」と回答したのは「私の世代から住んでいる」人で17.2%、「祖父母の世代から住んでいる」人で17.4%、「何世代も前から住んでいる」人で15.5%、「親の世代から住んでいる」人で9.6%の割合である。



	私の世代から	親の世代から	祖父母の世代から	何世代も前から	無回答	合計
1 家族墓	174	57	29	52	1	313
	50.7%	54.8%	63.0%	61.9%	50.0%	54.1%
2 門中墓	29	10	3	3	0	45
	8.5%	9.6%	6.5%	3.6%	0.0%	7.8%
3 兄弟墓	25	10	4	6	1	46
	7.3%	9.6%	8.7%	7.1%	50.0%	7.9%
4 摸合墓	6	4	0	0	0	10
	1.7%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%
5 施設型共同墓	59	10	8	13	0	90
	17.2%	9.6%	17.4%	15.5%	0.0%	15.5%
6 その他	14	0	0	1	0	15
	4.1%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	2.6%
7 無回答	36	13	2	9	0	60
	10.5%	12.5%	4.3%	10.7%	0.0%	10.4%
合計	343	104	46	84	2	579
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

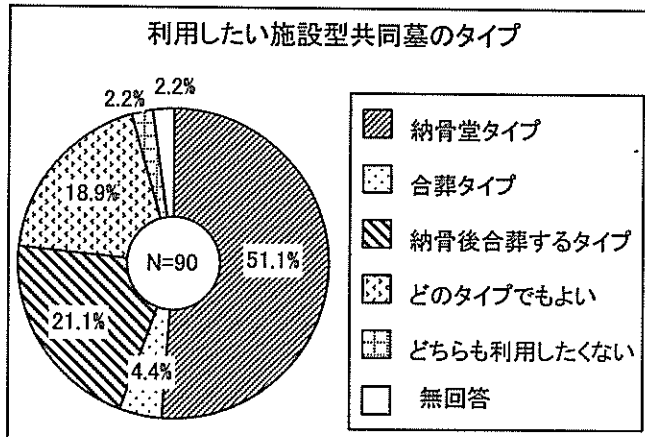
希望するお墓の形態をお墓の種類別に見ると、「個人・家族・親族で墓地を取得したい」人の約7割は「家族墓」を、「民間が管理する霊園を使用したい」人の約15%及び「公共が管理する霊園を使用したい」人の約3割は「施設型共同墓」を希望している。



		個人・家族・親族で墓地を取得したい	民間が管理する霊園を使用したい	公共が管理する霊園を使用したい	その他	無回答	合計
1	家族墓	151	31	117	8	6	313
		70.9%	57.4%	52.5%	33.3%	9.2%	54.1%
2	門中墓	27	5	10	2	1	45
		12.7%	9.3%	4.5%	8.3%	1.5%	7.8%
3	兄弟墓	23	5	15	1	2	46
		10.8%	9.3%	6.7%	4.2%	3.1%	7.9%
4	摸合墓	1	2	6	1	0	10
		0.5%	3.7%	2.7%	4.2%	0.0%	1.7%
5	施設型共同墓	6	9	70	4	1	90
		2.8%	16.7%	31.4%	16.7%	1.5%	15.5%
6	その他	3	1	3	7	1	15
		1.4%	1.9%	1.3%	29.2%	1.5%	2.6%
7	無回答	2	1	2	1	54	60
		0.9%	1.9%	0.9%	4.2%	83.1%	10.4%
合計		213	54	223	24	65	579
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問6-3 問6-2で「施設型共同墓」と答えた方で、以下のどのタイプを利用したいですか？
1つ選んで○で囲んで下さい。

希望するお墓の形態を「施設型共同墓」と回答した方で、利用したいのは「納骨堂タイプ」が51.1%で最も多く、次いで「納骨後合葬するタイプ」(21.1%)、「どのタイプでもよい」(18.9%)、「合葬タイプ」(4.4%)、「どちらも利用したくない」(2.2%)の順である。



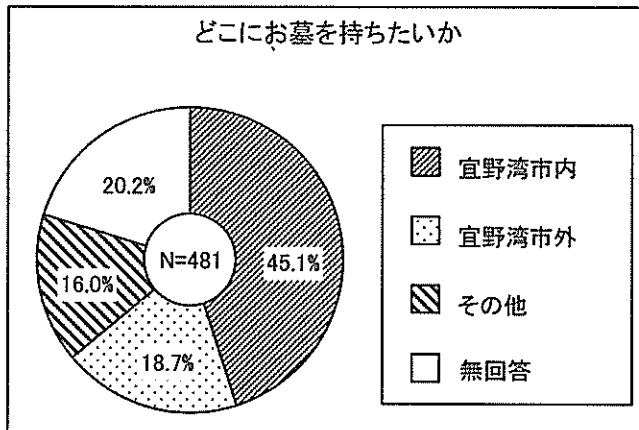
		回答数	割合
1	納骨堂タイプ	46	51.1%
2	合葬タイプ	4	4.4%
3	納骨後合葬するタイプ	19	21.1%
4	どのタイプでもよい	17	18.9%
5	どちらも利用したくない	2	2.2%
6	無回答	2	2.2%
合計		90	100.0%

施設型共同墓とは、大きな墳墓（納骨堂などを含む）に複数の遺骨を納め行政や民間などが運営するもので、次のようなタイプがあります。

- 納骨堂タイプ：お骨は個々の骨壺に入れ、1つの墳墓にまとめるもの。
- 合葬タイプ：骨壺からお骨を出し複数の遺骨を一ヶ所に納めるもの
- 納骨後合葬するタイプ：ある一定期間（10～50年）納骨堂で永代供養を行った後に合葬する。

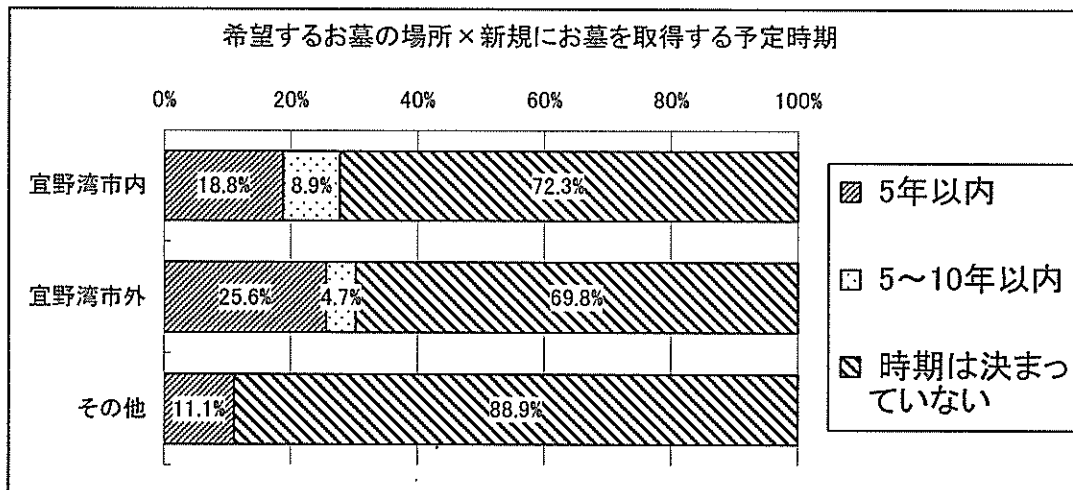
問6-4 お墓はどこに持ちたいですか？1つ選んで○で囲んで下さい。

希望するお墓の場所について「宜野湾市内」が45.1%、「宜野湾市外」が18.7%の割合である。



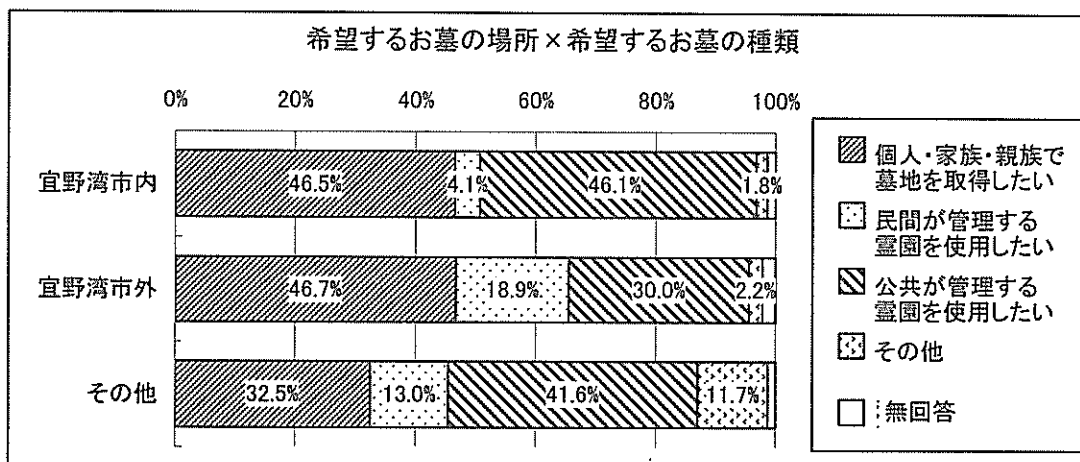
		回答数	割合
1	宜野湾市内	217	45.1%
2	宜野湾市外	90	18.7%
3	その他	77	16.0%
4	無回答	97	20.2%
合計		481	100.0%

お墓を取得する予定時期についてお墓を希望する場所別に見ると、「5年以内」と回答したのは、「宜野湾市内」で18.8%、「宜野湾市外」で25.6%である。「5～10年以内」と回答したのは「宜野湾市内」で8.9%、「宜野湾市外」で4.7%である。「宜野湾市内」の約25%、「宜野湾市外」の約3割は10年以内にお墓の取得を予定している。



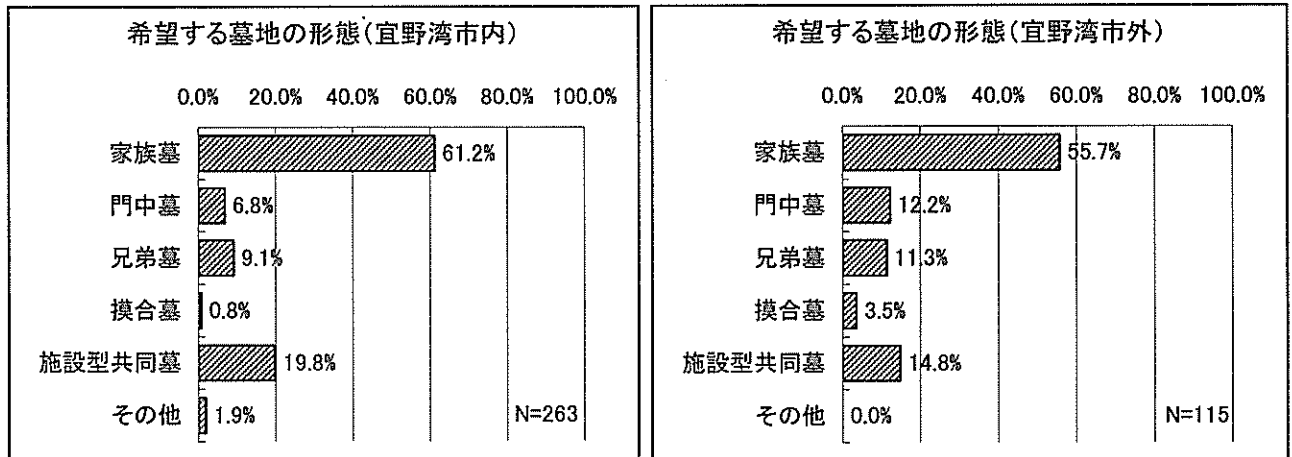
		宜野湾市内	宜野湾市外	その他	無回答	合計
1	5年以内を取得する予定	21	11	2	3	37
		18.8%	25.6%	11.1%	27.3%	20.1%
2	5～10年以内を取得する予定	10	2	0	1	13
		8.9%	4.7%	0.0%	9.1%	7.1%
3	時期は決まっていないが取得を検討	81	30	16	7	134
		72.3%	69.8%	88.9%	63.6%	72.8%
合計		112	43	18	11	184
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

希望するお墓の種類についてお墓を希望する場所別に見ると、「宜野湾市内」の46.1%、「宜野湾市外」の3割が「公共が管理する霊園を使用したい」と回答している。



		宜野湾市内	宜野湾市外	その他	無回答	合計
1	個人・家族・親族で墓地を取得したい	101	42	25	14	182
		46.5%	46.7%	32.5%	14.4%	37.8%
2	民間が管理する霊園を使用したい	9	17	10	5	41
		4.1%	18.9%	13.0%	5.2%	8.5%
3	公共が管理する霊園を使用したい	100	27	32	16	175
		46.1%	30.0%	41.6%	16.5%	36.4%
4	その他	4	2	9	4	19
		1.8%	2.2%	11.7%	4.1%	4.0%
5	無回答	3	2	1	58	64
		1.4%	2.2%	1.3%	59.8%	13.3%
合計		217	90	77	97	481
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

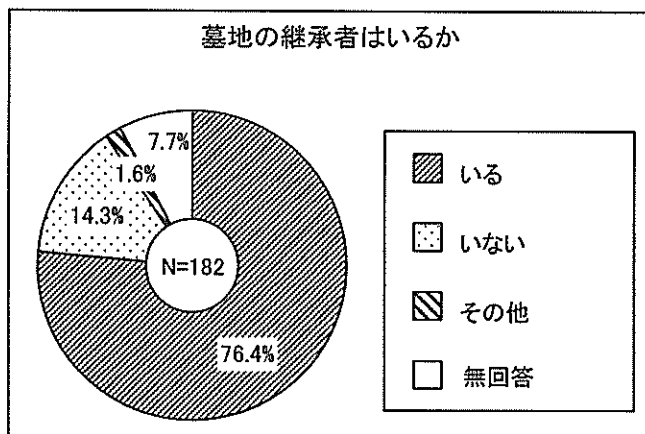
希望する墓地の形態を場所別に見ると、宜野湾市内で墓地を求めたい人は「家族墓」が61.2%で最も多く、次いで「施設型共同墓」(19.8%)、「兄弟墓」(9.1%)、「門中墓」(6.8%)、「摸合墓」(0.8%)の順である。宜野湾市外で墓地を求めたい人は「家族墓」が55.7%で最も多く、次いで「施設型共同墓」(14.8%)、「門中墓」(12.2%)、「兄弟墓」(11.3%)、「摸合墓」(3.5%)の順である。



		宜野湾 市内	宜野湾 市外	その他	無回答	合計
1	家族墓	161	64	52	36	313
		61.2%	55.7%	53.6%	34.6%	54.1%
2	門中墓	18	14	11	2	45
		6.8%	12.2%	11.3%	1.9%	7.8%
3	兄弟墓	24	13	4	5	46
		9.1%	11.3%	4.1%	4.8%	7.9%
4	摸合墓	2	4	3	1	10
		0.8%	3.5%	3.1%	1.0%	1.7%
5	施設型共同墓	52	17	19	2	90
		19.8%	14.8%	19.6%	1.9%	15.5%
6	その他	5	0	6	4	15
		1.9%	0.0%	6.2%	3.8%	2.6%
7	無回答	1	3	2	54	60
		0.4%	2.6%	2.1%	51.9%	10.4%
合計		263	115	97	104	579
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

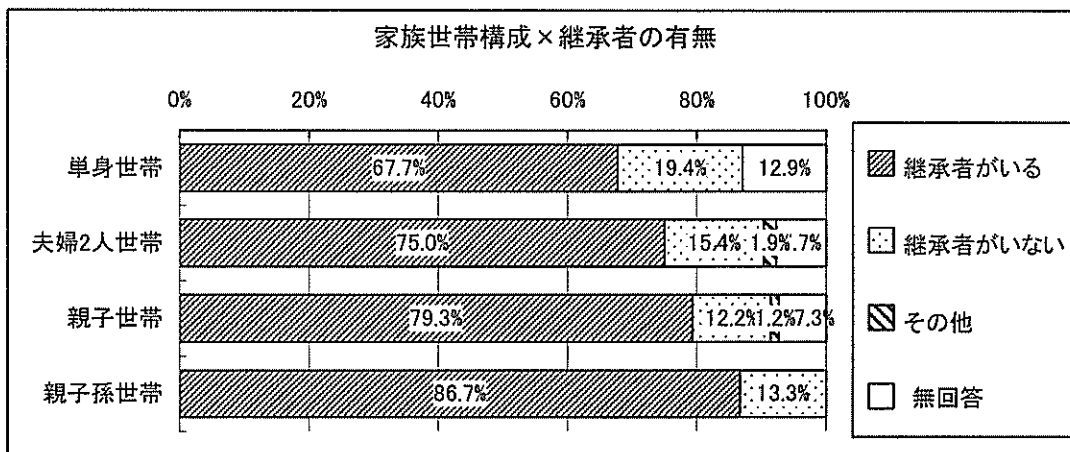
問6-5 問6で「個人・家族・親族で墓地を取得したい」と回答された方で墓地の継承者はいますか？1つ選んで○で囲んで下さい。

新規に「個人・家族・親族で墓地を取得したい」と回答した人のうち、継承者が「いる」と回答したのは76.4%、「いない」は14.3%である。



		回答数	割合
1	いる	139	76.4%
2	いない	26	14.3%
3	その他	3	1.6%
4	無回答	14	7.7%
合計		182	100.0%

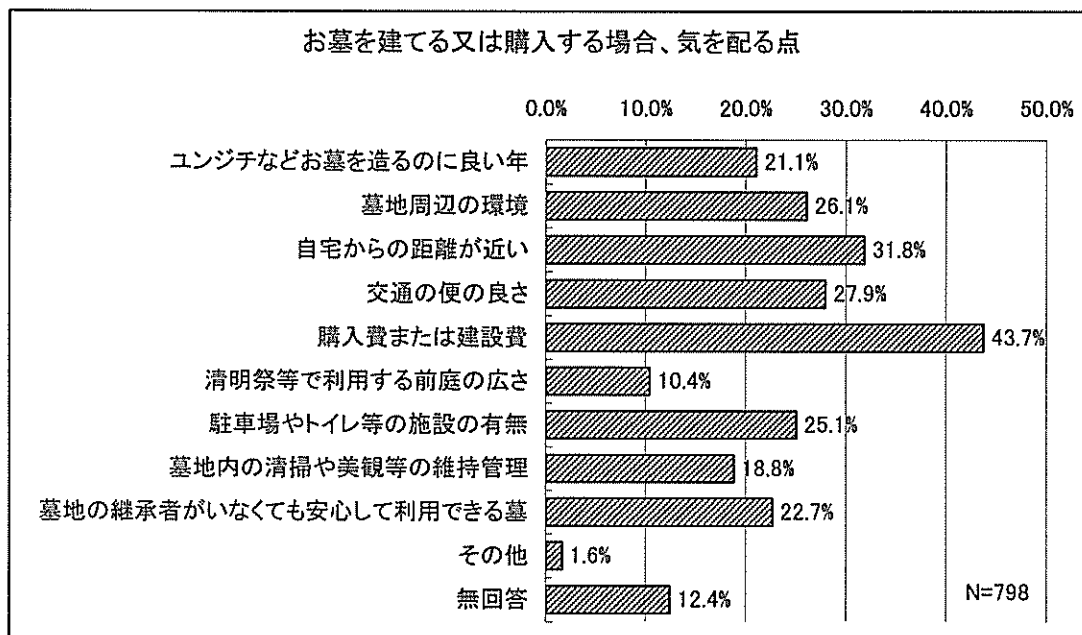
継承者の有無を家族世帯構成別に見ると、「継承者がいる」と回答した世帯は、多い順に「親子孫世帯」(86.7%)、「親子世帯」(79.3%)、「夫婦2人世帯」(75.0%)、「単身世帯」(67.7%)である。



		単身世帯	夫婦2人世帯	親子世帯	親子孫世帯	無回答	合計
1	継承者がいる	21	39	65	13	1	139
		67.7%	75.0%	79.3%	86.7%	50.0%	76.4%
2	継承者がいない	6	8	10	2	0	26
		19.4%	15.4%	12.2%	13.3%	0.0%	14.3%
3	その他	0	1	1	0	1	3
		0.0%	1.9%	1.2%	0.0%	50.0%	1.6%
4	無回答	4	4	6	0	0	14
		12.9%	7.7%	7.3%	0.0%	0.0%	7.7%
合計		31	52	82	15	2	182
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問7 お墓を建てる又は購入する場合、次のどの様な点に気を配られますか？
最も重視するものを3つまで○で囲んで下さい。

お墓を建てる又は購入する場合、最も重視する点について「購入費または建設費」が43.7%で最も多く、次いで「自宅からの距離が近い」(31.8%)、「交通の便の良さ」(27.9%)、「墓地周辺の環境」(26.1%)、「駐車場やトイレ等の施設の有無」(25.1%)、「墓地の継承者がいなくても安心して利用できる墓」(22.7%)、「ユンジチなどお墓を造るのに良い年」(21.1%)、「墓地内の清掃や美観等の維持管理」(8.8%)、「清明祭等で利用する前庭の広さ」(10.4%)の順である。

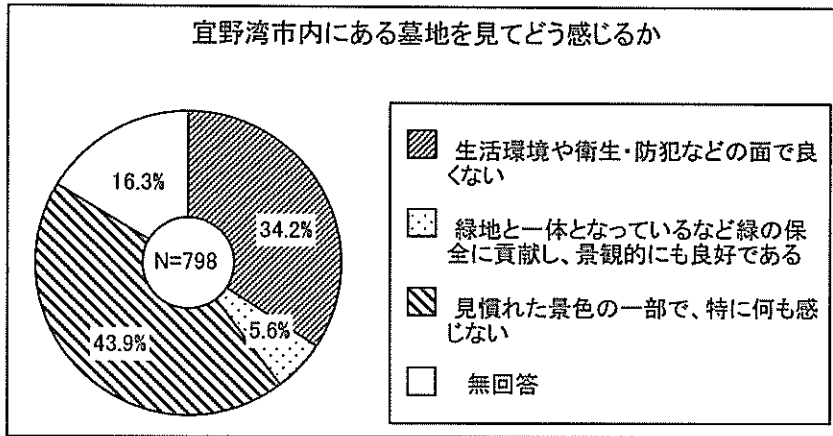


	回答数	割合
1 ユンジチなどお墓を造るのに良い年	168	21.1%
2 墓地周辺の環境	208	26.1%
3 自宅からの距離が近い	254	31.8%
4 交通の便の良さ	223	27.9%
5 購入費または建設費	349	43.7%
6 清明祭等で利用する前庭の広さ	83	10.4%
7 駐車場やトイレ等の施設の有無	200	25.1%
8 墓地内の清掃や美観等の維持管理	150	18.8%
9 墓地の継承者がいなくても安心して利用できる墓	181	22.7%
10 その他	13	1.6%
11 無回答	99	12.4%
合計	1,928	241.6%
回答者数	798	100.0%

(4) 宜野湾市内の墓地の状況

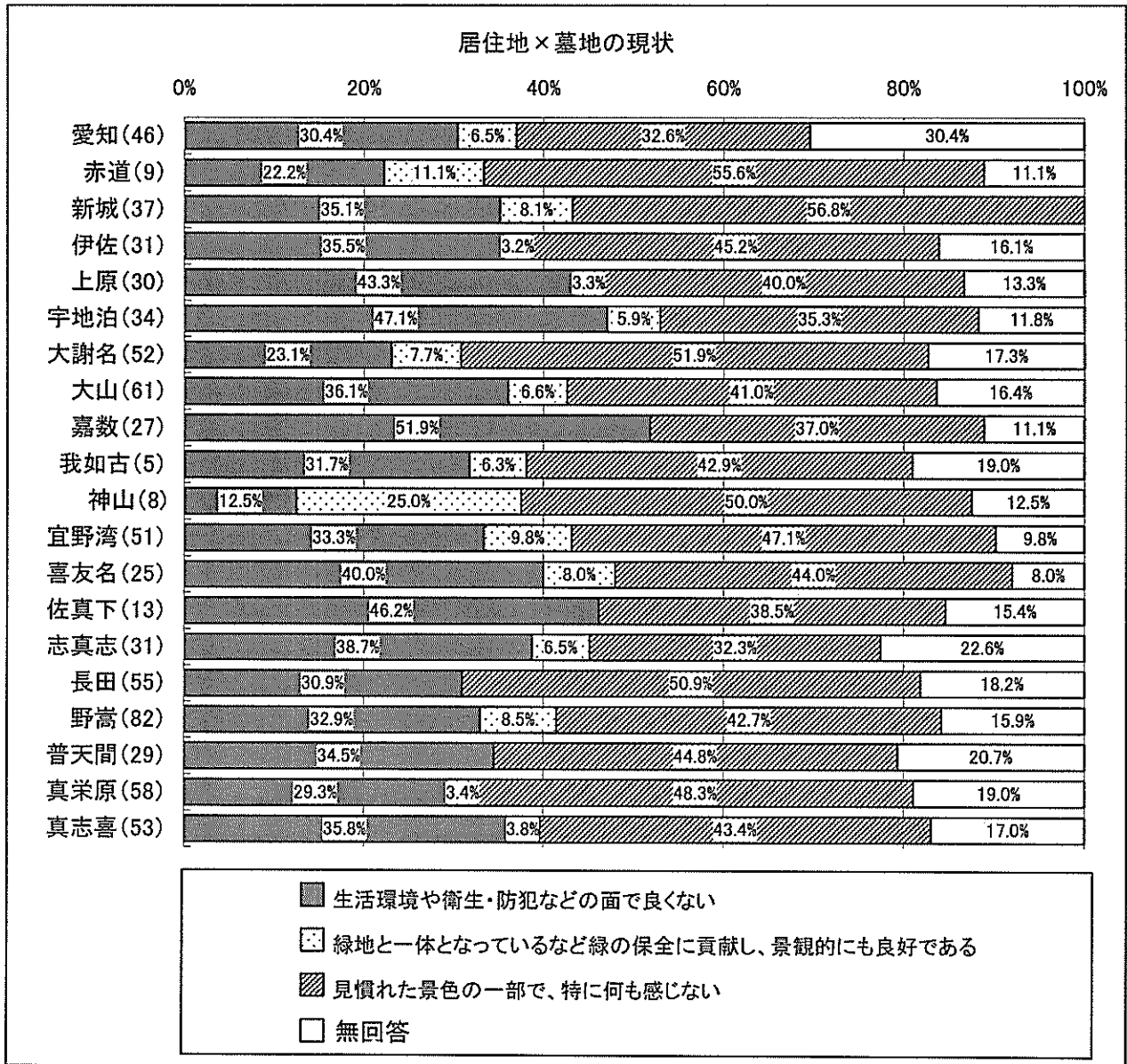
問8 宜野湾市内にある墓地を見て、どのように感じますか？1つ選んで○で囲んで下さい。

宜野湾市内にある墓地について、「見慣れた景色の一部で、特に何も感じない」が43.9%で最も多く、次いで「生活環境や衛生・防犯などの面で良くない」(34.2%)、「緑地と一体となっているなど緑の保全に貢献し、景観的にも良好である」(5.6%)の順である。



		回答数	割合
1	生活環境や衛生・防犯などの面で良くない	273	34.2%
2	緑地と一体となっているなど緑の保全に貢献し、景観的にも良好である	45	5.6%
3	見慣れた景色の一部で、特に何も感じない	350	43.9%
4	無回答	130	16.3%
合計		798	100.0%

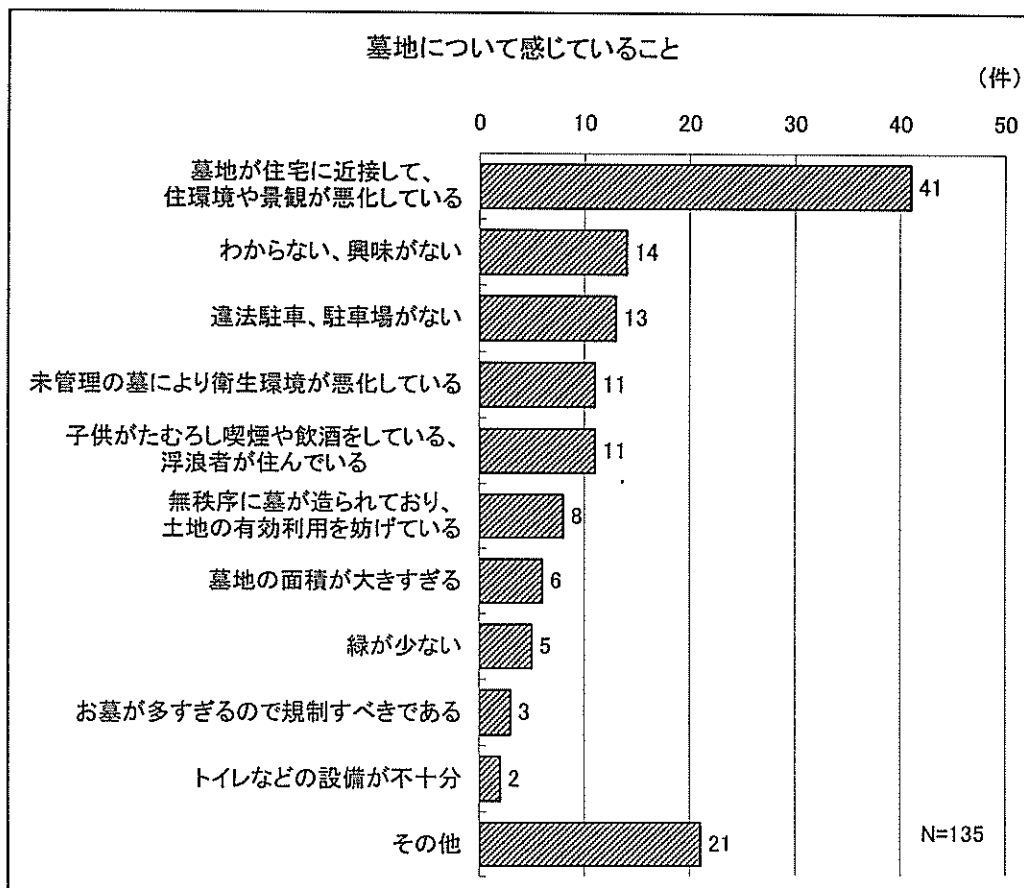
墓地の現状について居住地別で見ると、「生活環境や衛生・防犯などの面で良くない」と回答した人の割合が多いのは、嘉数（51.9%）、宇地泊（47.1%）、佐真下（46.2%）、上原（43.3%）、喜友名（40.0%）である。



※（ ）の数字は各字の回答者数を示す。

〈「墓地について感じていること」、自由記述のまとめ〉

墓地について感じていることで最も意見が多いのは「墓地が住宅に近接して、住環境や景観が悪化している」で41件である。次いで「わからない、興味がない」(14件)、「違法駐車、駐車場がない」(13件)「未管理の墓により衛生環境が悪化している」(11件)、「子どもがたむろし喫煙や飲酒をしている、浮浪者が住んでいる」(11件)、「無秩序に墓が造られており、土地の有効利用を妨げている」(8件)などの意見があった。



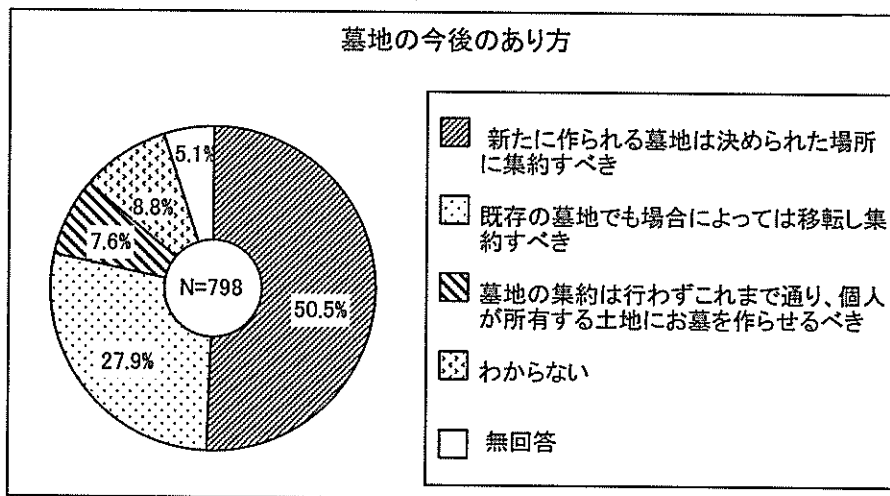
順位	意見内容	件数	割合
1	墓地が住宅に近接して、住環境や景観が悪化している	41	30.4%
2	わからない、興味がない	14	10.4%
3	違法駐車、駐車場がない	13	9.6%
4	未管理の墓により衛生環境が悪化している	11	8.1%
5	子どもがたむろし喫煙や飲酒をしている、浮浪者が住んでいる	11	8.1%
6	無秩序に墓が造られており、土地の有効利用を妨げている	8	5.9%
7	墓地の面積が大きすぎる	6	4.4%
8	緑が少ない	5	3.7%
9	お墓が多すぎるので規制すべきである	3	2.2%
10	トイレなどの設備が不十分	2	1.5%
11	その他	21	15.6%
合計		135	100.0%

(5) 今後の宜野湾市内の墓地のあり方

問9 今後の墓地のあり方について、次のどのような方法が良いと考えますか？

1つ選んで○で囲んで下さい。

今後の墓地のあり方について、「新たに作られる墓地は決められた場所に集約すべき」が50.5%で最も多く、次いで「既存の墓地でも場合によっては移転し集約すべき」(27.9%)、「わからない」(8.8%)、「墓地の集約は行わずこれまで通り、個人が所有する土地にお墓をつくらせるべき」(7.6%)の順である。

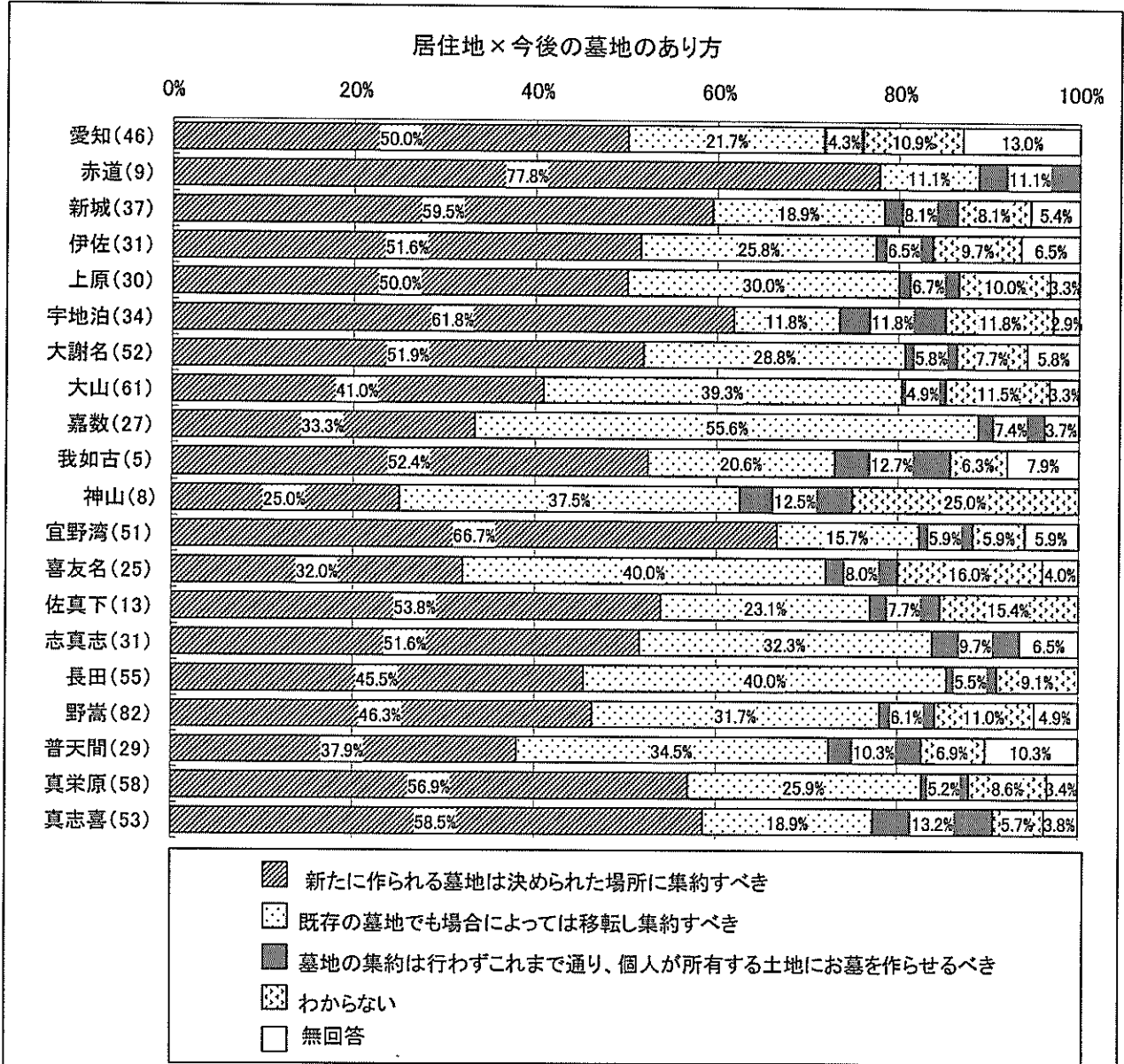


	回答数	割合
1 新たに作られる墓地は決められた場所に集約すべき	403	50.5%
2 既存の墓地でも場合によっては移転し集約すべき	223	27.9%
3 墓地の集約は行わずこれまで通り、個人が所有する土地にお墓をつくらせるべき	61	7.6%
4 わからない	70	8.8%
5 無回答	41	5.1%
合計	798	100.0%

【宜野湾市の墓地の実態の課題】

- 1 沖縄県は、これまで個人が所有するお墓（家族墓、門中墓、兄弟墓など）を例外的に認めてきました。このため、至るところにお墓が造られお墓と住宅が混在する市街地が形成されています。また、近年は家族墓の増加から墓地が急増し、都市部においては墓地用地が不足しています。
- 2 核家族化や世帯構成員（1世帯2～3人）の減少から、家族墓を中心に墓地の継承者がいなくなることが予想され、これらの墓地は管理されず周辺の環境を悪化させる要因となる恐れがあります。
- 3 墓地を造るときは知事の許可が必要ですが、無許可で造られる墓地も多く、これらの墓地の周りに新たな墓地が作られるなど、無秩序な墓地の立地を誘発し周辺の環境を悪化させています。

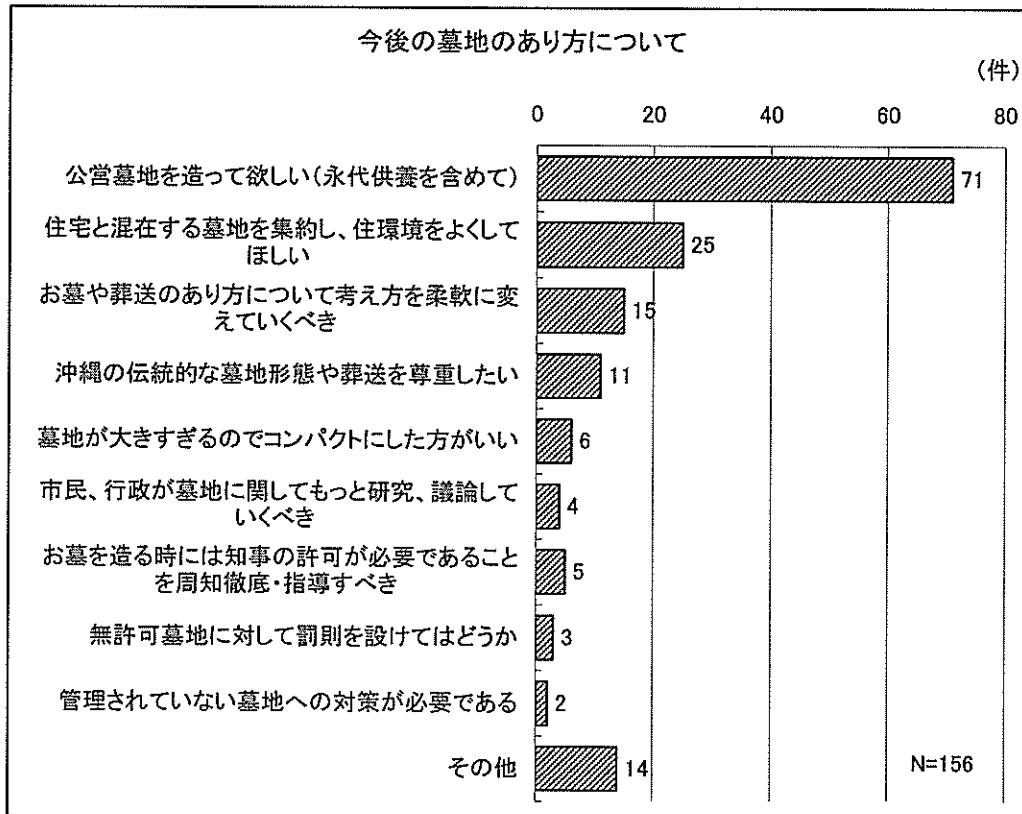
今後の墓地のあり方について居住地別で見ると、「新たに作られる墓地は決められた場所に集約すべき」と回答した人の割合が多いのは、赤道 (77.8%)、宜野湾 (66.7%)、宇地泊 (61.8%)、新城 (59.5%)、真志喜 (58.5%) である。「既存の墓地でも場合によっては移転し集約すべき」の割合が多いのは、嘉数 (55.6%)、長田および喜友名 (いずれも 40.0%)、大山 (39.3%)、神山 (37.5%) である。



※ () の数字は各字の回答者数を示す。

〈「今後の墓地のあり方について」、自由記述のまとめ〉

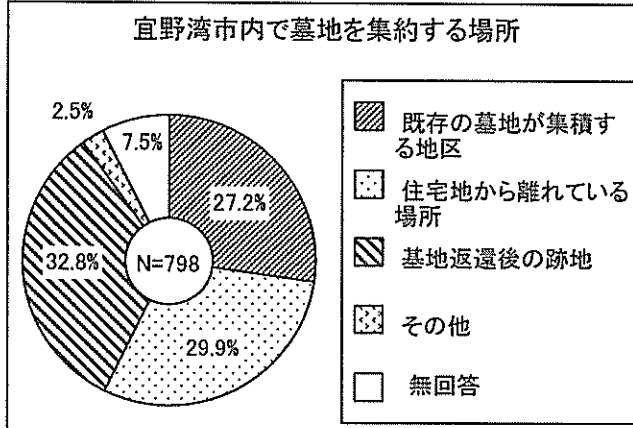
今後の墓地のあり方について、「公営墓地を造って欲しい」という意見が71件で最も多く、そのうち「明るく緑豊かで利用しやすい公園墓地」が19件、「利用しやすい墓地」が9件、「共同墓」が9件、「普天間基地返還後の跡地利用で墓地を整備してほしい」が5件である。そのほか、「住宅と混在する墓地を集約し、住環境をよくしてほしい」(25件)、「お墓や葬送のあり方について考え方を柔軟に変えていくべき」(15件)、「沖縄の伝統的な墓地形態や葬送を尊重したい」(11件)という意見もあった。



	件数	割合	
1	公営墓地を造って欲しい(永代供養を含めて)	71	45.5%
	明るく緑豊かで利用しやすい公園墓地	19	12.2%
	利用しやすい墓地(費用、面積、維持管理など)	9	5.8%
	共同墓を造って欲しい	9	5.8%
	普天間基地返還後の跡地利用で墓地を整備してほしい	5	3.2%
	その他	29	18.6%
2	住宅と混在する墓地を集約し、住環境をよくしてほしい	25	16.0%
3	お墓や葬送のあり方について考え方を柔軟に変えていくべき	15	9.6%
4	沖縄の伝統的な墓地形態や葬送を尊重したい	11	7.1%
5	墓地が大きすぎるのでコンパクトにした方がいい	6	3.8%
6	市民、行政が墓地に関してもっと研究、議論していくべき	4	2.6%
7	お墓を造る時には知事の許可が必要であることを周知徹底・指導すべき	5	3.2%
8	無許可墓地に対して罰則を設けてはどうか	3	1.9%
9	管理されていない墓地への対策が必要である	2	1.3%
10	その他	14	9.0%
合計		156	100.0%

問9-2 今後、宜野湾市内で墓地を集約する場所としてどのような場所がいいと思われますか？1つ選んで○で囲んで下さい。

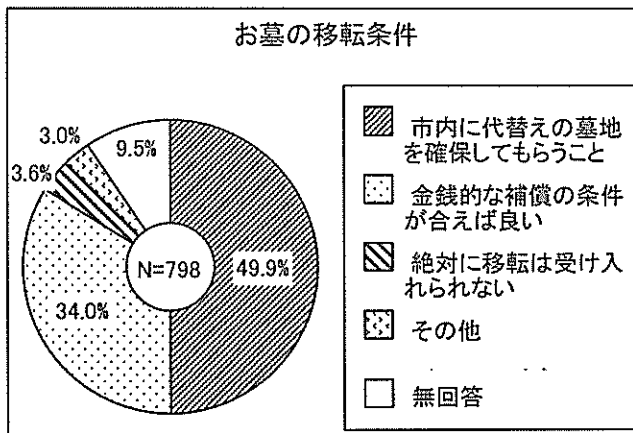
宜野湾市内で墓地を集約する場所について「基地返還後の跡地」が32.8%で最も多く、次いで「住宅地から離れている場所」(29.9%)、「既存の墓地が集積する地区」(27.2%)の順である。



	回答数	割合
1 既存の墓地が集積する地区	217	27.2%
2 住宅地から離れている場所	239	29.9%
3 基地返還後の跡地	262	32.8%
4 その他	20	2.5%
5 無回答	60	7.5%
合計	798	100.0%

問10 公共事業などにより、お墓の移転が必要となった場合どのような条件であれば移転をしても良いと思いますか？1つ選んで○で囲んで下さい。

お墓の移転条件について、「市内に代替えの墓地を確保してもらうこと」が49.9%で最も多く、次いで「金銭的な補償の条件が合えば良い」(34.0%)、「絶対に移転は受け入れられない」(3.6%)の順である。

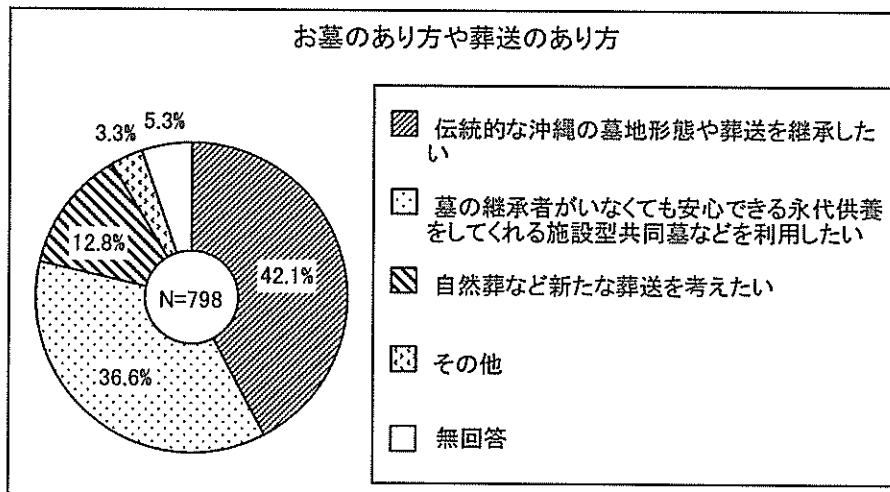


	回答数	割合
1 市内に代替えの墓地を確保してもらうこと	398	49.9%
2 金銭的な補償の条件が合えば良い	271	34.0%
3 絶対に移転は受け入れられない	29	3.6%
4 その他	24	3.0%
5 無回答	76	9.5%
合計	798	100.0%

問 11 お墓のあり方や葬送のあり方について、あなたはどのようにお考えですか？

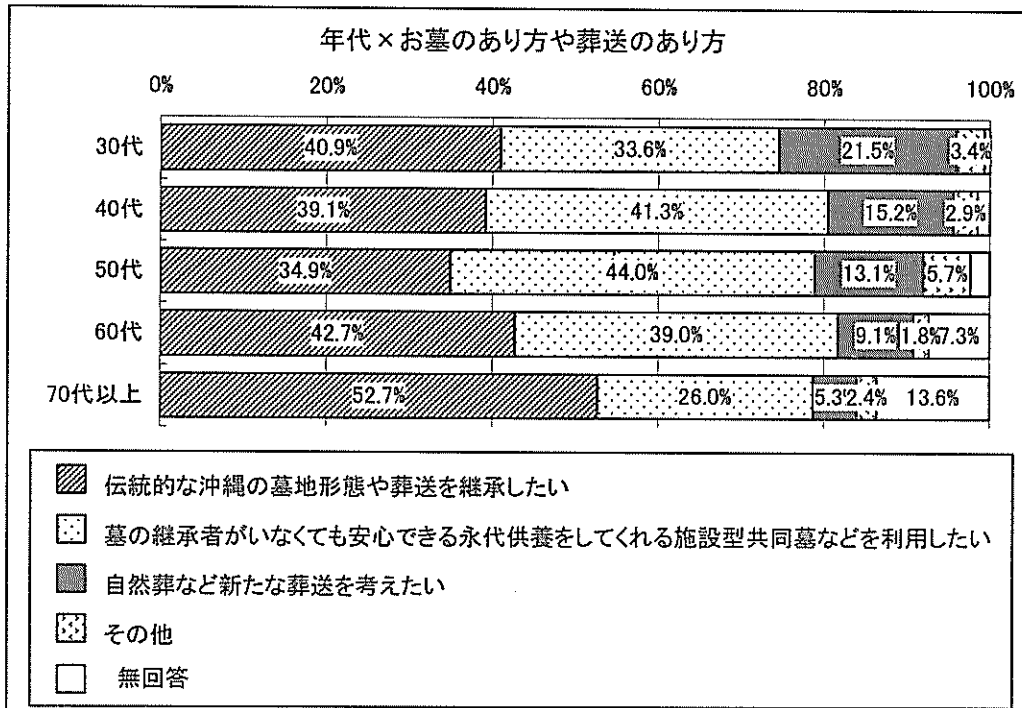
1つ選んで○で囲んで下さい。

お墓や葬送のあり方について、「伝統的な沖縄の墓地形態や葬送を継承したい」が42.1%で最も多く、次いで「墓の継承者がいなくても安心できる永代供養をしてくれる施設型共同墓などを利用したい」(36.6%)、「自然葬など新たな葬送を考えたい」(12.8%)の順である。



	回答数	割合
1 伝統的な沖縄の墓地形態や葬送を継承したい	336	42.1%
2 墓の継承者がいなくても安心できる永代供養をしてくれる施設型共同墓などを利用したい	292	36.6%
3 自然葬など新たな葬送を考えたい	102	12.8%
4 その他	26	3.3%
5 無回答	42	5.3%
合計	798	100.0%

お墓のあり方や葬送のあり方について、年代別に見ると30代、60代、70代は「伝統的な沖縄の墓地形態や葬送を継承したい」と回答した人が最も多く、40代および50代は「墓の継承者がいなくても安心できる永代供養をしてくれる施設型共同墓などを利用したい」と回答した人が多い。「自然葬など新たな葬送を考えたい」と回答した人は30代で約2割と若い世代ほど多い。



		30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	合計
1	伝統的な沖縄の墓地形態や葬送を継承したい	61	54	61	70	89	1	336
		40.9%	39.1%	34.9%	42.7%	52.7%	33.3%	42.1%
2	墓の継承者がいなくても安心できる永代供養をしてくれる施設型共同墓などを利用したい	50	57	77	64	44	0	292
		33.6%	41.3%	44.0%	39.0%	26.0%	0.0%	36.6%
3	自然葬など新たな葬送を考えたい	32	21	23	15	9	2	102
		21.5%	15.2%	13.1%	9.1%	5.3%	66.7%	12.8%
4	その他	5	4	10	3	4	0	26
		3.4%	2.9%	5.7%	1.8%	2.4%	0.0%	3.3%
5	無回答	1	2	4	12	23	0	42
		0.7%	1.4%	2.3%	7.3%	13.6%	0.0%	5.3%
合計		149	138	175	164	169	3	798
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

第4章 将来の墓地需要の推計

1. 墓地需要推計期間

本調査では、墓地需要推計期間を平成22年（2010年）から平成41年（2029年）までの20年間とする。

2. 墓地の需要予測

（1）墓地需要予測の基礎データ（アンケート調査より）

①宜野湾市内でお墓を必要としている世帯割合

宜野湾市内に新たにお墓を求めている世帯の割合は、回答者全体（798人）の27.2%となっている。そのうち、「公共が管理する霊園」を希望する割合は12.5%となっている。

表1-1 お墓を求めている方（墓地の管理形態×求める場所）

	宜野湾市内		宜野湾市外		その他		無回答		合計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
個人・家族・親族での墓地の取得	101	12.7%	42	5.3%	25	3.1%	14	1.8%	182	22.8%
公共が管理する霊園	100	12.5%	27	3.4%	32	4.0%	16	2.0%	175	21.9%
民間の霊園（お寺など含む）	9	1.1%	17	2.1%	10	1.3%	5	0.6%	41	5.1%
その他	4	0.5%	2	0.3%	9	1.1%	4	0.5%	19	2.4%
無回答	3	0.4%	2	0.3%	1	0.1%	58	7.3%	64	8.0%
合計（お墓を求めている世帯）	217	27.2%	90	11.3%	77	9.6%	97	12.2%	481	60.3%
回答者数	798									

②希望するお墓の種類割合

宜野湾市内でお墓を求めている世帯において、お墓の種類希望は、「家族墓」の割合が61.2%と最も多く、次いで「施設型共同墓」19.8%、「兄弟墓」9.1%、「門中墓」6.8%となっている。

表1-2 希望するお墓の種類（お墓の種類×求める場所）

	宜野湾市内		宜野湾市外		その他		無回答		合計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
家族墓	161	61.2%	64	55.7%	52	53.6%	36	34.6%	313	54.1%
門中墓	18	6.8%	14	12.2%	11	11.3%	2	1.9%	45	7.8%
兄弟墓	24	9.1%	13	11.3%	4	4.1%	5	4.8%	46	7.9%
模合墓	2	0.8%	4	3.5%	3	3.1%	1	1.0%	10	1.7%
施設型共同墓	52	19.8%	17	14.8%	19	19.6%	2	1.9%	90	15.5%
その他	5	1.9%	0	0.0%	6	6.2%	4	3.8%	15	2.6%
無回答	1	0.4%	3	2.6%	2	2.1%	54	51.9%	60	10.4%
合計（求めているお墓の種類）	263	100.0%	115	100.0%	97	100.0%	104	100.0%	579	100.0%

③墓地管理者別希望するお墓の種類割合（宜野湾市内）

墓地管理者の違いを問わず、「家族墓」を希望する割合が高いが、「公共が管理する霊園」や「民間の霊園」では、「施設型共同墓」の割合も高くなっている。

表1-3 墓地管理者別希望するお墓の種類（宜野湾市内）

	個人・家族		公共		民間		その他		無回答		合計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
家族墓	87	76.3%	66	51.6%	5	38.5%	2	50.0%	1	25.0%	161	61.2%
門中墓	9	7.9%	8	6.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	18	6.8%
兄弟墓	13	11.4%	7	5.5%	2	15.4%	1	25.0%	1	25.0%	24	9.1%
模合墓	1	0.9%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.8%
施設型共同墓	0	0.0%	45	35.2%	5	38.5%	1	25.0%	1	25.0%	52	19.8%
その他	3	2.6%	1	0.8%	1	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	5	1.9%
無回答	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%
（合計（求めているお墓の種類））	114	100.0%	128	100.0%	13	100.0%	4	100.0%	4	100.0%	263	100.0%

墓地の需要予測をするにあたり、まず人口及び世帯数、死亡者数を一次回帰により推計を行い、世帯数と死亡者数の推計値から世帯あたりの死亡者率を求める。

次に推計した世帯数、世帯あたりの死亡者率、アンケート調査による墓地需要世帯割合をもとに宜野湾市内における墓地需要数を算出する。

また、上記の方法で算出した墓地需要数と「希望するお墓の種類」の割合（表 1-2、1-3）をもとに、お墓の種類別墓地需要数を算出した。

【需要予測式】

○年平均墓地需要数

世帯数×世帯あたり死亡者率*1×墓地需要世帯割合*2 = 年平均墓地需要数

*1 世帯あたり死亡者率=死亡者数÷世帯数

*2 墓地需要世帯割合：墓地を必要としている世帯割合（表 1-1 参照）

○平成 41 年までの墓地需要数（20 年累計）

年平均墓地需要数 × 年数 = 累計墓地需要数

○お墓の種類別墓地需要数（20 年累計）

年平均墓地需要数 × 希望するお墓の種類別割合 × 年数 = 累計お墓の種類別墓地需要数

（3）墓地の需要予測

昭和 60 年から平成 17 年までの実績値に基づき一次回帰式で推計を行った結果、平成 37 年の人口 112,076 人、世帯数 49,093 世帯、死亡者数 697 人、世帯あたり死亡者率 0.0142 と算出された。

表 1-4 人口、世帯数、死亡者数の推計

	実績値					推計値			
	昭和60年 1985年	平成2年 1990年	平成7年 1995年	平成12年 2000年	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成27年 2015年	平成32年 2020年	平成37年 2025年
人口	69,206	75,905	82,862	86,744	89,769	96,487	101,683	106,880	112,076
世帯数	20,929	24,467	28,109	31,942	34,738	38,565	42,074	45,584	49,093
死亡者数	225	272	332	416	451	518.0	577.6	637.2	696.8
世帯あたり 死亡者率	0.0108	0.0111	0.0118	0.0130	0.0130	0.0134	0.0137	0.0140	0.0142

※人口及び世帯数は国勢調査、死亡者数は住民基本台帳に基づく。

※人口、世帯数、死亡者数の推計値は、昭和60年から平成17年の実績値をもとに一次回帰式で求めた。

※世帯あたり死亡者率=死亡者数÷世帯数

※宜野湾市第三次総合計画における平成27年の人口フレームは10万人となっており、今回の人口推計との大きな乖離はみられない。

①宜野湾市における墓地需要数

アンケート調査結果に基づく墓地需要数は、平成41年までの20年間の累計で3,303基、そのうち、「公共が管理する霊園」を希望しているのは約半数の1,522基となっている。

表1-5 計算式(宜野湾市内)

	世帯数	世帯あたり死亡率	墓地需要世帯割合	年平均墓地需要数	年数	期間墓地需要数
H22～26期間	38,565	× 0.0134	× 0.272	= 141	× 5	= 704
H27～31期間	42,074	× 0.0137	× 0.272	= 157	× 5	= 785
H32～36期間	45,584	× 0.0140	× 0.272	= 173	× 5	= 866
H37～41期間	49,093	× 0.0142	× 0.272	= 189	× 5	= 947
平成41年までの墓地需要数(20年累計)						3,303

表1-6 管理者別墓地需要数(宜野湾市内)

	墓地需要世帯割合	年平均墓地需要数				平成31年	平成41年
		H22～26	H27～31	H32～36	H37～41	10年累計	20年累計
個人・家族・親族での墓地の取得	12.7%	66	73	81	88	693	1,538
公共が管理する霊園	12.5%	65	72	80	87	686	1,522
民間の霊園(お寺など含む)	1.1%	6	7	7	8	62	137
その他	0.5%	3	3	3	3	27	61
無回答	0.4%	2	2	2	3	21	46
墓地需要数 合計	27.2%	141	157	173	189	1,490	3,303

<参考>

【簡易予測式：沖縄大学 吉川博也教授の算出式】

- a. 総人口 × 13 ÷ 10000 = 年間墓地需要数
 - b. 総世帯数 × 4 ÷ 1000 = 年間墓地需要数
 - c. 死亡者数 × 0.2 = 年間墓地需要数
- } a. b. c の平均値

表1-7 簡易予測式(人口に基づく墓地需要数)

	人口	係数		年平均墓地需要数	年数	期間墓地需要数
H22～26期間	96,487	× 13	÷ 10,000	= 125	× 5	= 627
H27～31期間	101,683	× 13	÷ 10,000	= 132	× 5	= 661
H32～36期間	106,880	× 13	÷ 10,000	= 139	× 5	= 695
H37～41期間	112,076	× 13	÷ 10,000	= 146	× 5	= 728
平成41年までの墓地需要数(20年累計)						2,711

表1-8 参考：宜野湾市における墓地需要数(簡易予測式)

	年平均墓地需要数				平成31年	平成41年
	H22～26	H27～31	H32～36	H37～41	10年累計	20年累計
墓地需要数 ①②③の平均	128	139	150	160	1,332	2,882
①人口に基づく需要数	125	132	139	146	1,288	2,711
②世帯数に基づく需要数	154	168	182	196	1,613	3,506
③死亡者数に基づく需要数	104	116	127	139	1,096	2,430

②お墓の種類別墓地需要数

希望するお墓の種類別の墓地需要数は、平成41年までの20年累計3,303基のうち、「家族墓」が2,022基、「施設型共同墓」654基、「兄弟墓」301基、「門中墓」225基、「模合墓」26基となっている。

表1-9 お墓の種類別墓地需要数（宜野湾市内）

	お墓の種類 需要割合	年平均墓地需要数				平成31年	平成41年
		H22 ~26	H27 ~31	H32 ~36	H37 ~41	10年累計	20年累計
家族墓	61.2%	86	96	106	116	912	2,022
門中墓	6.8%	10	11	12	13	101	225
兄弟墓	9.1%	13	14	16	17	136	301
模合墓	0.8%	1	1	1	2	12	26
施設型共同墓	19.8%	28	31	34	38	295	654
その他	1.9%	3	3	3	4	28	63
無回答	0.4%	1	1	1	1	6	13
墓地需要数 合計	100.0%	141	157	173	189	1,490	3,303

③「個人・家族・親族での管理希望者」のお墓の種類別墓地需要数

「個人・家族・親族での管理」を希望している方のお墓の種類別の墓地需要数は、平成41年までの20年累計1,538基のうち、「家族墓」が1,173基、「兄弟墓」175基、「門中墓」121基、「模合墓」13基となっている。

表1-10 個人・家族・親族での管理希望のお墓の種類別墓地需要数（宜野湾市内）

	お墓の種類 需要割合	年平均墓地需要数				平成31年	平成41年
		H22 ~26	H27 ~31	H32 ~36	H37 ~41	10年累計	20年累計
家族墓	76.3%	50	56	62	67	529	1,173
門中墓	7.9%	5	6	6	7	55	121
兄弟墓	11.4%	7	8	9	10	79	175
模合墓	0.9%	1	1	1	1	6	13
施設型共同墓	0.0%	0	0	0	0	0	0
その他	2.6%	2	2	2	2	18	40
無回答	0.9%	1	1	1	1	6	13
墓地需要数 合計	100.0%	66	73	81	88	693	1,538

④「公共が管理する墓地の希望者」のお墓の種類別墓地需要数

「公共が管理する墓地」を希望する方のお墓の種類別の墓地需要数は、平成41年までの20年累計1,522基のうち、「家族墓」が785基、「施設型共同墓」535基、「門中墓」95基、「兄弟墓」83基、「模合墓」12基となっている。

表1-11 公共での管理希望のお墓の種類別墓地需要数（宜野湾市内）

	お墓の種類 需要割合	年平均墓地需要数				平成31年	平成41年
		H22 ~26	H27 ~31	H32 ~36	H37 ~41	10年累計	20年累計
家族墓	51.6%	33	37	41	45	354	785
門中墓	6.3%	4	5	5	5	43	95
兄弟墓	5.5%	4	4	4	5	38	83
模合墓	0.8%	1	1	1	1	5	12
施設型共同墓	35.2%	23	25	28	31	241	535
その他	0.8%	1	1	1	1	5	12
無回答	0.0%	0	0	0	0	0	0
墓地需要数 合計	100.0%	65	72	80	87	686	1,522

⑤「民間が管理する墓地の希望者」のお墓の種類別墓地需要数

「民間が管理する墓地」を希望する方のお墓の種類別の墓地需要数は、平成41年までの20年累計137基のうち、「家族墓」が53基、「施設型共同墓」53基、「兄弟墓」21基となっている。

表1-12 民間での管理希望のお墓の種類別墓地需要数（宜野湾市内）

	お墓の種類 需要割合	年平均墓地需要数				平成31年	平成41年
		H22 ~26	H27 ~31	H32 ~36	H37 ~41	10年累計	20年累計
家族墓	38.5%	2	3	3	3	24	53
門中墓	0.0%	0	0	0	0	0	0
兄弟墓	15.4%	1	1	1	1	10	21
模合墓	0.0%	0	0	0	0	0	0
施設型共同墓	38.5%	2	3	3	3	24	53
その他	7.7%	0	1	1	1	5	11
無回答	0.0%	0	0	0	0	0	0
墓地需要数 合計	100.0%	6	7	7	8	62	137

第5章 先進自治体における公営墓地の事例研究

—神奈川県横浜市、千葉県市川市—

1. 調査対象地の概要

(1) 調査対象地の人口及び世帯

			横浜市	市川市	単位
住民基本 台帳人口	総数	平成 21 年 12 月 31 日	3,672,789	461,123	人
	男性		1,842,474	236,713	人
	女性		1,830,315	224,415	人
	世帯数		1,578,396	216,888	世帯
出生	総数	平成 21 年	32,816	4,819	人
死亡	総数		25,894	2,943	人

(2) 調査対象施設の概要 (まとめ)

	横浜市	市川市
施設名	メモリアルグリーン(合葬式慰霊碑型納骨施設)	市川市都市計画墓園第一号市川市霊園(合葬式墓地)
所在地	神奈川県横浜市戸塚区俣野町1367番地1	千葉県市川市大野町4丁目2481番地
設置者	横浜市長	市川市長
竣工年月	平成18年8月31日	平成15年3月
敷地面積	約5ha(約3haの緑地部分が、公園との共有部分)	261,402.00㎡
建物構造	RC造 地下1階・地上1階	鉄筋コンクリート造
建築面積/延べ床面積	建築面積 46,50㎡ / 延べ床面積 388.37㎡	261.45㎡/506.35㎡
施設概要	地上部に水の流れるモニュメントを設置し、地下納骨施設の遺骨保管用の棚に骨壺を収蔵します。正面の献花台で墓参を行っていただきます。	2階建地下1
事業費/建設費	全体事業費:約58億円 合葬式慰霊碑型納骨施設建設費: 納骨施設55,860千円 納骨棚18,984千円	213,052,350円/141,015,000円
備考	○整備数:12,000体分(合葬式慰霊碑型納骨施設) ○利用形態:個人利用	
基本理念・基本方針	既存の良好な緑の保存活用、既存の駐車場の活用とともに、公園、墓園に必要な緑地や臨時駐車場を共用し、効率的な土地利用を図る。	土地の有効利用と時代の要請に沿った運営を実地する。
建替基本計画	建替期間をコンクリート構造物の一般的寿命と言われている60年を予定。この立替に係る費用及び60年間の長期修繕経費については、当初募集した方々の使用料を基金に積み立てると共に、30年後に再募集した際の使用料で賄う。	なし
基本コンセプト、デザインコンセプト	上記「基本理念・基本方針」と同じ。	納骨壇(収蔵ロッカー)及び合葬室には各々5,000体が収納可能であること。モニュメントおよび参拝所は宗教や宗派にとらわれないもので雨の日でも参拝できる造りであること。
全体配置計画	各エリアの形を円形にすることにより、どこのエリアも緑に囲まれた雰囲気を出しております。また、墓園の中心に合葬式慰霊碑型の水の流れるモニュメントを設置することで、緑豊かな敷地の中に水の流れる音をアクセントとしております。	「市川市霊園案内図」参照
施設機能等	合葬式慰霊碑型納骨施設(30年の有期限つき) 整備数:12,000体分 合同埋蔵室:1部屋(納める際は、骨壺から取り出し、他の方のご遺骨とともに合同で埋葬する。)	24時間除湿できる設備があること。 納骨時に障害のある方にも納骨できる設備があること。
市民コンセンサスの形成方法	事業開始にあたっては、住民説明会を行うと共に、事業開始後は地元住民の代表者で構成する連絡会を毎月に行い、意見の交換を行っている。	2回のアンケート調査による

2. 個別施設の概要

(1) 横浜市メモリアルグリーンの概要

はじめに

施設の場所は、平成14年2月に閉園した「横浜ドリームランド」の跡地である。

既存の緑をできるだけ保存、活用し、早急に整備が必要とされていた「硬式野球場を備えた総合公園」と「緑豊かな墓園」を一体的に整備した。

基本方針

- ・ 既存の良好な緑を保存・活用し、緑豊かな計画とする。
- ・ 既存の駐車場を活用し、効率的な事業推進を図る。
- ・ 公園及び墓園に必要な緑地や臨時駐車場を共用し、効率的な土地利用を図る。

概要

新墓園・メモリアルグリーン（墓園事業）

面積：約6.1ha(内、公園との共用区域 約3.0ha)

施設内容：芝生型墓地(7,500区画)、樹木型合葬式墓地(3か所 3,000体収容)、
慰霊碑型合葬式墓地(1か所 12,000体収容)、レストハウス、
駐車場(約400台)

特徴：本市の墓地需要と市民の多様なニーズに対応するため、市営墓地を整備した。

：水と樹林や草花に包まれた中で、新たな形態の墓園を公園と一体的に整備した。

俣野公園（公園事業）

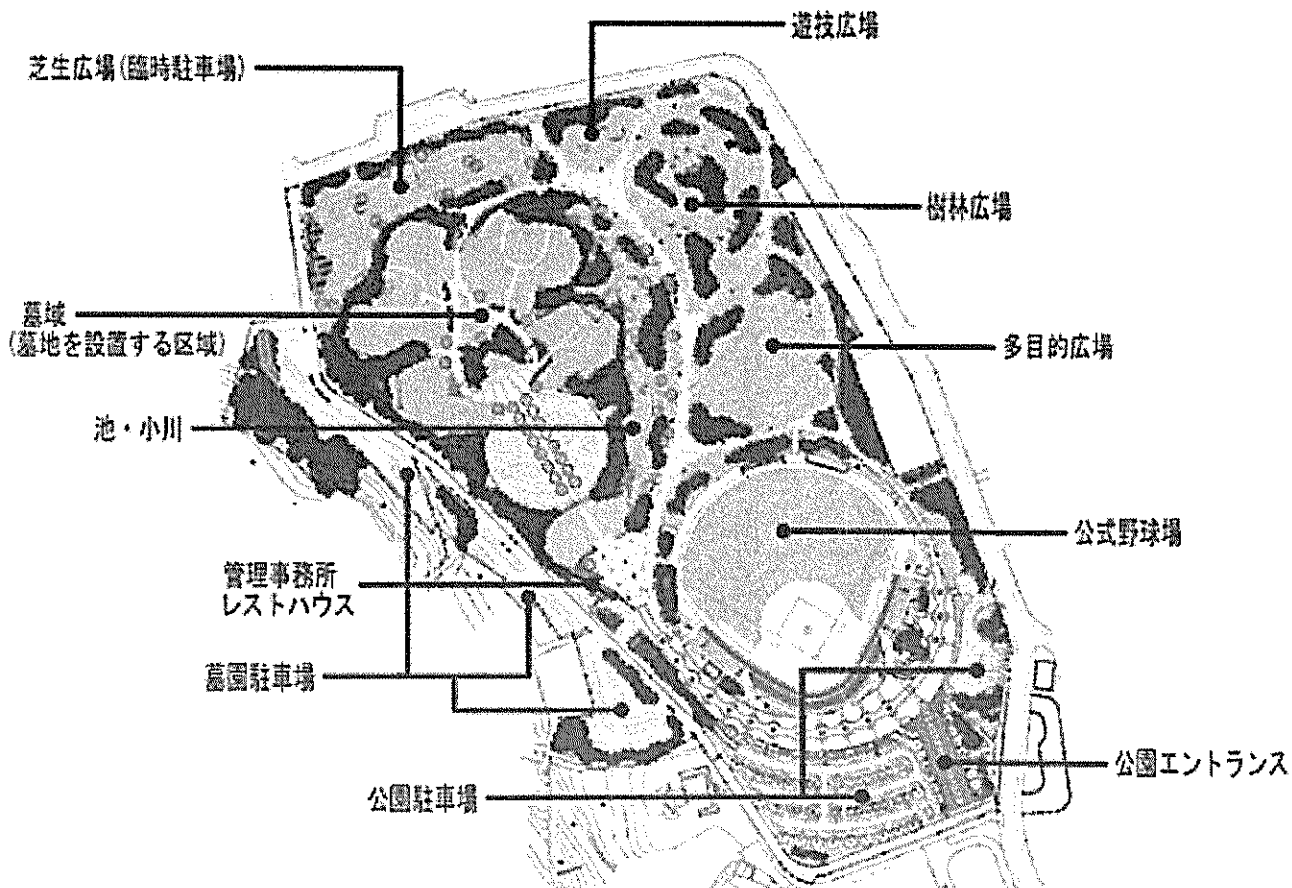
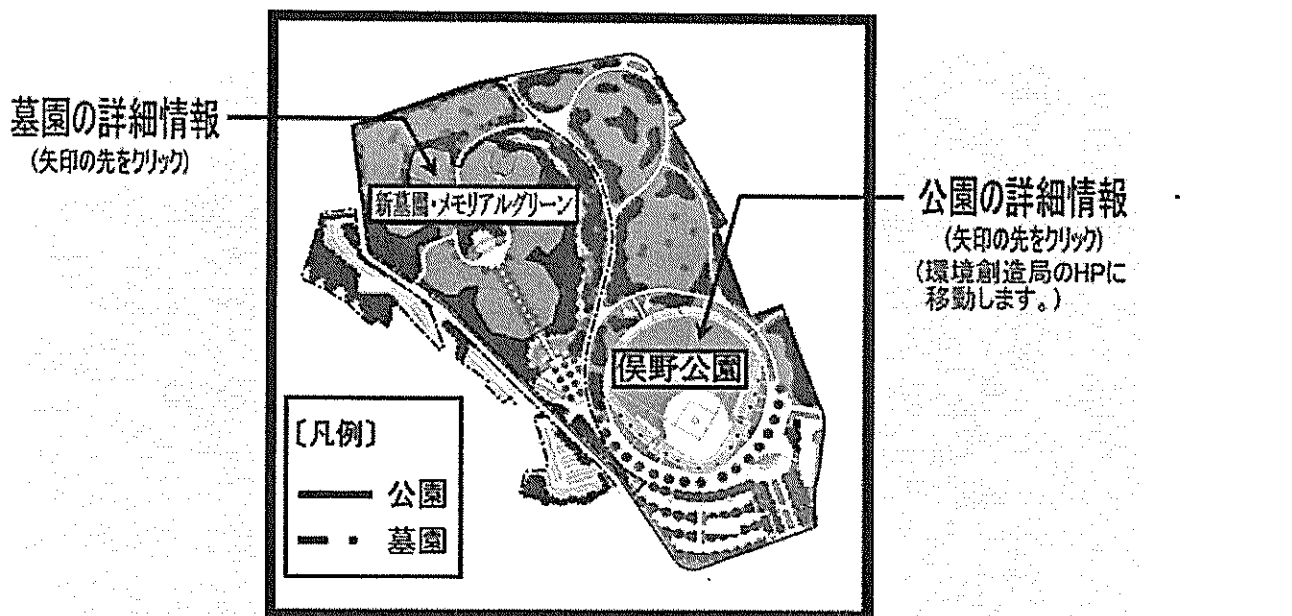
面積：約10.0ha(内、墓園との共用区域 約3.0ha)

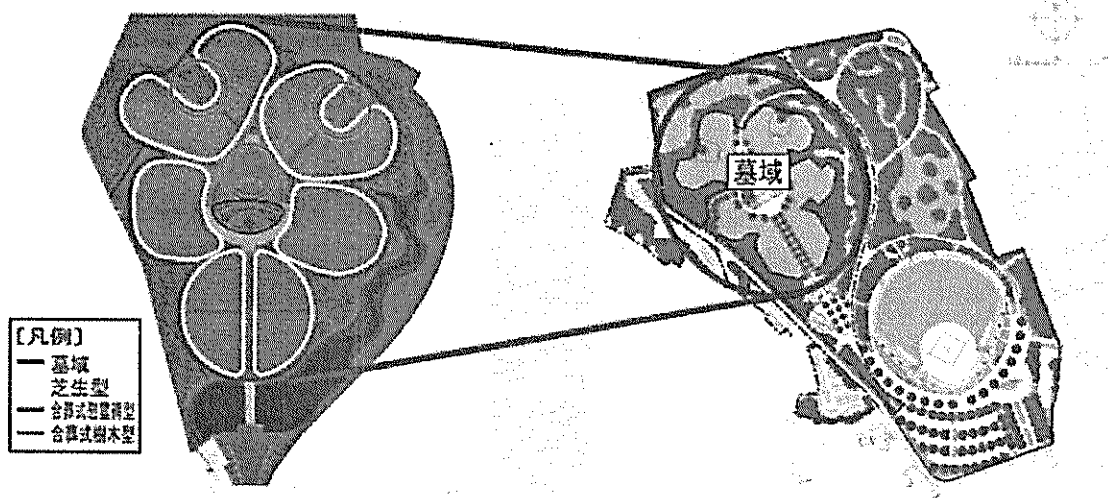
施設内容：硬式野球場(観客収容数 約3,000人、ナイター設備完備)、樹林広場
多目的広場、遊技広場、レストハウス、駐車場(約220台)

特徴：高校野球の大会等に対応できる規格を備えた、硬式野球場を整備した。

：子供から高齢者まで、誰もが憩える緑豊かな公園とした。

[土地利用計画図]





〔墓地形態と付帯施設〕

■ 芝生型

概要

- ・ 四角いプレートを墓標とし、全体を芝生広場のような開放感に溢れた明るい空間になっている。
- ・ 芝生型墓地は、使用者に管理していただく墓地である。
- ・ プレートの大きさは、縦 35cm×横 45cm の A 3 用紙くらい大きさである。
- ・ プレートの表面には、お名前などが入れられる銘板を設置する。

規模

- ・ 7,500 区画を設置し、1 区画に 6 体程度、埋蔵可能である。

使用料

- ・ 永年使用：90 万円/区画
- ・ 30 年使用：45 万円/区画

管理料

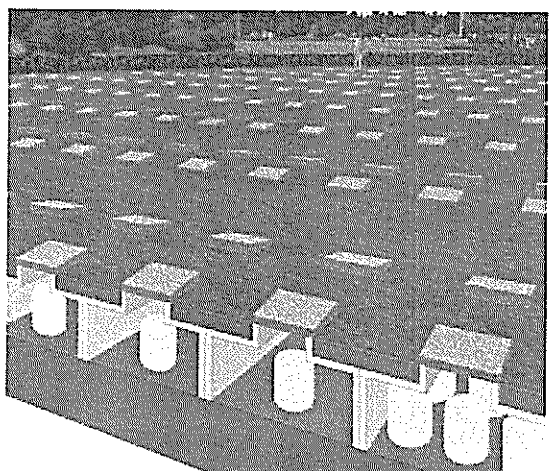
- ・ 1 年間：8 千円/区画

その他

- ・ プレート及びカロート(納骨施設)の費用を含む。
- ・ 銘板の費用は別途必要である。
- ・ 30 年使用の場合、更新が可能である。



〔芝生型墓地 前面〕



■合葬式 樹木型

概要

- ・シンボルツリーや低木、芝、花などで覆われたマウンド上の区画に、骨壺をまとめて埋蔵し、手前にある献花台で、参拝する形式とする。

規模

- ・3か所整備し、1か所で1,000体分、計3,000体分の収蔵が可能である。

使用料

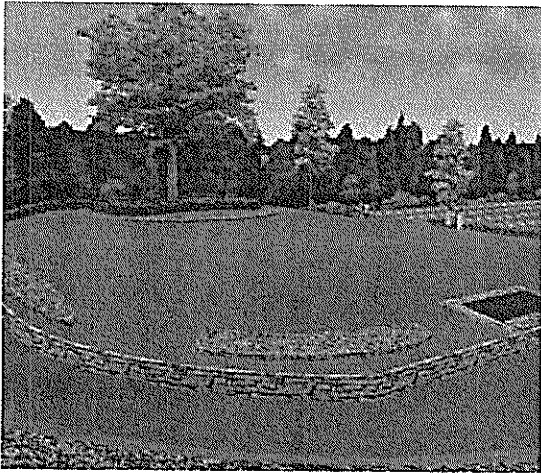
- ・永年使用：14万円/体

管理料

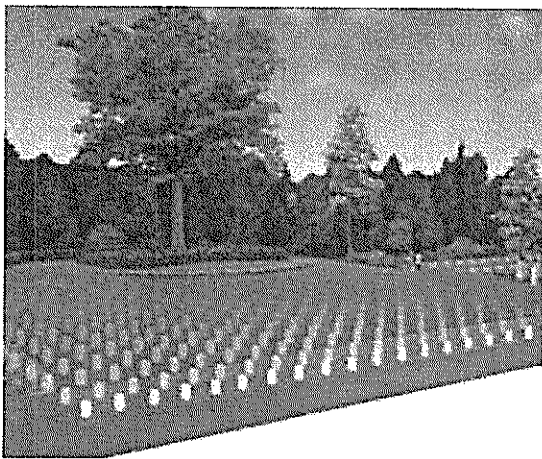
- ・永年使用：6万円/体

その他

- ・納骨作業は、管理者が行う。
- ・合葬式樹木型納骨施設には、シンボルツリーが3種類あり、ケヤキ・クスノキ・ヒメシャラのいずれか1種類を指定することが可能である(使用許可申請時に指定していただく)。ただし、実際に遺骨が埋蔵される場所を指定すること(「シンボルツリーの近く」や「献花台の近く」等)はできない。
- ・実際に遺骨が納骨される場所については、墓地管理者が設定するが、2体分で申込まれた場合は、必ず隣同士に納骨する。



〔合葬式 樹木型 前面〕

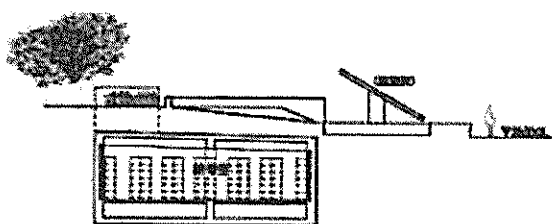


〔合葬式 樹木型 納骨形態〕

■合葬式 慰霊碑型



〔合葬式 慰霊碑型 前面〕



〔合葬式 慰霊碑型 側面 断面図〕

概要

- ・地上部に慰霊碑を設け、手前にある献花台で、参拝していただく。
- ・地下の納骨施設の中に棚を設け、骨壺を収蔵する。
- ・納骨施設内では、参拝できない。

規模

- ・1か所整備し、12,000体分の収蔵が可能である。

使用料

- ・30年使用：6万円/体

管理料

- ・30年使用：3万円/体

その他

- ・更新が可能である。
- ・更新しない場合は、合同埋蔵室へ安置する。
- ・納骨作業は、管理者が行う。
- ・合葬式慰霊碑型納骨施設は、モニュメントの地下に遺骨を納める納骨室があり、その納骨室に遺骨を並べて保管する棚が設置されている。実際に遺骨が納骨される場所(棚)については、墓地管理者が設定するが、2体分で申込まれた場合は、必ず隣同士に納骨する。
- ・生前予約で申込まれた場合、使用する前に使用期間が満了する場合がある。ただし、合葬式慰霊碑型納骨施設の使用期間30年間は、遺骨を納める場所を確保している期間であり、30年間の使用期間が満了した後も、合葬式慰霊碑型納骨施設の合同埋蔵室へ、直接納骨することは可能である。
- ・使用許可後30年間経過したら、更新や改葬のお申出がないかぎり自動的に合同埋蔵室へ遺骨を移動する。

※合同埋蔵：合葬式慰霊碑型納骨施設内にある専用の埋蔵室に、遺骨を骨壺から取り出し、他の方のご遺骨とともに合同で保管する。合同埋蔵後は、他の墓地への遺骨の移動(改葬)ができなくなる。

〔事業スケジュール〕

- 平成 15 年 11 月 19 日 用地取得
- 平成 16 年 3 月 5 日 公園の都市計画決定
- 平成 16 年 7 月 26 日 墓園の経営許可
- 平成 18 年度 墓園の募集開始(秋)、供用開始
- 平成 19 年度 野球場の供用開始
- 平成 20 年度 公園の全面公開

〔事業の進め方〕

事業の推進にあたっては、戸塚区及び泉区の地元町内会・自治会の代表者 13 名並びに本市関係局区で構成された「俣野公園等跡地整備事業連絡会」で継続的に意見交換を行うと共に、地域への事業説明会を適宜開催し、意見を伺いながら進めた。

〔指定管理者による管理〕

平成 18 年 6 月、指定管理者を決定した。(議決)

◆公募概要

1 施設概要

施設名称	メモリアルグリーン
所在地	横浜市戸塚区俣野町 1367 番地 1 他
管理開始日	平成 18 年 9 月 1 日
施設利用開始日	平成 19 年 3 月を予定
管理規模	約 3.5 ヘクタール
施設内容	(1) 納骨施設 ・ 芝生型 7,500 区画 ・ 合葬式樹木型 3,000 体分(3 か所) ・ 合葬式慰霊碑型 12,000 体分(1 か所) (2) 管理事務所・レストハウス 1 棟 (※総合公園との合築) (3) 駐車場 166 台分(3 か所) (※墓園管理区域内)

2 指定管理者が行う業務

- (1) 施設の運営に関する業務
- (2) 施設の維持管理に関する業務
- (3) その他の業務

3 指定期間

平成 18 年 9 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで(期間：4 年 7 か月)

(2) 市川市霊園合葬式墓地の概要

社会環境が変化し、少子・高齢化の進行と、市川市内に費用のかからない墓地を望む市民の需要に対応しつつ、将来の墓地需要の対応を考え、新たな形式の墓地として、一つのお墓に多くの遺骨を埋蔵するという新しい形の墓地として、市川市霊園内に平成 15 年 3 月完成した。

【合葬式墓地とは】

ご遺骨を 20 年間、納骨壇（下記 3 の写真参照）において、1 体又は 2 体ずつ埋蔵する。

使用許可時の合葬式墓地使用料（1 体用 71,000 円 2 体用 142,000 円）以外、年間管理料等はなく、収蔵後の特別な手続はない。使用許可日から 20 年経過後は、一体ずつ梱包して同施設内にある合葬室へご遺骨を改葬し、他のご遺骨と一緒に永代的に合祀させていただく。（その際の手続きも必要ない。）

基本のご遺骨の返還はしないが、特別な事情による場合は使用許可日から 20 年間の納骨壇に収蔵されている間の返還は可能。ただし、合葬室へ改葬後のご遺骨の返還はいかなる場合も出来ない。

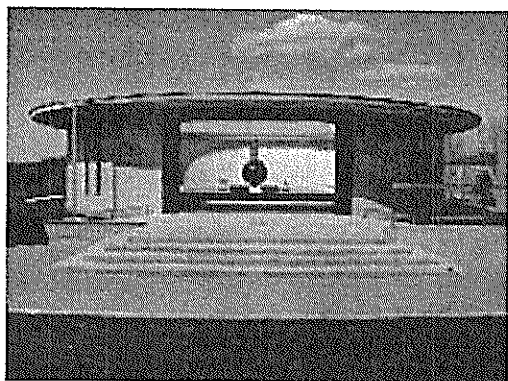
尚、市内に 1 年以上在住の 65 歳以上の方については自己利用のための生前の確保が可能である。

※ 市川市霊園合葬式墓地の使用許可を受けた方は、市川市霊園一般墓地の申し込みは出来ない。

◎市川市霊園一般墓地使用者

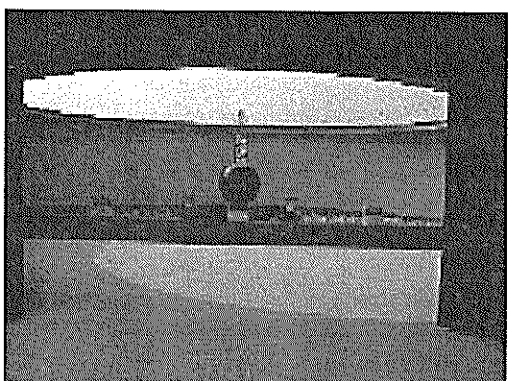
市川市霊園合葬式墓地は、市川市霊園一般墓地の使用者の方は申し込み出来ないが、現在使用の一般墓地について後を継ぐ方が無く、無縁化の心配がある方や遠方へ転居されて墓地管理が困難な方などで、その一般墓地を返還することを条件に利用することが可能である。

合葬式墓地のご紹介



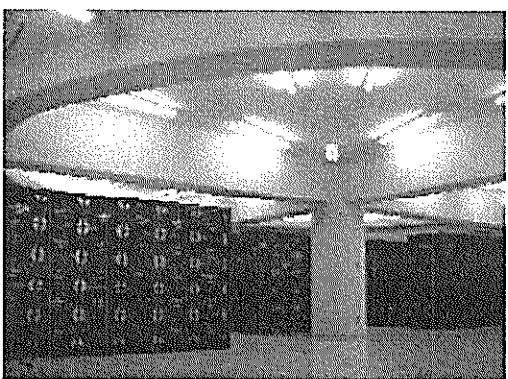
1 合葬式墓地上部全景

建物は、市川霊園入口付近の西側斜面を利用した二層の収蔵施設と上部の円形の礼拝所からなる、地上2階、地下1階の施設。
礼拝所には、駐車場などからの段差を極力小さくすることにより礼拝者にやさしい構造とした。



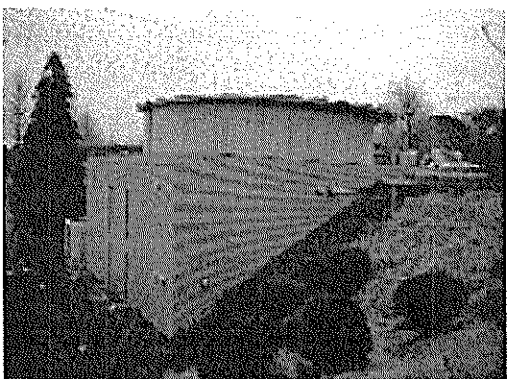
2 合葬式墓地礼拝所

礼拝所は、円形の壁、球体のモニュメント、ステンドグラスを配した採光窓、と上部の円形の空間からの自然光など配し、市営霊園として利用者に特定の宗教色を与えないよう考慮するとともに、屋外にありながら礼拝に集中できるための環境とした。焼香や献花のスペースを設けてあり、開園時間内であれば、いつでも参拝できる。尚、供物の持ち込みは衛生管理上ご遠慮いただいている。



3 合葬式墓地内部

地上1階及び地下1階には、遺骨を収蔵するための納骨壇が設けられている。
納骨壇には1体用と2体用があり、使用許可日から20年間は納骨壇において埋蔵させていただく。20年経過後は、同施設内の地下1階にある合葬室へ改葬し、他のご遺骨とともに合祀させていただく。



4 合葬式墓地後方全景

鉄筋コンクリート造り、地上2階、地下1階
延べ床面積 506.35平方メートル

地上2階 礼拝所 (左写真建物上部円形)

地上1階 収蔵室 (左写真建物中央部)

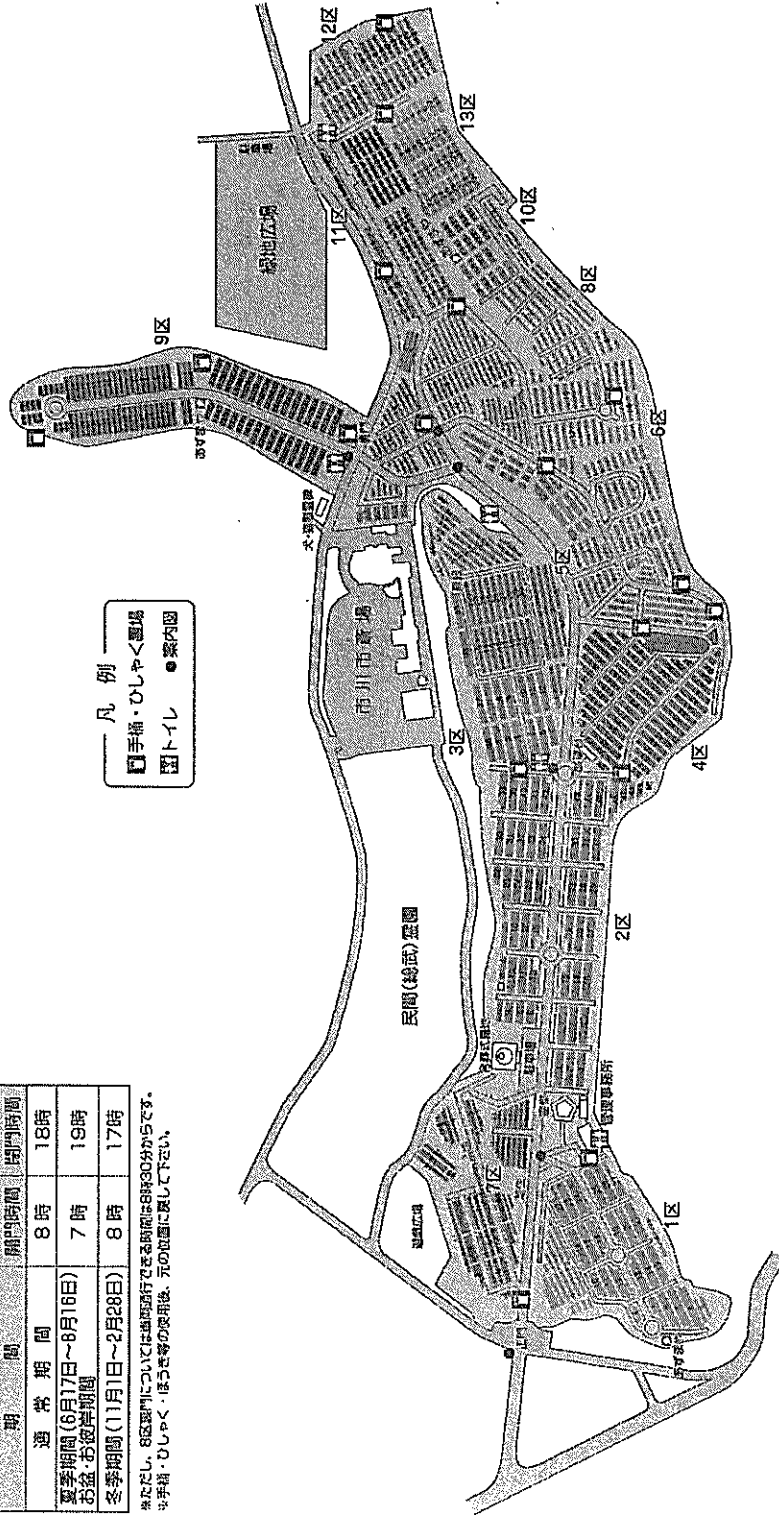
地下1階 収蔵室及び合葬室 (左写真建物下部)

市川市霊園案内図

開門・閉門時間

期 間	開門時間	閉門時間
通常期間	8時	18時
夏季期間(6月17日～8月16日) お盆・お彼岸期間	7時	19時
冬季期間(11月1日～2月28日)	8時	17時

※ただし、6区(霊門)についてはお盆期間中は8時30分からです。
※手桶・ひしゃく・ほうき等の使用後、元の位置に戻して下さい。



市川市霊園管理事務所
市川市大野町4丁目2481番地
TEL 047-337-5696

第6章 墓地に関する行政課題の抽出

1. 人口世帯の動向から見た墓地の課題

人口・世帯数の動向を見ると、昭和45年に人口39,390人、世帯9,341世帯(4.22人/世帯)、平成20年は人口90,589人、世帯36,838世帯(2.46人/世帯)と人口の2.3倍増に対し世帯数は3.9倍と高い伸びを示しており、世帯分化の進行が見られる。

15歳未満の子供数は、平成2年に18,296人(24.1%)、平成17年は17,331人(19.3%：県平均18.7%)、65歳以上の高齢者の数は平成2年に5,122人(6.7%)平成17年は11,589人(12.9%：県平均16.1%)と、子供の数や総人口に占める割合は減少し、高齢者の数や総人口に占める割合は増加するなど、県平均と比べ緩やかであるが少子高齢化が進行している。

お墓は、家族墓志向が強いことから、このような世帯数の増加とともに家族墓が急増しており、また、少子高齢化に伴い主に家族墓を中心に継承者不在となる無縁墓の増加が予測され、管理されないお墓の増加による環境問題が懸念される。更に、高齢者の増加により今後墓地需要が高まるものと思われ、これらの受け皿の整備が課題となる。

2. 土地利用から見た墓地の課題

平成19年の民有地の土地利用は、宅地が650.7ha(45.8%)、その他636.1ha(44.7%)、畑77.2ha(5.4%)、原野29.4ha(2.1%)、田28.8ha(2.0%)となり、昭和57年と比べ、宅地が8.6ポイント増、畑7.3ポイント、原野1ポイント、田0.3ポイント減となっている。

その他には軍用地579.9ha(民有地)を含むことから、本市の大半が宅地と軍用地で占められている。本市は都市化が進行し土地利用上飽和状態にあることから、市域において今後の墓地需要に対処するには墓地用地の確保が課題となる。

3. 墓地の立地状況から見た課題

本年度の墓地実態調査では、3,529のお墓が確認された。立地場所としては、市街地に隣接する又は市街地の中に立地するお墓が相当数見られ、これらは市街地の拡大に伴い住宅が墓地に近づいたもの、近年の家族墓の増加により市街地内の僅かな空き地にお墓が立地したものが考えられる。このように墓地と住宅が混在していることから住環境への影響が懸念される。これらのお墓の中には道路等の基盤が不足する場所に立地するものも多く、清明祭の交通問題も発生している。

また、山林原野に立地するお墓は、大山の斜面地に多く見られ斜面緑地等と一体となり、市街地の開発圧力に対して緑地の保全に貢献してきたものと思われる。中には亀甲墓など景観的にも優れたお墓もあり、このように地域資源とした良好なお墓の保全が求められる。

アンケートでは、市内に立地する墓地に対して「見慣れた景色の一部で、特に何も感じない」が43.9%と多く、次いで「生活環境や衛生・防犯などの面で良くない」34.2%、「緑地と一体となっているなど緑の保全に貢献し、景観的にも良好である」5.6%となっている。

平成8年度に行った県調査では、墳墓数が2,404基となっており、3,529基と比べ平成8年～21年の間に1,125基のお墓が増加したことになる。一方、平成8年～21年の間の墓地の許可申

請件数は 287 件と実態調査と 838 基の差がありこれらは、無許可の墓地が多く含まれているものと考えられる。

無許可で墓地が造られる背景には、住民の墓地埋葬法の理解不足と民間による墓地開発がある。墓地は基礎が整備されれば 2、3 日で完成する。このため工事途中の差し止めが難しい。加えて、罰則も少額であるため無許可墓地の抑止が困難である。また、無許可墓地の周りに新たなお墓が立地するという、悪循環も起こる。このようなお墓の無秩序な立地が、周辺地域の環境悪化の要因となる。

4. アンケート結果による課題

(1) お墓に対する市民の意識への対処

お墓は、生活環境を阻害する要因としてあげられているが、一方で「見慣れた景色の一部で、特に何も感じない」43.9%、「緑地と一帯となり緑の保全に貢献している、景観的にも良好である」5.6%など、積極的に評価する意見も僅かながら見られる。

また、お墓や葬送のあり方に対しては「伝統的な沖縄のお墓の形態や葬送を継承したい」が 42.1%と高いが、「お墓の継承者がいなくても安心できる永代供養をしてくれる施設型共同墓を利用したい」36.6%、「自然葬など新たな葬送を考えたい」12.8%もあり、新たな葬儀・葬送を求める方も見られる。このため、それぞれの意向に対処できるような、墓地の施策が求められる。

(2) 既存のお墓の継承と生活圏との共存

個人や家族・親族で管理しているお墓の清掃は、「年 2 回」が 66.0%と多く、次いで「3 回」19.7%、「1 回」12.9%となっている。亜熱帯気候に属する沖縄本県では、植物の成長が早く年 2、3 回の清掃では、お墓が雑草に覆われる状態も見られる。

また、お墓の立地状況を見ると、墓地と住宅が混在する市街地が形成されており、アンケートの自由意見では、墓地と住宅が近接することでの住環境への影響を懸念する意見もみられる（「見慣れた景色ですが、できることならお墓と住宅が混在するのは景観的に良くないかと思います」）。

このような点を踏まえ、沖縄の伝統的な葬送文化や墳墓形態を継承するには、地域と共存するお墓のあり方が問われる。

(3) 現在の墓地取得状況と今後の墓地取得意向の相違

宜野湾市に既存のお墓があると答えた方と、新にお墓の取得を希望する方それぞれのお墓の管理形態や墳墓形態を比較する。

管理形態では、既存の墓は「個人・家族・親族」が 97.4%と大半を占め、「公共が整備した霊園」2.0%や「民間の霊園」0.7%は僅かである。今後取得する墓では「個人・家族・親族」が 37.8%、「公共が整備した霊園」36.4%、「民間の霊園」8.5%と、公共が整備した霊園を求める方が増加している。

管理の形態（現在取得しているお墓）	管理形態（今後取得するお墓）
個人・家族・親族で取得（97.4%）	個人・家族・親族で取得（37.8%）
民間の霊園（0.7%）	民間の霊園（8.5%）

公共が整備した霊園 (2.0%)	公共が整備した霊園 (36.4%)
------------------	-------------------

また、墳墓の形態では、現在取得しているお墓は、「家族墓」が 85.4% 大半を占め、「兄弟墓」7.3%、「門中墓」6.0%、「模合墓」0.0%、「施設型共同墓」0.0%となっている。今後取得するお墓では、「家族墓」が 54.1%と約半分を占め、次いで「施設型共同墓」15.5%、「兄弟墓」7.9%、「門中墓」7.8%、「模合墓」1.7%と、施設型共同墓等を求める方が増えている。

墳墓形態 (現在取得しているお墓)	墳墓形態 (今後取得するお墓)
家族墓 (85.4%)	家族墓 (54.1%)
門中墓 (6.0%)	門中墓 (7.8%)
兄弟墓 (7.3%)	兄弟墓 (7.9%)
模合墓 (0.0%)	模合墓 (1.7%)
施設型共同墓 (0.0%)	施設型共同墓 (15.5%)

管理形態別の墳墓形態 (上位 3 位) を見てみると、「個人・家族・親族で所有」は家族墓が多いが、「民間の霊園」や「公共が整備した霊園」は家族墓が減少し施設型共同墓が増加している。

管理形態 (今後取得)	墳墓形態 (上位 3 位)
個人・家族・親族で取得	1 位：家族墓 (70.9%) 2 位：門中墓 (12.7%) 3 位：兄弟墓 (10.8%)
民間の霊園	1 位：家族墓 (57.4%) 2 位：施設型共同墓 (16.7%) 3 位：門中墓、兄弟墓 (9.3%)
公共が整備した霊園	1 位：家族墓 (52.5%) 2 位：施設型共同墓 (31.4%) 3 位：兄弟墓 (6.7%)

このように、現在の墓地実態と将来の墓地取得の意向が異なること、また管理主体によって、求める墳墓形態も異なることから、これらの意向を踏まえた墓地供給の方策が求められる。

(4) 墓地の継承者

個人・家族・親族で既にお墓を取得している方と、個人・家族・親族で新にお墓の取得を希望する方の墓地の継承者の有無について整理した。その結果、既存のお墓がある方の継承者は「いる」89.1%、「いない」5.4%に対して、これからお墓を取得したいと答えた方の継承者は「いる」76.4%、「いない」14.3%と、これからお墓を取得したいと答えた方に継承者がいない人の割合 8.9 ポイント高くなっている。

一方、これから個人・家族・親族でお墓を取得したいと答えたか方の墳墓の形態は家族墓が 70.9%と大半を占めており、今後無縁化する可能性の高いお墓が増えることが予想され、これらへの対策が必要とされる。

継承者の有無（既にお墓を取得している方）	継承者の有無（今後お墓を取得する方）
いる（89.1%）	いる（76.4%）
いない（5.4%）	いない（14.3%）

（5）今後の墓地のあり方に対する意向

今後造られる墓地や既存の墓地に対する住民意向は、「新に造られる墓地は決められた場所に集約する」50.5%、「既存の墓地でも場合によっては移転して集約すべき」27.9%と、お墓を集約させるとの意見が78.4%を占める。一方、「これまで通り、個人が所有する土地に墓を造らせるべき」は7.6%、「わからない」8.8%となっており、住民は墓地の集約を望んでいる、このように住民の意向を踏まえた墓地施策が求められる。

また、墓地を集約する場所として、「基地返還後の跡地」が32.8%と最も高いことから跡地利用との調整が今後の課題となる。

第7章 望ましい墓地施策のあり方の提言

1. 墓地施策の基本方針

本市には、大山の斜面地を中心に伝統的な形態を残す墓地が多く、これらは景観的にも良好でかつ斜面緑地の保全にも貢献してきた。また、その多くが門中などの共同墓であることから、安定した墓地の管理が見込めるお墓である。このような墓地を保全するため、沖縄の伝統的な墓地形態や葬送文化の継承を促すことが重要となる。

また、これからお墓を求める方は、継承者の問題等から、安心できる永代供養をしてくれるお墓を求める方も多く、更に自然葬などお墓を必要としない新たな葬送を望む方も見られるなど、このような多様な需要に対処できる墓地施策の展開を図ることも大切であり、既存墓地対策や今後の墓地需要への適切な対応が求められる。

2. 個別施策の方針

(1) 既存墓の継承

斜面緑地の保全に貢献し景観的にも良好な墓地については、地域の環境資源として保全し、墓地と一体となった緑の保全に努めることが、地域の環境の維持保全に有用である。このため、墓地管理者に対して、既存墓（共同墓）の維持を促すための啓発活動を行うとともに、緑の基本計画等の上位関連計画との整合を図り、保全に努める必要がある。

また、沖縄の伝統的な葬送文化を継承するためにも、若い世代の方々にお墓に対する意識の向上を促すことも大切である。

(2) 既存の無縁墓、空き墓対策

お墓の管理は年2～3回が多い。これは沖縄の葬送文化によるもので地域による違いはあるものの清明祭、七夕、十六日、お盆のいずれかにお墓に行くことが多く、それ以外は基本的にお墓には行かない風習がある。このため、時期によっては雑草が茂っている状態のお墓も見られ、中には、無縁墓や空き墓など何年も管理が行われていないお墓も見受けられる。このようなお墓は、蚊の発生やゴミの違法投棄などの衛生問題、犯罪の温床になる可能性もあるなど、周辺の住環境悪化の要因となる。

このため、これらお墓の取り壊しや移転等の対応策についての検討も重要となる。また、地域にこのようお墓が存在している地区については、対応策が図られるまでの間、地域によるお墓の管理についての検討も必要とされる。

(3) 増加する墓地への対応

人口や世帯の増加、家族墓志向により今後、お墓の急増が予想され、高齢化がその需要に拍車をかけるものと思われる。本県のお墓は規模が大きくアンケートでも1～3坪のお墓を求める方が多い、このような意向に応えるには膨大な土地が必要とされ、これら用地の確保は本市において困難である。

このため、今後造られるお墓については、規模の大きな家族墓ではなく小規模で多くのお骨を収納できる共同墓の利用を促すなどの啓発活動が求められる。また、お墓は必要不可欠なものであることから、市民の墓地需要にできるだけ応えられるよう、墓地用地の確保に向けた検討が求められる。

(4) 無縁墓の抑制

アンケートの結果、多くの方は家族墓を志向しており、人口や世帯の増加とともに今後、家族墓の急増が予測される。一方、少子化の影響から今後、継承者のいない家族墓が増え、管理者のいない無縁墓の増加が懸念される。管理されない無縁墓は崩壊が進み、住宅地に隣接するお墓は、周辺の環境を著しく悪化させることになる。

このような無縁墓をなくすため、共同墓の利用を促すと共に、どうしても家族墓を望む方に対しては法人霊園の永代使用墓の利用を促すなどの啓発活動が求められる。

(5) 無許可墓地の抑制

平成8年度に沖縄県が行った墳墓調査は2,404基の墳墓が確認されている。また、平成21年度に行った墓地実態調査では、3,529基のお墓が確認され、平成8年～21年の13年間に1,125基のお墓が増加している、この間の許可申請件数(287件)から、約800基が無許可による墓地と考えられる。

無許可で墓地が造られる背景には、墓地を造る際に知事の許可が必要であることを知らない方が多く、このため民間の墓地開業者の勧めに応じて許可を受けづらい墓地用地を購入し無許可でお墓を立て、地域住民と軋轢を起こすケースが見られる。また、無許可で造られたお墓の周りに新たなお墓が立地する悪循環も起こっている。

このようなお墓の無秩序な立地が、周辺地域の環境悪化の要因となることから、無許可の墓地対策として、市民への墓地埋葬法の普及啓発を徹底するとともに、墓地開発の適正な指導が重要となる。

普及啓発については、ユンヂチ(沖縄でお墓を造るのに良い年とされている)に集中的に行うと共に、県との連携を図るなど、より効果的で効率的な広報活動を行う必要がある。また、今後策定を予定している墓地計画が実効性あるものとするため、墓地開発を指導する設置要綱等の基準が求められる。

(6) 墓地区域、墓地禁止区域の検討

平成8年～21年の13年間に1,125基のお墓が増加し、これらは僅かに残された原野や田畑、雑種地等に墓地が進出しているものと思われる。本市は大半が市街化されているため、今後墓地が造られる場所は少ないと考えられるが、墓地の小規模化(1基当たり1～3㎡)に伴い、地域の隙間を見つけて至る所に墓地が立地する可能性がある。

このような、墓地の乱立を防ぎ市街地の住環境を保全するため墓地の立地を規制・誘導する必要がある。規制・誘導方策としては、墓地の立地を許容する墓地区域と墓地の立地を制限する墓地禁止区域の設定が考えられる。なお、これら区域は個人による墓地取得を規制することから地域住民との協議を行い合意のもとに区域指定を行う必要がある。さらに、これら区域の実効性を担

保するため条例の制定が求められる。

(7) 墓地需要への対応

今後 20 年間の市民の墓地需要は、個人による墓地の取得を望む方が 1,538 基、公営墓地を望む方が 1,522 基、法人墓地を望む方が 137 基となっている。限られた市域の中でこれら需要全てに応えることは困難と考えられるが、それぞれの需要に対して以下のような対応が求められる。

1) 個人による墓地取得への対応

民間開発業者を介した個人による墓地の取得が、今日の様々な墓地問題を引き起こしている。このため、これらの墓地取得の規制・誘導を行うことが重要となる。具体的には前述した墓地区域や墓地禁止区域の設定を行い、墓地の乱立を防ぐことが効果的と考えられる。なお、本市において、需要に見合う用地の確保は困難であることから、市民の意識改変を合わせて行う必要がある。

2) 公営墓地の検討

公営墓地については、家族墓の需要も多いが施設型共同墓の需要も多く、このような墓地需要を踏まえた公営墓地の整備が求められる。公共が造る墓地霊園の役割としては、公共の福祉の観点が必要である。具体的には、費用が高く民間の霊園に入れられないなど、真に墓地の取得に困っている方への墓地の供給が第一義的に求められる。更に、大規模な墓地用地の確保が困難な本市においては、限られた用地で多くの方のお骨を収納できる施設が必要とされる。

このため、従来の家族墓を中心としたお墓ではなく、多くのお骨を収めることのできる共同型の施設整備の検討が必要とされる。また、限られた施設で多くのお骨を収めることができるよう施設の運用（合葬式の採用）についても検討が必要とされる。

なお、本市においては公営墓地用地の確保が大きな課題となるが、これについては普天間飛行場跡地利用における検討が期待される。

3) 法人霊園への対応

法人霊園の需要は少なく、法人による墓地開発情報を適切に市民に伝えることが重要となる。また、市内において法人による開発申請が発生した場合は、市の将来の街づくりや土地利用に配慮し、適切な場所への立地誘導を行うことが求められる。立地にあたっては、地域貢献のための条件を付すとともに、永代供養を行う施設としての管理運営が必要とされる。

參考資料

1. アンケート調査の実施概要、アンケート調査票

(1) アンケート調査の実施概要

1) 調査目的

宜野湾市の墓地施策のあり方を検討するため、今後多様化する墓地ニーズ及び墓地に対する市民意識を把握することを目的として実施した。

2) 調査の企画・実施

本調査は、宜野湾市市民経済部環境対策課で企画し、(株)沖縄計画機構に委託して実施した。

3) 調査項目

- ①属性
- ②お墓の取得状況
- ③今後のお墓の取得意向
- ④宜野湾市内の墓地の状況
- ⑤今後の宜野湾市内の墓地のあり方

4) 調査対象者

- ①調査地域 宜野湾市内
- ②調査対象 満30歳以上の世帯主
- ③対象者数 3,000人
- ④抽出方法 無作為抽出

対象者は住民基本台帳に基づき大字単位の人口比率に応じて決定した。

5) 調査方法

調査票をアンケート対象者に送付し、郵送で送り返してもらい郵便調査法で実施した。

6) 調査時期

平成21年8月

7) 回収結果

$798 \text{ (回答件数)} \div (3,000 - 45) \times 100 = \underline{27.0\%}$

※45件は宛先不明で返ってきた件数

墓地・埋葬に関するアンケート調査票

市民の皆様

平成21年8月

宜野湾市長 伊波洋一

墓地・埋葬に関するアンケートのお願い

市民の皆様には、平素から宜野湾市のまちづくりに対し、ご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

市では、今後の墓地行政のあり方を検討することを目的として、(財)地方自治研究機構と共同で、宜野湾市墓地需要に関する調査研究を実施しております。

その調査研究にあたり、今後の多様化する墓地ニーズに対応していくための基礎資料とするため、市民の皆様へアンケート調査のご協力をお願いすることになりました。

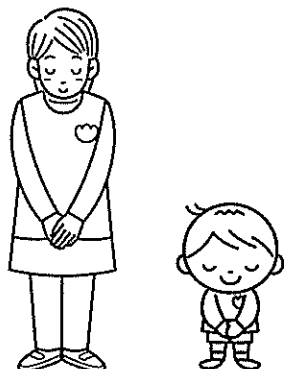
ご多忙中誠に恐縮ですが、調査にご協力下さいますようお願い申し上げます。

なお、回収した調査票は、統計的に処理し本目的以外に使用することはありません。

ご記入にあたって

- ・ご回答は各設問にしがってご記入下さい。
- ・わからない点があればご家族の方と相談してご記入下さい。
- ・本調査は、宜野湾市内に居住する30歳以上の世帯主を無作為に抽出しております。

ご協力よろしく申し上げます



問い合わせ先

宜野湾市 市民経済部 環境対策課
TEL 098-893-4411 (内線 451、456)
担当：新城、福本

調査協力機関：(株) 沖縄計画機構
TEL 098-867-7471 担当：翁長、有銘

〈今後のお墓の取得意向について伺います〉

問3 あなた、またはあなたのご親族では、今後新規にお墓を取得する予定がありますか？

「1つ選んで○で囲んで下さい」

- 1 5年以内に取得する予定である
- 2 5年～10年以内に取得する予定である
- 3 時期は決まっていないが取得を検討している
- 4 取得する予定はない →問7へ
- 5 わからない/未定である

問4 お墓を取得するとした場合、どの程度の費用が適当だと考えますか？「1つ選んで○で囲んで下さい」

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 50万円未満 | 2 50～100万円 | 3 100～200万円 |
| 4 200～300万円 | 5 300～600万円 | 6 600万以上 |

問5 お墓を造る又は購入する場合、墓地はどの程度の規模がいいとお考えですか？「1つ選んで○で囲んで下さい」

- | | | |
|---------|--------------|-----------|
| 1 1㎡以下 | 2 1㎡～3㎡（約1坪） | 3 1坪～3坪 |
| 4 3坪～6坪 | 5 6坪～10坪 | 6 10坪～20坪 |
| 7 20坪以上 | | |

参考：民間霊園の規模と価格の事例（墓地使用料、管理料、石碑などの代金を含む）

- ・ 1㎡→180万、1.7㎡→240万、3㎡→350万、3.5㎡→390万、4.5㎡→480万、6㎡→620万、7㎡→680万
- ・ 共同墓（納骨堂タイプ：お骨を個々に分けて保管）→50万円
- ・ 共同墓（合葬タイプ：複数のお骨を1つの施設にまとめる）→30万円

問6 次のうちどのようなお墓を希望されますか？「1つ選んで○で囲んで下さい」

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 個人・家族・親族で墓地を取得したい | 2 民間が管理する霊園を使用したい |
| 3 公共が管理する霊園を使用したい | 4 その他（ ） |

〈宜野湾市内の墓地の状況について伺います〉

問8 宜野湾市内にある墓地を見て、どの様に感じますか？「1つ選んで○で囲んで下さい」

- 1 生活環境や衛生・防犯などの面で良くない
- 2 緑地と一体となっているなど緑の保全に貢献し、景観的にも良好である
- 3 見慣れた景色の一部で、特に何も感じない

〈その他墓地について感じていることがあればご記入下さい〉

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

〈今後の宜野湾市内の墓地のあり方について伺います〉

【宜野湾市の墓地の実態と課題】

1. 沖縄県は、これまで個人が所有する墓（家族墓、門柱墓、兄弟墓など）を例外的に認めてきました。このため、いたるところにお墓が作られ、お墓と住宅が混在する市街地が形成されています。また、近年は家族墓の増加から墓地が急増し都市部においては墓地用地が不足しています。
2. 核家族化や世帯構成員（1世帯2～3人）の減少から、家族墓を中心に墓地を継承者がいなくなることが予想され、これらの墓地は、管理されず周辺の環境を悪化させる要因となる恐れがあります。
3. お墓を造るときは、知事の許可が必要ですが無許可で造られるお墓も多く、これらのお墓の周りに新たなお墓が造られるなど、無秩序な墓地の立地を誘発し周辺の環境を悪化させています。

問9 上記の課題を踏まえ、今後の墓地のあり方について、次のどの様な方法が良いと考えますか？「1つ選んで○で囲んで下さい」

- 1 新たに造られる墓地は決められた場所に集約すべき
- 2 既存の墓地でも場合によっては移転し集約すべき
- 3 墓地の集約は行わずこれまで通り、個人が所有する土地にお墓を造らせるべき
- 4 わからない

<今後の墓地のあり方について、お考えがあればご記入下さい>

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

9-2 今後、宜野湾市内で墓地を集約する場所として、どのような場所がいいと思われますか？「1つ選んで○で囲んで下さい」

- 1 既存の墓地が集積する地区
- 2 住宅地から離れている場所
- 3 墓地返還後の跡地
- 4 その他 ()

問 10 公共事業などにより、お墓の移転が必要となった場合どのような条件であれば移転をしても良いと思いますか？「1つ選んで○で囲んで下さい」

- 1 市内に代替えの墓地を確保してもらうこと
- 2 金銭的な補償の条件が合えばよい
- 3 絶対に移転は受け入れられない
- 4 その他 ()

問 11 お墓のあり方や葬送のあり方について、あなたはどの様にお考えですか？「1つ選んで○で囲んで下さい」

- 1 伝統的な沖縄の墓地形態や葬送を継承したい
- 2 墓の継承者がいなくても安心できる永代供養をしてくれる施設型共同墓などを利用したい
- 3 自然葬など新たな葬送（遺骨を粉末にして海や山などに散布）を考えたい
- 4 その他 ()

これですべての質問は終わりです。

最後までご協力いただき、ありがとうございました

(3) アンケート自由意見の整理

問8 墓地について感じていること(自由記述)

1 墓地が住宅に近接して、住環境や景観を悪化させている(39件)
・ 一部住宅地と混在し、街の景観を悪くしている所がある。
・ あちこちに分散していて景観的によくない。住宅地内に住宅の様な巨大な墓がたくさん有り、異様な気がする。
・ あまり見ていないのでわからない。しかし、見た所では旧亀甲墓が散在する。個人で大きな墓があるが(住宅地に)、墓地のところに墓はつくってほしい。
・ ただ余り身近にはあって欲しくないが、本音です。
・ 沖縄に来て感じたことは、至る所に墓があり、景観上も良くない。又、住宅密集地に大きな墓があつたりしてびっくりしている。1ヶ所に集めて墓地を作った方が良い。
・ 下記のように至る所にお墓があり、住宅がいっぱいあるところにお墓がポツンとある所がよく目につく。
・ 宜野湾は、どこへ行っても墓と住宅が混在して、いい環境とはいえない。
・ 居住域との区別が無く、景観の面からも無秩序に見える。
・ 近所に以前はさとうきび畑農家が自分の土地に建てただろうと思われるのだが、どんどん宅地として売られて、墓地だけが残っていると思われる場所がある。持ち主だけが知っているのだろうが、外から来た人間にとっては、違和感あり。
・ 県外出身で文化が違うので、こういうものなのかと見てきたが、家を探す時には気になるし、突然自分の家の横などに墓地を作られても嫌だと思ふ。管理のされていなさそうな大きな墓も良い感じはしない。
・ 見慣れた景色ですが、出来る事ならお墓と住宅が混在するのは、景観的によろしくないかと思ひます。ただ、簡単にお墓を移動するのは宗教上(沖縄の風習等)、難しいと思ひますが、墓地を集約する場所、土地を市の方で確保出来るのであれば、そちらに移転する事が望ましい。
・ 個人の墓地等で、住宅やアパートのすぐ隣にあって、景観的に良くないかと思ひます。
・ 住宅と墓が混在するのもよくない。
・ 市のど真ん中普天間飛行場があるせいか、墓が市内あちこちに建てられていて、墓と住宅の混在が多く見受けられます。普天間基地が返還されたら墓地公園として整備をして数ヶ所にまとめた方が景観上好ましいと思ひます。
・ 市営の集約化、団地化が理想的に思ふ。住宅地帯との混在はよくない。
・ 失礼な事かもしれませんが、墓が家の前にあるとか、夜道で墓の前を通らないといけないなど、不気味で怖い感じがします。沖縄特有の事などでしょうか？代々続く墓で、古くなりより怖いです。きれいな墓であればそれほどでもありませんが、やはりまとめられるならまとめて欲しいと思ひます。
・ 住宅と墓地が近いのはどうなんだろう。
・ 住宅と墓地が近くにあつたりと、墓地は必要なものだとは思ひますが、墓地のたてられる環境(場所)を検討する必要があると思ひます。
・ 住宅と隣接しているお墓が多い気がして、気になります。
・ 住宅のすぐ後ろに墓地があり、良くないです。
・ 住宅地と墓地は分けて建てて欲しい。
・ 住宅地と墓地区域が混雑しているように見受けられる。
・ 住宅地に墓が点在しているので、清明祭の時など路上駐車がが多く、周りの方々は迷惑していると思ふ。
・ 住宅地の周辺に墓地が多い。
・ 住宅地や道路沿いにある墓は、移動した方がよいと思われまふ。
・ 住宅地域にお墓が多く見受けられるので、可能な限り墓地公園を設けてまとめて欲しい。
・ 将来的には墓地と住宅は混在しない方がよいのでは。
・ 場所によっては、どの方向を見ても墓地があつたりし、あまり気持ちのよい事ではないので、どうかして欲しいと思ひます。

<ul style="list-style-type: none"> 生活区域の中に墓があり、今の時代に合わなくなっているように感じる。土地購入する際も、近くに墓があると選択肢から外す。
<ul style="list-style-type: none"> 生活道路沿いに住居とお墓が隣り合わせの光景は芳しくない。(墓は目かくしのある区画に限定出来ないか)
<ul style="list-style-type: none"> 窓を開けてすぐ目の前に墓地があるのは、どうかと思う。怖いし、不気味。
<ul style="list-style-type: none"> 部落の中にあるのは良くない。
<ul style="list-style-type: none"> 墓があるゆえ、緑地が保たれている面があるが、住宅と近接しすぎている。近年、墓の建て替えて緑が破壊され、土地を盛り上げるのでコンクリートの固まりが目前に現れる様になっている。建替え等の時、近隣への配慮が必要。
<ul style="list-style-type: none"> 墓は景観的にも1ヶ所にまとめた方がいいと思いますけど、沖縄的には良くわからない。昔からの思いもあるので感じます。
<ul style="list-style-type: none"> 墓地は1ヶ所にまとめるべき。
<ul style="list-style-type: none"> 墓地は出来るだけ一定の場所にまとめた方がいいと思います。(現在は民間地域に点在しているので)
<ul style="list-style-type: none"> 民家と墓地が混在しているような所があつて、他人事だが気になる。
<ul style="list-style-type: none"> 民家の近くに墓地があつたり、道路沿いにお墓があるのでまとめて墓地をつくって欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> 民家近くに墓がよくあるが、よくないと思います。墓地返還に向けて区別するよう願います。

2 わからない、興味がない(14件)
<ul style="list-style-type: none"> あまり意識して見ていないのでよくわからない。
<ul style="list-style-type: none"> どちらでもない。
<ul style="list-style-type: none"> なし
<ul style="list-style-type: none"> まだ先の事なので今は特に何も考えていない。その時は、両親等に相談する。
<ul style="list-style-type: none"> 関心がないのでよくわからない。
<ul style="list-style-type: none"> 気にした事が無いのでわかりません。
<ul style="list-style-type: none"> 宜野湾市に住んでまだ間もないので墓地について気づかない。
<ul style="list-style-type: none"> 宜野湾市の墓地をあまり知らない。
<ul style="list-style-type: none"> 住宅以外の市内を利用する機会がないので、墓地の場所がわからない。仕事や買い物など、ほとんどが市外を利用している。
<ul style="list-style-type: none"> 少子化の影響は清明祭等で、少しずつ感じていたが、時期的なものも加味して一時的な事とらえていたので、特に問題意識は持っていなかった。(改めて考えると思いあたる点が多数あった。)
<ul style="list-style-type: none"> 生活する事でいっぱいなので、まわりの環境とかあまり考えた事がありません。
<ul style="list-style-type: none"> 特になし
<ul style="list-style-type: none"> 墓について詳しくないので分からない。
<ul style="list-style-type: none"> 墓地の所在地もわかりません。

3 違法駐車、駐車場がない(13件)
<ul style="list-style-type: none"> 交通、駐車が不便。
<ul style="list-style-type: none"> 仕事柄(僧侶)、墓地に良く行きます。住宅と墓地が隣接していたり、無縁墓が目立ったり、非常に粗悪な状況だと思います。例えば、普中裏の墓地は道が狭いし、墓だけが増えて駐車スペースがなく、不便な場所になってしまいました。売る側は1墓でも多く売りたいですが、利用者にとっては駐車場が無いのは本当に迷惑です。あそこまでいったら行政の介入は必要だと思います。
<ul style="list-style-type: none"> 住宅街にお墓があつても①の生活環境や衛生、防犯面などで問題の起こらないよう維持をするのであれば良いと思う。又、移したくても、しきたりの問題や場所、金銭面の問題などでできない家もあると思うので、役所など専門的な窓があれば良いかと思う。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場が少ない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 車の乗り捨て？盗難車？色々な車が放置されていた。現在は片付けられてはいる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 細い道路に面した墓地では、清明祭等の時交通の妨げになること(駐車などで)が多い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 清明祭とか七夕祭りの際、市民が一斉に繰り出してくるので駐車する場所が得られず立往生する事がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 清明祭の時は、狭い道路のそばにお墓があったりして、路駐のため、車の通行が難しい場合がある。又、墓地(浦添の霊園)等でも、駐車場が足りず、路駐しているので駐車場は広い方が良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ シーミーの時に細い道での路上駐車が多く、危険だと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 道沿いにあり、駐車スペースがない等行事のある度に近隣に迷惑がかかっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に大山パイプライン沿いの墓地は、交通の面で良くないと感じる。シーミー時期になると、路駐もひどく危険。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場が無くて不便
<ul style="list-style-type: none"> ・ 墓に行くとき道がなくて困る。(シーミーや墓地草刈りなど)

4 未管理の墓により衛生環境が悪化している(11件)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理されない墓、うっそうと茂った木や草、不法投棄された産業廃棄物など環境がどんどん悪化している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境改善を望む所多々に見られます。これからの時代や生き方に考え方も変えて良いと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人墓地が雑然として、衛生面・防犯面が良くない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 維持管理が為されてなく、常に暗いイメージ。清明祭、七夕等に限らず持主が定期的に清掃できないものか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理されていない墓がある事には、気になっていることでした。未来を思うと・・・
<ul style="list-style-type: none"> ・ シーミー時期は清掃されているのだが、翌年まで、のび放題の草木が迷惑です。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化の為、バリアフリーに整備されている所がない。景観の悪さ、草木の手入れがなっていない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅地近くにある墓等があまり草木の管理がされてなく、危険を感じる。(ハブ等)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅地区に墓地があるが、木々が茂り草木も生えっぱなしで薄暗い感じで、夕方は気味悪く感じてしまう。環境や電灯、美しい花々を植え込むとか、もっと明るいイメージが欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 墓地のとなりに住んでいる。ハブや野犬の問題が少し気になるが、これは、他の原野や公園でも同じ。問題はシーミーも盆にも明らかに手が入っていない墓。荒れ放題となっているのは見るに忍びない。やはり管理型に移行すべきとは考えるが、心情的には正直違和感が残る。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 長い間放って置かれているようなお墓も多いので、確認後しかるべき手続きを取った後に、合葬すればかなり整理が出来るのではないか(非常に古く、歴史を感じさせるようなお墓は別)

5 子供がたむろし喫煙や飲酒をしている、浮浪者が住んでいる(11件)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学生が墓でたむろしている光景も見られて残念です。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学生、高校生の喫煙、飲酒の場所になっているところもあり、普段の手入れが必要だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 墓地にホームレスが住んでいる。昼間から酒を飲んでいるので、墓地内に入れないようにすべき。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 野嵩松の丘公園霊園は、ホームレスのたまり場で子供達の教育にも良くない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 野嵩地域に住んでいて墓地環境はまあまあ良い方だと思いますが、墓地内に人が住んで居るということを開き、少し気になります。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 古い墓は、景観的にも良くない。また、公園近くの墓場は、ホームレスがうろろろして子供達を安心して園内で遊ばせられない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅の近くに墓地集積があり、夜中墓地内で騒いだり、夕方は小中学生が遊んだりして危険です。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅地と近い墓地は、駐車場もなく、ましてや不良達のたまり場になりやすい。死角となる。墓団地があれば見た目も良い。

- ・ 町外れにある墓地などは浮浪者が多く、酒盛りなどをしているので、近くを通りたいと思わない。
- ・ 場所によって、不良のたまり場になり、心配もあるが移すのは抵抗がある。
- ・ 人気のない所にあつて、悪いことをする人達が集まりやすくなっている。

6 無秩序に墓が造られており、土地の有効利用を妨げている(9件)

- ・ 無秩序に墓が造られ、また巨大なものも多々あり、土地の有効利用の障害になっている。
- ・ 宜野湾市内には、住宅地、商業地を問わず、突然大きな亀甲墓が現れたりする。沖縄県民は先祖との距離感も近く、日常的な生活空間に墓があることについてあまり違和感がないようである。沖縄の文化の一面がみられるところであるが、まちづくりの観点、土地利用の観点からは集約した方がいいのではないか。
- ・ 都市計画・環境整備の妨害になっているので逐次移設してもらいたい。
- ・ 墓地があるため、道路が拡張できないので、不便である。
- ・ あちこちに点在しているので、少しまとまった墓地地区があつても良いと思う。
- ・ 一つにまとめてあつた方が良い。
- ・ 自宅の後ろに墓地があり、2個の墓があります。周辺は住宅地であり、今後の開発が出来ない状況です。特に迷惑になっているわけではありませんが、住民が増えていくと足かせになるのではないかと思います。
- ・ 無計画に造られているようで、景観的に良いとは思えない。中には見通しの悪い道路脇にあるものもあつて、危険だなあと感じる。
- ・ 真志喜中学裏手、または、大山のように昔ながらのお墓は、一種の文化的性格があり、そのままでよいと思いますが、新しい個人墓が無秩序に乱立するのは好ましくありません。

7 墓地の面積が大きすぎる(6件)

- ・ 墓地の面積が大きすぎる。もっと小さくして、景観的にも良好な環境を考えていくべきだ。
- ・ 大きい墓じゃなく、こぢんまりしてあまり土地を使わないようにした方がいいかもしれません。
- ・ 大きな墓は無駄と思う。
- ・ 沖縄の墓は、亀甲墓など大きすぎて管理が大変です。
- ・ 一世帯あたりの墓地が大きすぎる。住宅地の中に墓地があるのは、どうかと思う。
- ・ 主道路に面した場所に大きな墓があるのが気になる。

8 緑が少ない(5件)

- ・ 生活環境(特に緑(グリーン)が多い方が最もよい)
- ・ 墓地周辺の緑化整備が望ましい。
- ・ 緑が少なすぎる。
- ・ 緑地があればもっといいと思う。景観的には良好である。
- ・ 墓をつくる時、樹木を切りたおし、コンクリートを敷き詰め、木一本も植えない墓が多すぎる。緑地の保全、景観を破壊している。墓には樹を植えることを条件として許可すべきである。

9 お墓が多すぎるので規制すべきである(3件)

- ・ 門中墓、施設共同型の墓を推奨し、個々の墓はこれ以上増えないよう何らかの制限をしないと市内の住宅数と同数の墓が建立される可能性がある。
- ・ 宜野湾市など、人口の多い場所で墓地はできれば無い方がよいと、個人的に思っています。
- ・ 市内のみならず県内の墓地の在り方について検討してもらいたい。余りにも墓地が多すぎる。

10 トイレなどの設備が不十分(2件)

- ・ 墓参りに行き、ゆっくりしたいけどトイレが汚いので、安心出来ない。基地の中にお墓があるので落ち着かない。
- ・ 祖母方の墓地は、集団墓地になりますが、トイレ、水道設備が無く不便です。

11 その他(22件)
・ 新城や伊佐周辺の墓地は夜暗く防犯上、気になる。
・ 内地の墓地のあり方はとってもいいと思います。ただ大きいだけではなく、環境とかなれば、住む土地さえ思う様にいかないのに・・・墓地は人間の下にではなく、高い所に作って拜む事だと思います。気持の持ち方なので、常にコンパクトに。
・ 火葬場も造ってもらいたい。それも役所の仕事である。市民の為にもっと考え、努力してもらいたい。(市が墓地購入の場合、最低でも50墓程を何ヶ所も準備すれば良い)
・ この狭い沖縄、今後どう変化していくのか分かりませんが、もっとコンパクトにすべきではないか否か分かりません。狭い土地で今後どんな墓が理想的なのか、もっと研究してはどうかと思います。
・ 宇地泊の墓が立ち退きになり、市の提供で墓地公園に移転になり、環境はいいと思います。
・ 騒音が気になる。子供の教育環境としても良くない。一部の地域に防音補助等が出ているのはどうかと思う。
・ 沖縄の墓は防空壕のようで怖い。
・ 親類の墓が一度荒らされた事があるので、警察によるパトロールをしてもらいたい。
・ このアンケートは現在所有しているものにとって、答えにくいです。
・ このままだと増えていく一方ではないか？墓だらけの沖縄もどうかと思う。
・ これから分家が墓を建てる意義は少なくなると思う。公共の墓地で共同で入る仕組が法律などで規定されれば抵抗なく自然とその流れに従うと思う(我々40代は)。
・ まだ具体的には考えられないので、難しいアンケートですが、本音は夫婦で入れる(家族)墓を希望していますが、継承者がいないので民間の霊園を利用する事になるのではないかと考えています。
・ 市の取り組みが遅すぎる。市の町づくり、都市計画、墓地需要等々の問題は行政がすでに把握しているはず。
・ 志真志方面→真志喜方面等に行く場合、とても不便。基地がなければ短時間で行けるのにと、いつも思う。主婦同士でよくこの会話になります。真中に道が出来れば助かります。また、個人的意見として、国際大のヘリ事件の際、米軍の対応はひどいと思った。そこまで日本(沖縄)の立場が弱いのであれば、逆に、交流して行って、今後何かあった時、話し合えるのでは？
・ 私が所有する墓は150年位前に建てられた墓だと終戦時に古老たちが話しておりました。当時、草木が深く茂り、行くのを子供は嫌っていました。下は畑でその間には墓が建ち並んでいました。しかし何時の間にか売られ人家が増え、近くに新町と呼ばれる有楽街に変わり賑やかな環境になり、東側は車の通る道が通り、祖先が「いとこ」同志で建てた墓は現在、私たち親子で面倒をみております。もっと早くこの様な調査があれば人家と墓の区別ができ、どちらも孤立しなくて済んだのではないかと思います。
・ 私どもの墓は、門中墓です。島尻です。清明祭にはお供えするのに時間をかけて並びます。あまりにも門中が大きくて、そこにお供えに来る人達はほとんど知人はいません。談笑するのでもなく情報交換するのでもなく、帰途につきます。実家は父で三代目なので、清明祭など墓庭でデントを張り、子や孫たちが集まり、楽しい親族の交流の場であり、少子化時代とはいえ、孫、ひ孫が集まり4時間位楽しく交流しています。
・ 住宅の購入より難しい。
・ 生きている人の生活を優先させた方がいいと思う。野嵩、上原、赤道しか知らないが、工事等ちょっと工夫すれば景観の素晴らしい場所に墓があり、もったいないと思う。住宅地にすれば国の資産税の増収にもなりません。

- ・ 昔からの風習などで、現在の墓地については特に感じませんが、今後、将来的には墓地の形態、景観も変化して行くのではないかと想像しています。
- ・ 祖父母(母方)の墓と祖父の友人の墓が2ヶ所、新城の住宅街の中にある。出入り口は土地を購入しないと墓参りもできないという話もあった。隣接している民家も良い環境ではないと思うが、以前、墓地であった所が住宅地になり、近隣の墓は移転し、取り残された墓も市内には数カ所あるのではないですか？強制移転も不本意ですが、都市計画の面からも対応はして欲しい。
- ・ 大切にしたい気持と、生きている人の生活を優先したい気持と半々です。
- ・ 沖縄県の墓は住宅地や商業地の中にポツンポツンとあり、1ヶ所にかたまっていないからはじめは不思議だったが、特に今は何も感じない。お墓を持つ人達にとって便利であったり、土地整備の面(開発)で妨げになっていないのであれば大切にしていけばいいものだと考えます。私の地元、福岡とはだいぶ形態は違いますが、一つ一つの墓が大きいので集合墓地であれば土地も有効に使えるし、より景観もよくなるのかもしれませんが、沖縄特有の墓のあり方も大切かとも思います。

問9 今後の墓地のあり方について(自由記述)

1 公営墓地を造って欲しい(永代供養を含めて)(72件)
1-1 明るく緑豊かで利用しやすい公園墓地を造って欲しい(22件)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活の場と墓地が混然としており、環境が悪い。公共の墓地公園等としてできるだけまとめて、清潔感のある町づくりをして欲しい。 ・ 墓地は墓地として住宅地とは別の用地に集約し、景観、防犯も徹底し、明るくきれいで良いイメージにして管理をきちんとして欲しい。 ・ 墓地形態の見直し(公園墓地) ・ 1.駐車場があればいい。2.トイレがあればいい。3.通路に木があれば日影が出来るので木があればいい。 ・ 安くて墓地公園として整備された公的納骨堂のような施設のニーズも出てくると思われる。まちづくりや土地の有効利用の観点からは可能な限り一定の面積を確保し、「公園」として整備し、公共部分、民有部分に既存の墓も含めて集約する方法も検討した方がよい。 ・ 公園を造る時に、一部に共同墓地を造って欲しい。生活の風景の一部にした方が、墓地専用の場所にするより有効利用できる。いわゆる多目的公園の発注が必要。 ・ 管理が行き届き、お年寄りが1人でも気軽にいつでも行けるような明るい墓地であれば理想的に思う。居住地と混在しない場所。 ・ 墓は集約して、公園にして誰でもいつでも行けるような所にする。 ・ 市街地に公園型の墓地があれば、年に1~2度だけではなく、月命日や報告事がある時など、気軽に足を運べると思う。人の出入りが多くなる事により、浮浪者なども集まりにくくなると思う。 ・ 集約することを希望しますが、問4.墓地の程度は、三段階に分けて(大、中、小)もらえたらよいと考える。今墓地は内定しているが、市の方向が集約したいという考えなら、それに従いたい。私たちが1代とし、少子化になっても子や孫たちとピクニック気分交流できたら、墓の維持管理の心配はないと思う。 ・ 集約の場所として地域の関係者として話し合っgreen areaを考えた方がよいと思う。 ・ 中城メモリアルパークみたいな集約場所があってもいいと思う。駐車場やトイレ等もあって、次世代が気軽に来れる。 ・ 将来的には墓地は住宅から離れて、墓地公園として、出来れば周辺に火葬場、葬儀場も出来ればよいと思います。墓地ですが、沖縄では限られた土地面積なので、夢としては墓地公園内に立体墓地、例えば高層ビルにして、個別にロッカー式にすると、新しく墓を求めるとは安い費用で出来る。 ・ 新聞記事での知識 合同地を所有 自然葬にてその地に桜の木や種々の草花の庭園を作り、環境を整え、永代供養をしてくれる、これが理想です。 ・ 墓地ではできれば集めて”公園”それも普段から散歩、ピクニックができる明るい”墓地公園” ・ 墓地公園として整理して欲しい。 ・ 墓地公園的な整備が好ましい。 ・ もっと明るい自然を生かした墓地にして欲しい。(ある場所の墓地を見て)暗い雰囲気をする。迫力がありすぎて近寄れない。何か出て来そう。住宅地のすぐ側すぎる。泊高校の門の所にあるような、ちょっと明るくて公園みたいな外人墓地風が良い。ピクニックでもできてしまいそうな雰囲気にして欲しい。 ・ 公園型墓地で芝生等があり、便所、水場等があり子供達も安全に見渡せる墓石の低い形。 ・ 墓地公園のような、陰気臭さのない、お墓ピクニック(シーミー時に)のような感じの墓地公園だと良いなあーと思います。 ・ 緑が豊かな大自然。静かな場所で住宅外である。 ・ 公経営の永代的管理の墓地公園を造成してもらいたい。
1-2 共同墓を造って欲しい(10件)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来は、施設型共同墓が必要になります。

<ul style="list-style-type: none"> 市民全員が入れる(埋葬)共同のお墓、モニュメント(例 平和の碑)の様なものを墓地の跡地利用で作れたら、1番だと思います。
<ul style="list-style-type: none"> 本家以外は共同墓地。場所も整備された(駐車場、トイレ等)公共管理。維持、管理者は生前徴収。
<ul style="list-style-type: none"> お墓を購入できなくてお寺等の施設を利用している人も多いと思う。土地や購入資金、永代管理、供養等が充実して、誰でも利用できるような共同墓地ができれば良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 墓の継承者がいない場合は、永代供養をしてくれる施設型共同墓に移れる(移りやすい)制度があったら良いと思う。当方は継承者はいるが、いない方は多く見受けられるので心配。
<ul style="list-style-type: none"> 核家族になって来ると思うので(納骨タイプ)、一ヶ所にまとめて建物を造ると良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 狭い沖縄の土地の利用価値からして、共同使用の出来る方法を工夫すべき時期と思います。
<ul style="list-style-type: none"> 昔は、山に墓地はありましたが、人口が増えて墓地の前まで住宅が迫っています。近い将来、既存の墓地を共同墓地にしないとイケないと思います。
<ul style="list-style-type: none"> 大きな門中がある親族が集中している様な所でも、近年の造成開発道路や建物と景観的に芳しくない気もする。又、核家族が進み、巨大な門中墓も継承者がいるのか否かで、無縁墓になっている光景は、時代にそぐわない。地主や所有者と話し合っ、市が土地を購入して共同墓地か墓地園を造成した方が区画整理した方がよいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 親族の墓を集約するが、墓をコンパクトにして、1つの建物(施設型共同墓)の中に入れる事。

<p>1-3 利用しやすい墓地をつくる(費用、面積、維持管理など)(10件)</p>
<ul style="list-style-type: none"> 個人が所有する墓地の面積を制限し、空間を必要な人がたやすく購入出来るシステム作りをする。
<ul style="list-style-type: none"> 3年前より墓地購入しようと業者に何ヶ所か案内してもらって、ここ(北中)と決めた所があったのですが、業者がなかなか進めてくれなくて……今後の墓地購入はどうなっているのか、市外の者が購入するのが難しいものか。宜野湾市内のことではないですが、市内の者、市外の者にでも許可してもらいたいです。
<ul style="list-style-type: none"> 墓地が集約されても、安心していつでもお参りできるよう、明るくきれいに整備されているよう、市と市民が協力仕合う事が良いと思う。那覇市の識名霊園のようにご先祖様、お参りに来る方(合掌)の為にあって欲しくありません。
<ul style="list-style-type: none"> 墓地の継承者がなく、ほったらかしになっている様なら集約させ、しっかり継承されている場合は祖先の為にそのままにしておいた方がよいと思います。今後、管理しきれない墓地が増えていくと思うので、親、兄弟、親族等の墓地を集約できるか確認していく様にした方がよいと思います。正直、今の所は生活していくのが精一杯で自分の今後の墓にまわすほどの余裕はありません。本当に低価格でなければ自分の墓を持てるとは思えません。
<ul style="list-style-type: none"> 墓地は、県や市町村あるいは国が管理し、墓に入る(入れる)場合は、無料にした方がよい。せまい沖縄、もっともっと有効活用して欲しい。いや、そうであるべきである。今のままだと、県内墓だらけになるだろう。
<ul style="list-style-type: none"> 墓地を集約する場合、駐車が出来よう許可して欲しい。例えば、駐車場が確保出来ない場合は、道幅を大きく(広く)するとか等。
<ul style="list-style-type: none"> お墓は必要なものなので、費用や場所(土地)の問題が大きいと思う。9-2③の場所で、若い人から高齢の方まで、負担が少なく、普通のお墓がもてるようにすることが大切だと感じます。
<ul style="list-style-type: none"> 今のままでは沖縄中が墓だらけになってしまう。むしろ、対応が遅すぎる。継承者が居ない墓も少子化で増えています。行政が中心になって、アパート形式のビルを建て、安く、小さく、管理してくれる墓をつくって欲しい。そしたら墓だらけでそうでなくても少ない土地をムダにしないでいいと思う。もう一度言います。行政は遅いです。
<ul style="list-style-type: none"> 現在、墓がある場所に対しては特に嫌な感情を持ちませんが、これから新しく墓を建てるのなら、墓団地のような形をとった方がよいと私は思います。墓の移動については個人の意見を聞いて欲しい。又、金銭的な問題があるため、仕事が定年を迎えてからはとても大変な問題になると思います。

- ・ 役所が市内に土地を探し(あまり利用的価値のない様な所を利用する)大勢の市民が利用できる様頑張ってもらえ、しかし坪単価が高いと意味がない。なぜなら企業が行う訳ではないからである。市民が納得する値でないといけない(利益をあまり考えてもらっては困る。なぜなら市民が納得する又困らない様、仕事するのが役所の基本である。

1-4 普天間基地返還後の跡地利用で墓地を整備してほしい(5件)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅地の間に道路計画地の中に、本来県民は墓は「神聖」さを求めていると思いますが、隣地、行政から「邪魔者」の扱い。宜野湾市は行政で墓地公園を大々的に開発し、県内各市町村の模範となっていただきたい。特に返還跡地に出来ればまさに「平和記念公園墓地」となれるのではないのでしょうか。行政に期待しています。
<ul style="list-style-type: none"> ・ お墓の数が多くなり少子化の現代、そこを管理する人が少なくなっているため、墓地の荒れが気になる。街中で大変とは思いますが、軍用地返還後、施設型共同墓地や模合墓等が出来ると良いのでは？
<ul style="list-style-type: none"> ・ 飛行場跡地には市内の墓地を確保して、今後はせめて市民の需要に答えられるようにできればいいが。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 普天間基地の返還もふまえ、宜野湾市の将来を考えると、市街地をより進めていく為に墓地を無秩序に造らせるのではなく、基地の跡地などの利用計画に墓地利用も含めて考えて頂きたい。現況の市街地をより住みやすくして、今生きている市民、将来居住するであろう市民に必要なとされる街作りを行えば、これこそ先人達に対する最大の供養ではないでしょうか。つまり、失礼な表現ですが、亡くなられた先人より、今生きている人達の住環境を優先して頂きたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 軍用地あたりの活用として将来考えてもいいのではないのでしょうか。祖先が地を持っていた方々は代々土を守り、墓についても心配などないと思いますが、土地はおろか、日々の生活が大変な方がたくさんいる中、死んでからも大変だと思い、悲しくなりました。現在、納税できる立場であるが、将来仕事が無くなってからは墓のことよりも「生活」が本当に心配でたまりません。

1-5 その他(25件)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 墓地の散在は、都市景観を粗悪する。墓地団地(仮称)に集約してほしい。あまり大きな墓は、つくってほしくない。墓のつくれない者は、市町村で管理してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は墓を市内4~5ヶ所に集約し、それは民間での力ではダメなので公共(市営)の場所が望ましい。墓を造る時は知事認可が必要という事ですが、現状の市内の状況は無法地帯に等しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公営墓地の設置
<ul style="list-style-type: none"> ・ すでに墓地を所有している者には墓を造る事を認め、墓地を所有していない者には市が準備した所へ入居してもらおうと、そうでもしないと墓地が無い人はよその市町村へ行けというのか、よそも大変なのである。市民は亡くなくても家族の近くに居たいのだと思う。住宅地から少し離れていて現時点で何の計画もない山林などが良い。見晴らしの良い所はいくら山でも止めてもらいたい。どこからでも見えるからである。見晴らしの良い所は後に利用価値が非常にあるからである。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ある程度集約し管理型墓地にした方が良い。核家族化が進む中、永代管理を見据えた方がいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基地不足と後継者問題を考えると、個人単位でお墓を作るというよりは、公共、および民間管理の共同墓地施設とした方が、コスト、管理、周辺環境の面においても望ましいと考える。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的には集約すべきと思うが、市等が管理又は把握できているのがベストと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 継承者がいない墓は、永代供養をして頂ける墓地へ
<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人墓を許可なく造っているのを、市役所で墓地を造成して、個人に売って造るべきである。沖縄ではどこの山に行っても墓があるので、移転させて集約するのが望ましい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政サイドによる計画の実施、そして維持管理の行き届いた墓地。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市で墓地用地を確保して欲しい。

• 新規で建てる場合は、行政が建てる場所を確保した方がよい。
• 墓地やお墓は継承者がいると思っても本人の死後はわかるものではありません。個人墓でも継承者がいない場合は、行政等におまかせして管理、清掃など出来る様にして欲しい。
• 法人化や規制を緩和し、民間にて管理出来ると金額は少なくすむ感じがする。立地条件は官の方で区域を決めて、管理会社を民間にて募集することが、良いと思う。又は、清掃業の様に市町村で草刈りや清掃を委託する等。
• なるべく市管理の墓地がよい。
• 移転後にそこが墓地であった事を知れるようにして欲しい。
• 市で霊園をつくり、墓地を集約して欲しい。
• 市内はもちろん、沖縄県内では個人用地にお墓が点在しているので、県や市・町・村で指定の墓地用地を造り、都市計画等に支障のあるのは、そこへ移転させるなどの方法を考えて欲しい。
• 自分や親もここなら祭られてもいいなと思える明るくてきれいな所を公共の施設として宜野湾市に建設した方がよいと思う。
• 早めの市民霊園の建設を望みます。
• 那覇市や浦添市のような霊園があればと思います。
• 市内での墓地を探すのは至難の業。個人的に、公共工事の為移転を県側から打診されていますが、移転先がない。公共工事に協力はしたいが、移転場所については各自で……なにか矛盾が……公的な墓地を確保し都市景観、県民の墓への想い、都市計画からも公共の「力」を希望します。
• 建設地を規制して欲しい。
• 墓地地域を早く指定して欲しい。
• 行政による霊園を整備し、集約してもらいたい。

2 住宅と混在する墓地を集約し、住環境をよくしてほしい(23件)
• 1日も早く集約すべき。
• 墓地は、既存の墓数の多い場所、一ヶ所に集約出来ればよい。
• お墓を大きくつくる事は良い事だとは思わない。時代の流れに応じて、家族の負担を減らして、一ヶ所に墓地をつくり、管理するのは合理的で良いと思う。
• 宜野湾市が墓地を集約して欲しい。
• 宜野湾市以外にあるので、あまり気にしていないが、できるだけ集約した方が良いと思います。
• 継承者のいない墓地は整理集約した方がよい。
• 市が墓地の所有者を把握し、管理できていない場合は、集約化も仕方ないのでは。
• 至る所に墓地がある為か、景観的にも良くないような感じがする。1ヶ所に集約して欲しい。
• 住宅地から離れた場所にあると良いと思うが、既存の墓を移転するにも金銭的にもかなりかかえると思うので、既存の墓が集中している場所を整備する方が良いと思う。
• 墓地は集約すべきであり、住宅地等と混在するのはよくない。
• 墓地は住居とは別にすべき。
• 墓地面積の縮小、集積等によりこれ以上墓地を増やさないようにした方がよい。
• 本土出身なので沖縄の墓地のあり方については、よくわかりませんが、先祖の墓を敬う風習はどこよりも強いと思います。それにしても市街地や住宅のとなりにお墓があるのにはびっくりしました。墓地は決められた場所に集約した方がよいと思います。
• 民間の霊園等の支援により、集約が可能(促進)と考えます。
• 問9で2と答えましたが、自分自身が墓を持たない者としての意見で、既存に墓を持っていらっしゃる方は金銭的な事で移転はいやかもしれません。又、代々の墓を動かす事は本当にいい事なのかもわかりません。ただあちこちに墓があるよりまとめて墓地を作って欲しい考えはあります。
• 墓地は集約して欲しいが、その為に緑地が少なくなるのは良しとしない。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の墓でも場合によっては移転し、集約すべきであると思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 宜野湾市の基地の実態と課題を読むと、そうだなと思いました。保育園のすぐ側が基地だったりする場所もあるので整備が必要だと感じています。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 私は以前から友人、知人などと話していました。沖縄の墓地対策はそれで良いのかと。行政や政治はもっと早くに対策をとるべきではないかと、観光立県である沖縄を、もっときれいになる沖縄を観光客に見せるべきではないかと、現在の状況は住宅街と墓地地帯が混在して見苦しい。早急の対策をお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅と墓地が隣合わせでは、どちらにとっても問題である。適所に霊園を作り、住宅街にある墓地所有者に優先的に移転してもらい。墓地跡地を有効利用する。墓地整備に取り組んでいただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の国では、墓と住宅地は区切られているように思われる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 宅地と墓地の距離は明確にして住宅と混在しない様に行政が立ち入る事が必要と考える。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 墓地が先に確保された後に、アパート等が建築された場合は、アパートの持主は近隣も清掃してもらいたい。墓地の廻りにアパート、住居が増えた。

<p>3 お墓や葬送のあり方について考え方を柔軟に変えていくべき(16件)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ お年寄りやお子さんも来て安全なバリアフリー、この先、問題となっている環境、ECO に対しての新しい墓地のあり方、管理等を考える。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄に越して来てまだ数ヶ月なので、事情をよく知りません。今回このアンケートで書かれた実態を読んで放置してはいけなと思いました。祖先崇拜の強い土地柄なので、難しい問題もたくさんあるだろうと察することができます。家ではなく個人が尊重される社会になって欲しいです。そうすれば墓地事情も改善していくのではないのでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄の風習である長男のみが継承できる(地域により異なる?)考えを改め、時代に合った風習にしていく事も大切だと思う。私は次男であるが、長男と同じ墓に入ろうと家族で話し合っている所である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄の墓は異常に思う。墓標で充分であろう。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄県は県土面積が小さいので、墓の規模も小さくすべきでは。建物形式から墓石形式へ。しかし、従来からのやり方、文化の面等あるので、慎重な検討が必要かもしれない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 海か山に散骨することを考えるべき。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 巨大墓地は、門中の威厳の象徴の様で、戦後60余年何事も簡素化も必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然葬など新たな葬送
<ul style="list-style-type: none"> ・ 少なくとも墓地が集約され、できれば管理型となるように行政や政治が沖縄県民の考え方を少しずつでも改めていくべき。この狭い島に建てられる墓は限られている。経済的にも厳しく、無理をして墓を建てている人もいる。本当は納骨堂でいいと思いつつも、周囲の目を気にして、禁煙化やウチナータイムと同じように改められない慣習はない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 世代が代われればお墓のあり方も変わってくると思う。先祖を大切にすることは必要であるが、それを負担としない様にする必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 先祖を大事にする沖縄的な新しい墓地公園を提案したいです。シーミーとか旧盆だけ墓参りするのではなく、もっと身近に先祖の皆さんと対面する場として墓文化を県民皆が考えてもらえたら嬉しいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 墓は横に広がっている為に、多くの土地を必要としている。高層にし、真中に墓の入口を作り、時間帯によって”〇〇家の墓”等、自由に変動の出来る仕組みにすれば、多くの墓をビルの中に作る事が出来る。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本土風の墓も検討した方がいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 問 11 に記載されている自然葬をもっとアピールしていけば、墓地不足、”宜野湾市の基地の実態と課題”の②と③の解決になると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「墓」そのものに対する国民の意識は大きく変わりつつある。今後、門中墓は減少し規模が小さくなっていくのではないかと。

- 先に書きましたが、生きている人達の生活が最優先されるべきだと思いますが、墓については個々人の死主感と深く結びついているので難しい問題です。また、慣習としての墓への考え方も多いのではないかと思います。いづれも私たちの生き方として考えなければならぬのではないかと思います。「私の墓の前で泣かないで、私はここにはいません」という歌はまさに教訓的だと思います。

4 沖縄の伝統的な墓地形態や葬送を尊重したい(11件)

- 亀甲墓は国道から見えても良いと思う。世界的にも珍しいからである。
- その地域の風習や習慣に合った形が望ましいのでは。何でもかんでも統一されたものが良いとは思えない。(大きく行政的に!) 仏壇あれど墓は無し、墓あれど仏壇なし! お参りに行きたくても行けない事情があったり、それぞれではないでしょうか? 私の考える地域の風習・習慣は、その歴史的名ものであり、当然、変わっていくことも考えている。
- 沖縄の歴史と文化の中から生まれた現在の墓地のあり方については、尊重すべきであり、これからも守る必要ありと考える。この土地の文化を失う事のないようにすべきである。
- 家族墓の増加が原因であれば、その分のみ決められた墓所に集約すべきで、本来の沖縄のもつ墓作りのシステムは出来るだけ続けていくべきであると思う。
- 文化財的な墓地はそのまま保管できればいいと思います。
- 昔からある伝統的な亀甲墓は、街の景色の一部となり、緑も提供しているのでこのまま保存すべき。しかしながら、これから新しく作る墓は墓地に集約するのが良い。
- 沖縄独特な墓地は伝統であるでしょうから、残すべきと思われる。沖縄は親族だけでなく、人々とのつながりをとても大事にとらえていると思います。おそらく他県よりも先祖を敬う、拜むという姿勢は一層強いのではないかと思います。しかし、現状では土地の広さとか限界があると思われる。公園墓地のような形をとらえても良いのではないかと思います。墓地を動かすことにこだわりを持つ方は多いと思われる。
- 墓と住宅地の混在は良い点も良くない点もあると思う。良い点・亡くなった親族や祖先を身近に感じられる。お墓への(知らない人の中でも)敬意の持ち方を子供達に日常的に教えられる。
- 沖縄の墓地の大きさにとてもびっくりしました。でも、親族を全て大事にするという考えには感銘しています。皆全員一緒に帰る場所という考えなのでしょう。神様が宿ると感じるを受け、とても偉大さを大切にしていると思います。今のままでずうっと残って欲しいと思います。私がそこに残り続けるということは今はまだ考えてはいませんが。
- 県外から移住した者であるが、沖縄の伝統的な破風墓、亀甲墓などはとても歴史を感じる。発掘調査等で触れる機会も多く、森の中に住む一種独特な風格は、とても貴重な文化的財産である。私が沖縄県人であれば是非亀甲墓に入りたいと思う。
- 昔ながらの墓地が少なくなっていく事も寂しいことだと思います。何もかも日本政府の言うとおりで、いつか沖縄はなくなってしまう。

5 墓地が大きすぎるのでコンパクトにした方がいい(5件)

- 知人の墓参りで大阪へ行ってきたのですが、墓石がコンパクトで、周囲もキレイに整えられ、とても利用しやすかったです。沖縄の墓もう少しちいさめに作ればよいと思います。
- 土地に限りがありますので、伝統的な亀甲墓の建設は好ましくありません。時代にマッチしたコンパクトな墓を希望いたします。
- でかすぎる墓地は大反対!
- 沖縄の墓は本土の墓と比べて大きいし、その上費用もかかるのでコンパクトサイズでも良いのでは。
- 文化の重要性もわかるが、もう少しコンパクトにならないものか?

6 お墓を造る時には知事の許可が必要であることを周知徹底・指導すべき(5件)

<ul style="list-style-type: none"> お墓を造るときの知事許可を徹底させるべきだと思う。市は黙認しているのでは？市の美観や環境の点からも、もっと厳しくすべきだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 今後造られる墓の継承者がいなくなった時を想定して、建築者又は所有者から継承者が不明となった場合は、広告などを行ない一定期間を経た上で、市の方へ所有権が移転するといった念書のようなものを条例等で制定し、新たな建築許可を与える時に知事の承認とともに市長への上記書面の提出を義務づける。ただ、法律との兼合いが難しそうですね、いかがでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> 最近(今月か先月)、テレビでお墓のことを放送していて、知らない事も多かったので、勉強になりました。お墓は自由に造っているものだと思っていましたので、知事の許可が必要と知って驚きました。そして、無許可で造られるお墓も多いと、その番組では話していました。私のようにこの事について、知らない人も多いのでは？と思っています。ですから、県の番組や新聞などで県民に知らせ、さらに、無許可でお墓を造ることのないよう、建設業者への周知徹底、管理等を沖縄県、各市町村で取り組んで欲しいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> 私はお墓を造る際は、正規な手続きをし建立したが、周囲には無許可で造っている方が割とおり、不公平さを感じている。墓建設業者に周知を徹底し、無許可で建立しないように指導を希望する。
<ul style="list-style-type: none"> お墓を造るのに、知事の許可が必要なことなど、認知度が低いと考えられるのでは・・・(私も知らなかった事です。)

7 市民、行政が墓地に関してもっと研究、議論していくべき(4件)
<ul style="list-style-type: none"> 墓は問題が多すぎます。まして沖縄の場合、もっと多くの市民等が話し合いを持ち、論ずるべきではないのでしょうか？とにかくもっと研究すべきでは。私はそう思います。
<ul style="list-style-type: none"> 墓地のあり方を市の計画の中に位置づけ、適切な場所や形態を検討していくことが重要だと思います。
<ul style="list-style-type: none"> 墓地は行政の縦割的な解釈では上手くいかない。なぜなら、そこには宗教・習慣、個人の思いなど複合的な絡みがある。そういう事を理解しつつ、毅然とした態度で判断出来る部会を設立して検討する必要がある。同時に行政も監視する事を強化して、無許可墓の取り締まりに当たるべきだ。左記「宜野湾市の墓地の実態と課題」の1つにあるが、県の指導として認めてきた個人墓は県外では大分昔に認めていない。沖縄だけが特別とは思わない。昔は日本全国どこも個人墓だった。他県では行政指導により状況が変化して、霊園や集合墓地になった。
<ul style="list-style-type: none"> 議会、行政による墓地のあり方の基本的な方針を早急に市民に示すべき

8 無許可墓地に対して罰則を設けてはどうか(3件)
<ul style="list-style-type: none"> 個人が責任をもって墓地を管理して欲しい。市の職員が巡回して注意を促す。
<ul style="list-style-type: none"> 知事の許可ではなく、市・町・村長に権限、罰則の強化等あった方が良いと思います。
<ul style="list-style-type: none"> 無許可の墓を認めない方向で、罰則などを科せば良いのではないのでしょうか。警告を分かりやすく無許可墓の持ち主に伝え、行政として、無許可墓の「取り壊し警告」をテレビCMや新聞、ちらしなど、メディアを利用して、市民に伝える等いかがでしょうか？もしくは、調査員を一軒ずつしらみつぶしに「お墓」の調査をし、皆がどこの墓を利用しているのか調べ、全ての墓の持ち主を調べる。

9 管理されていない墓地への対策が必要である(2件)
<ul style="list-style-type: none"> 手入れされていないお墓は雑草が茂り、ハブ、不良のたまり場、ゴミの投棄などが見られる。
<ul style="list-style-type: none"> 墓地周辺の清掃(雑草除草)がされていない土地が多い様です。(除草作業)地区の公民館を中心にして、除草作業しハブ及び害虫対策すべきではないでしょうか。

10 その他(15件)
<ul style="list-style-type: none"> なし

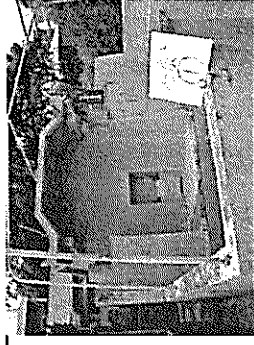
<ul style="list-style-type: none"> ・ もう墓地の時代は終わりです。死んだら終わり、すべて終わりにして欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内になれば近隣市町村でも探すぐらいの考えが、多くの市民にあればと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 私としては33年期が終わった後は、永代供養を希望したいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 常々疑問に思ってた事でした。良い方向へ進んで行くことを願っております。頑張ってください。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家と相談すると良いと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特にありません。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特にない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 墓地のあり方に関する意見ではありませんが、現在、私が住んでいる住居(このアンケート調査の発送先)はアパートです。アパートに住む者の多くが、他所より(一時的に)住んでいる者だと思いますし、本調査の対象としては不適と思われる。送付先の抽出はもっと検討すべきではないでしょうか？税金のムダ使いにもつながることです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 墓地も規制緩和するべき。墓を忌み嫌うのではなく、日常的に生と死を考える場所として混在してもよいと思う。集約に反対。環境悪化の根拠があいまい。行政の怠慢を墓地に責任転換している。法務局、税務課、自治会、学校、警察など活用して旧潰地にも取り組んで欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 問9に④わからないとした理由:①も良いと思いましたが、交通の面、例えば、駐車場の問題がたいへんなのでは？
<ul style="list-style-type: none"> ・ 年々、本土の人達の永住も増え、周囲にも親、親族まで沖縄に住み、墓も建てたと聞きます。琉大の生徒も本土の人達が多く(夜間時間に関係なく大声を出して騒ぎ出す始末です)、そこからも永住へと結びつくでしょう。そして、元々の県民の住む場所・墓までもが減少して行くような未恐ろしい気がします(特に宜野湾市は)その辺の対策も考えて行った方がよいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 普天間基地返還後の土地を墓地にするのだけはやめていただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 二男、三男個々の墓を代々の1つの墓にまとめられないものか？

参考：墓地台帳（抜粋）

3,529 基の墓地台帳及び墓地分布図は、別途資料を参照。

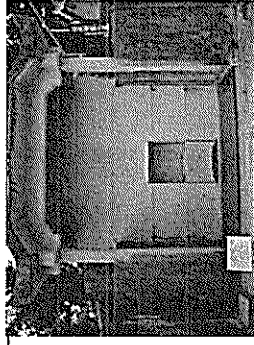
宜野湾市墓地調査台帳 【佐真下地区】

調査票番号	墓地番号	1	調査年月日	2009/9/28	墓地地番	169-9	認可の有無	1 認可	2 無認可	
管理状況	1	草刈が行われゴミなど見当たらない	2	多少草は伸びているが管理されている	3	何年も管理が行われていない				
構造物の保存状況	1	躯体に亀裂など見当たらない	2	躯体に亀裂が入っている	3	躯体の一部が崩れている				
墳墓の形態	1	洞窟墓	2	亀甲墓	3	破風墓	4	平葺墓	5	掘込墓
	6	冢形墓	7	箱型墓	8	搭式墓	9	その他()		
墳墓の素材	1	琉球石灰岩	2	御影石	3	コンクリート	4	コンクリートブロック	5	その他()
立地場所の状況 (複数回答)	1	市街地や集落の中に立地	2	市街地や集落に隣接して立地	3	海岸の近くに立地	4	国道や県道に面して立地		
	4	山林・原野に立地	5	畑の中に立地	6	その他()				
	7	周りはお墓がある	8	その他()						



宜野湾市墓地調査台帳 【佐真下地区】

調査票番号	墓地番号	2	調査年月日	2009/9/28	墓地地番	169-11	認可の有無	1 認可	2 無認可	
管理状況	1	草刈が行われゴミなど見当たらない	2	多少草は伸びているが管理されている	3	何年も管理が行われていない				
構造物の保存状況	1	躯体に亀裂など見当たらない	2	躯体に亀裂が入っている	3	躯体の一部が崩れている				
墳墓の形態	1	洞窟墓	2	亀甲墓	3	破風墓	4	平葺墓	5	掘込墓
	6	冢形墓	7	箱型墓	8	搭式墓	9	その他()		
墳墓の素材	1	琉球石灰岩	2	御影石	3	コンクリート	4	コンクリートブロック	5	その他()
立地場所の状況 (複数回答)	1	市街地や集落の中に立地	2	市街地や集落に隣接して立地	3	海岸の近くに立地	4	国道や県道に面して立地		
	4	山林・原野に立地	5	畑の中に立地	6	その他()				
	7	周りはお墓がある	8	その他()						



平成21年度 宜野湾市墓地需要に関する研究 調査の全体像(まとめ)

1. 宜野湾市の墓地問題をとりまく状況

- 本市の人口(H20年時点で90,589人)は増加傾向で推移しており、昭和45年～平成17年の35年間で人口は2.3倍に拡大。高齢化率(65歳以上人口比率)はH17年で12.9%と全県の水準(16.1)を下回っているものの、増加傾向で推移。
- 世帯数(H20年時点で34,738)も増加傾向で推移し、H2～H17年の15年間で1万世帯以上の増加。世帯あたり人員の低下、高齢者世帯の増加が進んでいる。
- 土地利用において、H19年時点で宅地が約半分を占め(45.8%)、宅地化が進行している。また、宅地に次いでその他(44.7%)が多く、その大半は墓地である。
- 県は、墓地関連行政事務の市町村への移管を進めており、これまで、読谷村や恩納村が墓地基本計画を策定(H20年度)し、恩納村が事務移管を受けている(H21年度)。

2. 宜野湾市における墓地の立地状況

- 市内全域にわたって概ね3,360基(我如古地区を除く)お墓があり、形態としては家族墓が多く、大山の斜面地縁地に、亀甲墓が見られる。



3. 宜野湾市の墓地・埋葬に関する市民の意向

- お墓の所有状況
 - ・家族墓85.4%、兄弟墓7.3%、門中墓6.0%、納骨堂0.7%
- お墓の取得意向
 - ・取得を検討している16.8%、5年以内に取得予定4.6%、5～10年以内に取得予定1.6%
 - ・希望する形態は家族墓54.1%、施設型共同墓15.5%、兄弟墓7.9%、門中墓7.8%、摸合墓1.7%。
- 希望するお墓の場所
 - ・宜野湾市内45.1%、市外18.7%。
- 墓地の継承者の有無(いる76.4%、いない25.3%)
- 今後の墓地のあり方
 - ・新規の墓地は集約すべき50.5%、既存墓地でも移転・集約すべき27.9%、これまでどおり7.6%
- お墓のあり方・葬送のあり方
 - ・沖縄の伝統を継承したい42.1%、永代供養をしてくれる施設型共同墓を利用したい36.6%、新たな葬送12.8%

4. 墓地の将来需要(予測)

表1-6 管理者別墓地需要数(宜野湾市内)

墓地需要世帯割合	年平均墓地需要数				平成31年 10年累計	平成41年 20年累計	
	H22 ～26	H27 ～31	H32 ～36	H37 ～41			
個人・家族・親族での墓地の取得	12.7%	66	73	81	88	693	1,538
公共が管理する霊園	12.5%	65	72	80	87	686	1,522
民間の霊園(お寺など含む)	1.1%	6	7	7	8	62	137
その他	0.5%	3	3	3	3	27	61
無回答	0.4%	2	2	2	3	21	46
墓地需要数 合計	27.2%	141	157	173	189	1,490	3,303

5. 先進自治体における墓地行政の取組事例

- 【横浜市】
 - ・総合公園と墓園を一体的に整備。
 - ・メモリアルグリーン(合葬式慰霊碑型納骨施設)には12,000体収容
- 【市川市】
 - ・少子高齢化の進行と市川市内に低価格の墓地を望む市民の需要に応えるべく新形式の墓地として、合葬式墓地を整備。
 - ・納骨壇(収蔵ロッカー)及び合葬室には各々5千体を収納可能

6. 宜野湾市の墓地に関する課題

【課題抽出の視点】

- 既存の墓地・お墓への対応
 - ・伝統的な風習・文化の継承
 - ・まちづくりにおける既存墓地の評価(墓地との共存)
 - ・墓地の継承、持続的な維持管理のあり方
- 新規の墓地・お墓への対応
 - ・今後増加が見込まれる墓地需要への対応
 - ・土地利用の観点からの適正立地(墓地用地)の確保、無許可墓地への対応)

【対応すべき課題】

- 世帯分化と家族墓志向による墓地の急増と墓地用地不足への対応
- 少子高齢化による継承者の不在、無縁墓地の増加による環境問題への対応
- 既存墓地の維持・保全
- 土地利用における墓地の位置づけ・役割の見直し
- 無許可墓地による周辺地域の環境悪化への対応
- 墓地需要に対応した墓地施策のあり方の検討

7. 宜野湾市における望ましい墓地施策の展開方向

- 墓地施策の基本方針
 - 沖縄の伝統的な墓地形態や葬送文化の継承を促す
 - 多様な葬送の需要に対処できる墓地施策の展開を図る
- 個別施策の方針
 - 既存墓の継承
 - 既存の無縁墓、空き墓対策
 - 増加する墓地への対応
 - 無縁墓の抑制
 - 無許可墓地の抑制
 - 墓地区域、墓地禁止区域の検討
 - 墓地需要への対応
 - 個人による墓地取得への対応
 - 公営墓地の検討
 - 法人霊園への対応

委員・事務局名簿

宜野湾市墓地需要に関する研究（沖縄県宜野湾市）

委員名簿

委員	田名 真之	沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科教授
	稲福みき子	沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科教授
	堤 純一郎	琉球大学工学部環境建設工学科教授 (普天間飛行場跡地利用計画策定審議委員)
	崎山 八郎	沖縄県中部福祉保健所長
	又吉 辰雄	宜野湾市老人クラブ連合会会長
	天久 辰雄	宜野湾市自治会長会会長
	宮城 勝子	宜野湾市婦人連合会会長
	稲嶺 盛政	宜野湾市建設部長
	新田 宗仁	宜野湾市市民経済部長
	藤田 萬豊	財団法人地方自治研究機構総務部長兼調査研究部長
事務局	福地 盛喜	宜野湾市市民経済部環境対策課長
	新城 正安	宜野湾市市民経済部環境対策課環境指導係長
	福本 司	宜野湾市市民経済部環境対策課環境指導係
	島袋 太樹	宜野湾市市民経済部環境対策課環境指導係
	佐々木一彰	財団法人地方自治研究機構調査研究部主任研究員
	宮崎 大	財団法人地方自治研究機構調査研究部研究員
	諸橋 正弘	財団法人地方自治研究機構調査研究部研究員
基礎調査機関	阿部 斉	株式会社沖縄計画機構代表取締役
	翁長 秀正	株式会社沖縄計画機構計画室長

(順不同、敬称略)

平成 21 年度
宜野湾市墓地需要に関する研究
—平成 22 年 3 月発行—

沖縄県宜野湾市市民経済部環境対策課

〒901-2710

沖縄県宜野湾市野嵩 1 - 1 - 1

電話 098 (893) 4411

財団法人 地方自治研究機構

〒102-0082

東京都千代田区一番町 25 番地 全国町村議員会館 3 階

電話 03 (3237) 1411

印刷 株式会社研恒社

